
狛江市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
集計結果報告書

令和6年6月
狛江市

目次

調査の概要

調査の目的.....	1
調査の方法.....	1
報告書を読むにあたっての留意点.....	1

集計結果

1 お子さんご家族の状況について.....	2
(1) 居住地区.....	2
(2) 子どもの年齢.....	3
(3) 回答者の続柄.....	4
(4) 配偶者の有無.....	4
(5) 子どもの人数.....	5
(6) 子育てを主に行っている人.....	5
(7) 日ごろ、子どもを預かってもらえる人の有無.....	6
2 平日の「定期的な」教育・保育の利用状況.....	8
(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況.....	8
(2) 利用している教育・保育事業の実施場所.....	9
(3) 教育・保育事業を利用していない理由.....	10
3 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	11
(1) 今後の利用希望.....	11
(2) 選択した事業の利用したい場所.....	13
4 平日夜間・土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望... 14	14
(1) 平日夜間・土曜・休日や長期休暇の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	14
(2) たまに利用したい理由.....	16
5 「不定期な」一時預かりや宿泊を伴う預かりの利用状況.....	17
(1) 不定期に利用している事業.....	17
(2) 利用していない理由.....	18
(3) 一時保育等を利用したい目的.....	19
6 地域の子育て支援事業の利用状況.....	20
(1) 子育て支援事業の利用状況と利用意向.....	20
7 病気の際の対応.....	21
(1) 病児・病後児保育等の利用意向.....	21
(2) 病児・病後児保育等を利用したいと思わない理由.....	22
8 小学校就学後の放課後の過ごし方.....	23
(1) 小学校入学後希望する放課後の過ごさせ方.....	23
(2) 土曜日・日曜日・祝日、長期休暇期間中の学童クラブの利用希望.....	24
9 小学生の放課後の過ごし方.....	26
(1) 小学生の希望する放課後の過ごさせ方.....	26
(2) 学童クラブの利用状況.....	27
(3) 利用している施設の種類.....	27
(4) 学童クラブを利用していない理由.....	28

(5) 今後の学童クラブの利用意向	29
(6) 今後、学童クラブを利用したい理由	30
(7) 学童クラブに対する希望	31
10 就学前保護者の就労状況・職場の両立支援	32
(1) 保護者の就労状況	32
(2) 普段の就労時間帯	33
(3) 育児休業の取得状況	33
(4) 育児休業取得後の職場復帰状況	35
(5) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	35
11 小学生保護者の就労状況	36
(1) 保護者の就労状況	36
(2) 普段の就労時間帯	37
12 生活・子育て全般	38
(1) 生活の満足度	38
(2) 仕事と家庭のバランスについて	38
(3) 現在の生活の中で考えのとおり仕事と家庭のバランスが取れているか	40
(4) 子育ての感じ方	40
(5) 子育てをする上での不安や悩み	41
(6) 子育ての不安や悩みの相談の有無	43
(7) 子育ての不安や悩みの相談先	43
(8) 子育ての不安や悩みの相談方法	45
(9) 子育ての不安や悩みの相談の意向	45
(10) ほしい子育てに関する情報	46
(11) 子育てに関する情報の入手先	47
(12) 子育てサイト等の閲覧頻度	49
13 子どもの育ちへの支援	50
(1) 理想の子どもの人数	50
(2) 理想の数の子どもをもてるようになるために、あればいいこと	51
(3) 市に期待する子育て支援の充実	52
(4) 「子どもの権利条約」の認知度	54
自由記入設問 記述(全文)	55

調査の概要

調査の目的

本調査は、現在子育て中の家庭の生活や子育てに関するご意見、ご要望をうかがい、子ども・若者の支援に役立てるとともに、令和7年度からの「第3期こまえ子ども・若者応援プラン」での取組等を検討するための基礎資料として実施したものです。

調査の方法

- 調査対象：市内在住の小学校就学前のお子さんがある世帯の方1,000人及び小学生のお子さんがある世帯の方1,000人
- 抽出方法：住民基本台帳（令和6年1月1日現在）より無作為抽出
- 調査時期：令和6年2月19日（月）から3月4日（月）まで
- 調査方法：郵送による配布・回収及びWEB回答を併用
- 配布・回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率	うち WEB 回答数	WEB 回答率
就学前児童調査	1,000 票	579 票	57.9%	334 票	33.4%
小学生調査	1,000 票	554 票	55.4%	301 票	30.1%

報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は、回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」や1%未満の数値表示を省略しているものがあります。

集計結果

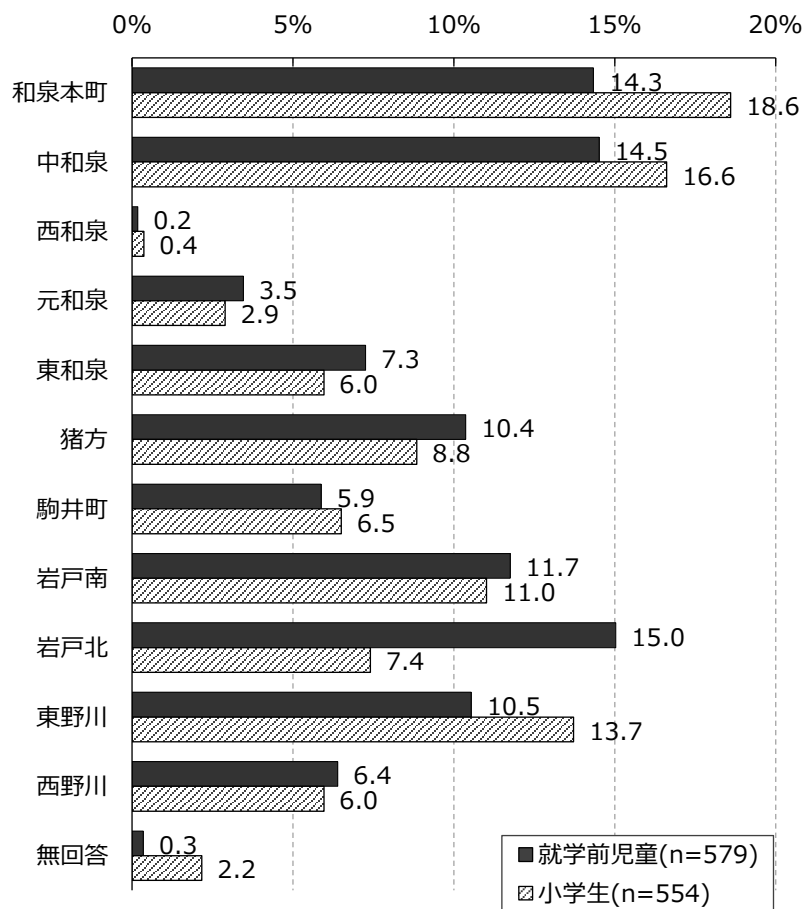
1 お子さんご家族の状況について

(1) 居住地区

就学前児童は、「岩戸北」が15.0%と最も多く、次いで「中和泉」が14.5%、「和泉本町」が14.3%、「岩戸南」が11.7%、「東野川」が10.5%となっています。

小学生は、「和泉本町」が18.6%と最も多く、次いで「中和泉」が16.6%、「東野川」が13.7%、「岩戸南」が11.0%、「猪方」が8.8%となっています。

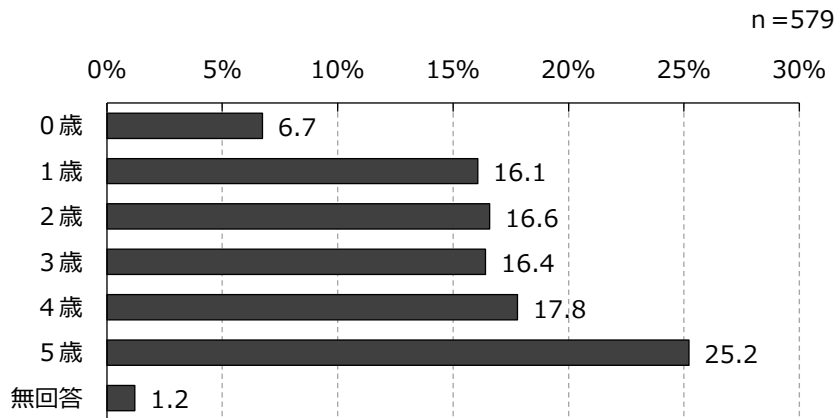
問1 お住まいの地区をお答えください。



(2) 子どもの年齢

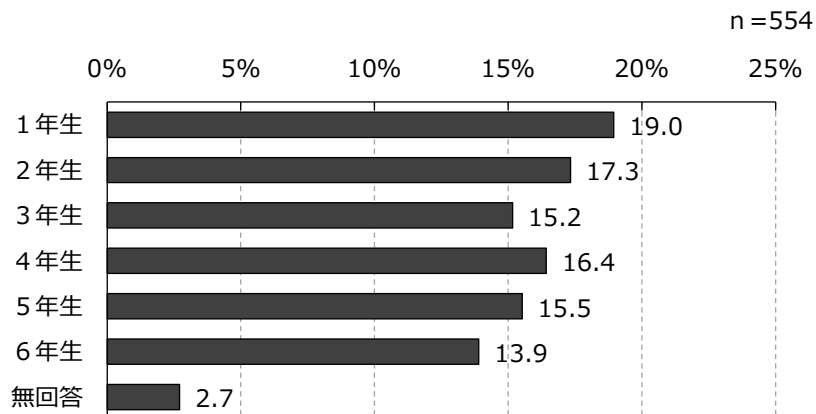
「5歳」が25.2%と最も多く、次いで「4歳」が17.8%、「2歳」が16.6%、「3歳」が16.4%、「1歳」が16.1%となっています。

就学前児童 問2 お子さんの年齢(令和5年4月1日現在)をお答えください。



小学生は、「1年生」が19.0%と最も多く、次いで「2年生」が17.3%、「4年生」が16.4%、「5年生」が15.5%、「3年生」が15.2%となっています。

小学生 問2 お子さんの学年をお答えください。

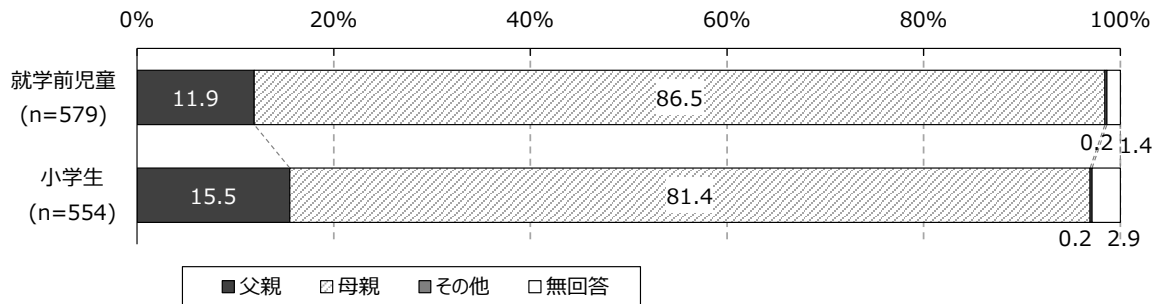


(3) 回答者の続柄

就学前児童は、「母親」が86.5%と最も多く、次いで「父親」が11.9%、「その他」が0.2%となっています。

小学生は、「母親」が81.4%と最も多く、次いで「父親」が15.5%、「その他」が0.2%となっています。

問3 この調査にご回答いただく方はどなたですか。

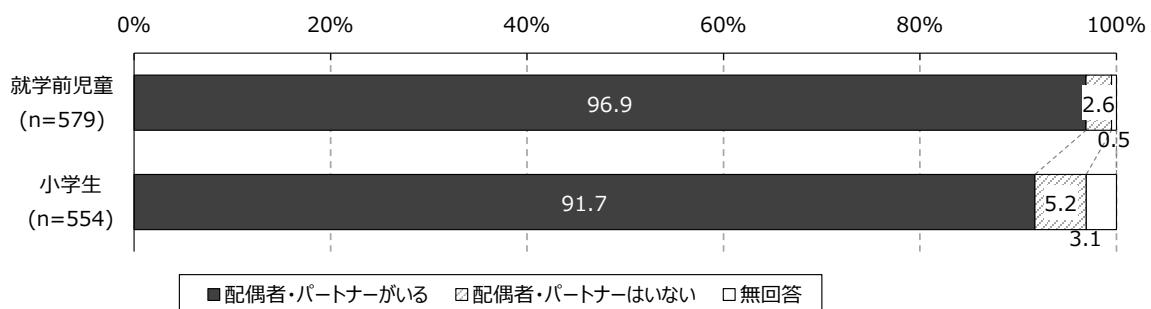


(4) 配偶者の有無

就学前児童は「配偶者・パートナーがいる」が96.9%、「配偶者・パートナーはいない」が2.6%となっています。

小学生は、「配偶者・パートナーがいる」が91.7%、「配偶者・パートナーはいない」が5.2%となっています。

問4 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

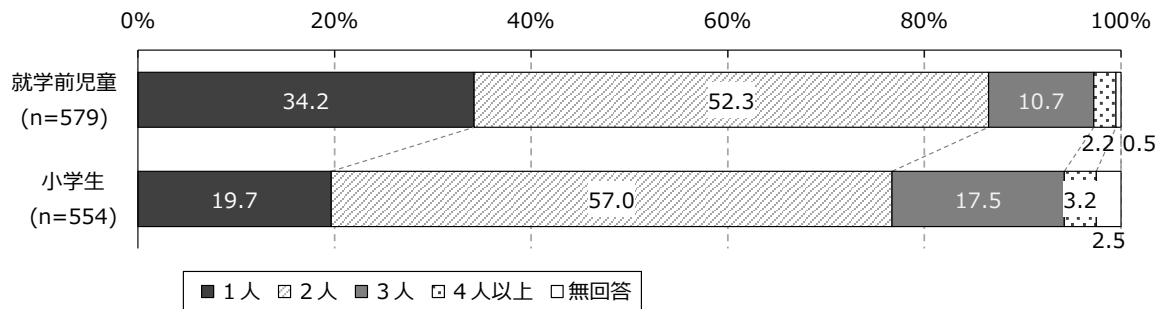


(5) 子どもの人数

就学前児童は、「2人」が52.3%と最も多く、次いで「1人」が34.2%、「3人」が10.7%、「4人以上」が2.2%となっています。

小学生は、「2人」が57.0%と最も多く、次いで「1人」が19.7%、「3人」が17.5%、「4人以上」が3.2%となっています。

問5 お子さんは全部で何人いますか。

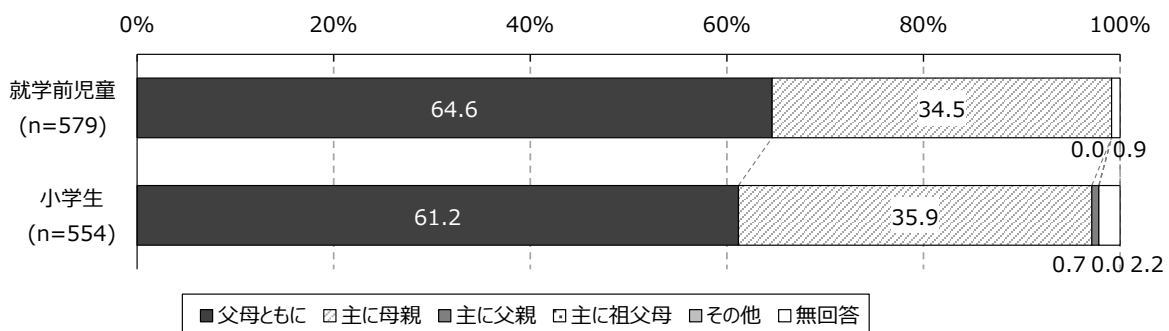


(6) 子育てを主に行っている人

就学前児童は、「父母ともに」が64.6%、「主に母親」が34.5%となっています。

小学生は、「父母ともに」が61.2%と最も多く、次いで「主に母親」が35.9%、「主に父親」が0.7%となっています。

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方をお答えください。



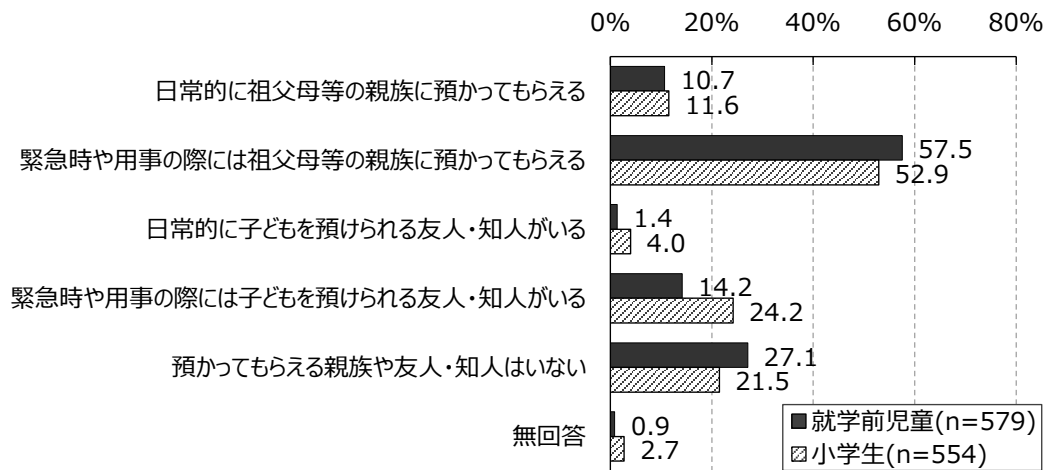
(7) 日ごろ、子どもを預かってもらえる人の有無

就学前児童は、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が57.5%と最も多く、次いで「緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が14.2%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が10.7%となっています。

小学生は、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が52.9%と最も多く、次いで「緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が24.2%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が11.6%となっています。

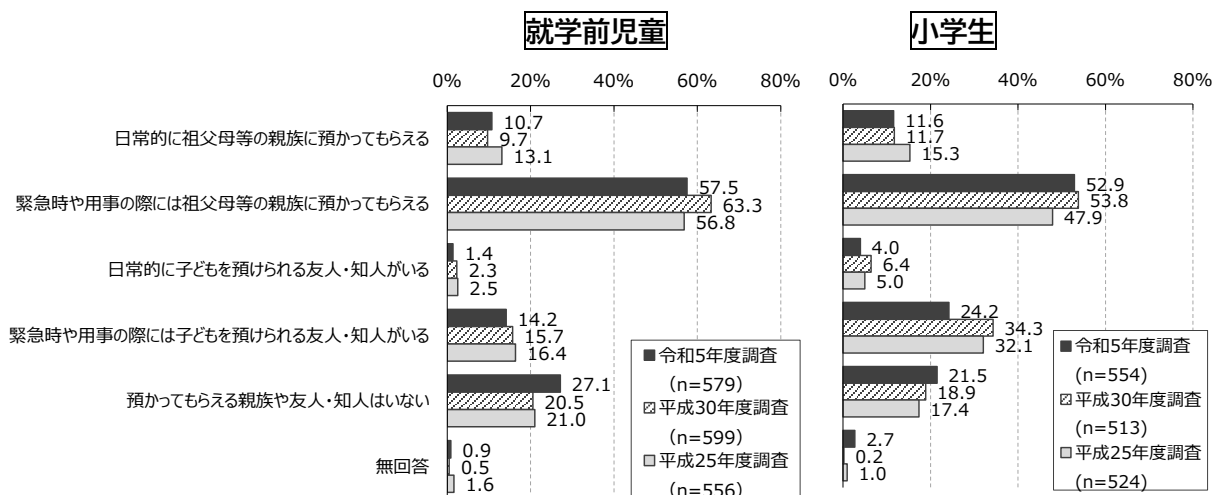
就学前児童、小学生ともに半数以上が緊急時や用事の際に預かってもらえる祖父母がいると回答している一方、就学前児童の27.1%、小学生の21.5%は「いずれもない」と回答しています。

問7. 日ごろ、お子さんを預かってもらえる人はいますか。 (複数回答)



【前回比較】

前回調査と比較すると、就学前児童、小学生ともに「日常的に祖父母に預かってもらえる」割合は大きな増減はありませんが、「預かってもらえる親族や友人・知人はいない」割合が増えており、特に就学前児童では平成30年度調査と比べ6.6ポイント増加しています。



■母親の就労状況別：日ごろ、子どもを預かってもらえる人の有無（就学前児童）

	合計	日常的に祖 父母等の親 族に預かって もらえる	緊急時や用 事の際には祖 父母等の親 族に預かって もらえる	日常的に子ど もを預けられ る友人・知人 がいる	緊急時や用 事の際には子 どもを預けら れる友人・知 人がいる	預かってもらえ る親族や友 人・知人はい ない	無回答
全体	579 100.0	62 10.7	333 57.5	8 1.4	82 14.2	157 27.1	5 0.9
フルタイム	256 100.0	18 7.0	151 59.0	3 1.2	28 10.9	78 30.5	3 1.2
フルタイム （産休・育休・介護休業中）	77 100.0	8 10.4	48 62.3	0 0.0	7 9.1	20 26.0	0 0.0
パート・アルバイト等	82 100.0	14 17.1	47 57.3	3 3.7	13 15.9	20 24.4	1 1.2
パート・アルバイト等 （産休・育休・介護休業中）	8 100.0	1 12.5	4 50.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
以前は就労していたが、現在は 就労していない	111 100.0	20 18.0	60 54.1	2 1.8	21 18.9	24 21.6	1 0.9
これまでに就労したことがない	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

■母親の就労状況別：日ごろ、子どもを預かってもらえる人の有無（小学生）

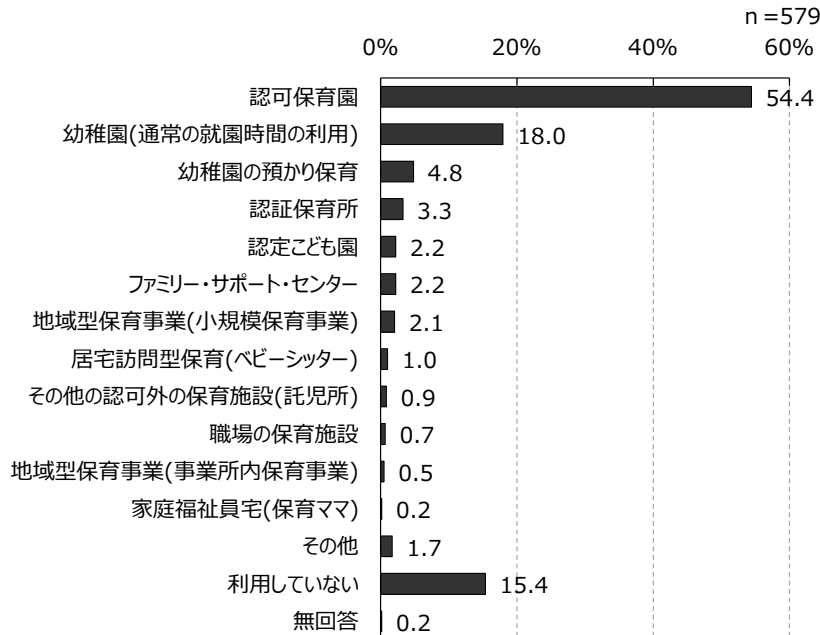
	合計	日常的に祖 父母等の親 族に預かって もらえる	緊急時や用 事の際には祖 父母等の親 族に預かって もらえる	日常的に子ど もを預けられ る友人・知人 がいる	緊急時や用 事の際には子 どもを預けら れる友人・知 人がいる	預かってもらえ る親族や友 人・知人はい ない	無回答
全体	554 100.0	64 11.6	293 52.9	22 4.0	134 24.2	119 21.5	15 2.7
フルタイム	250 100.0	29 11.6	135 54.0	10 4.0	50 20.0	62 24.8	1 0.4
フルタイム （産休・育休・介護休業中）	10 100.0	0 0.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
パート・アルバイト等	152 100.0	21 13.8	72 47.4	9 5.9	51 33.6	33 21.7	1 0.7
パート・アルバイト等 （産休・育休・介護休業中）	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
以前は就労していたが、現在は 就労していない	94 100.0	9 9.6	54 57.4	2 2.1	24 25.5	19 20.2	1 1.1
これまでに就労したことがない	9 100.0	1 11.1	7 77.8	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0

2 平日の「定期的な」教育・保育の利用状況

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

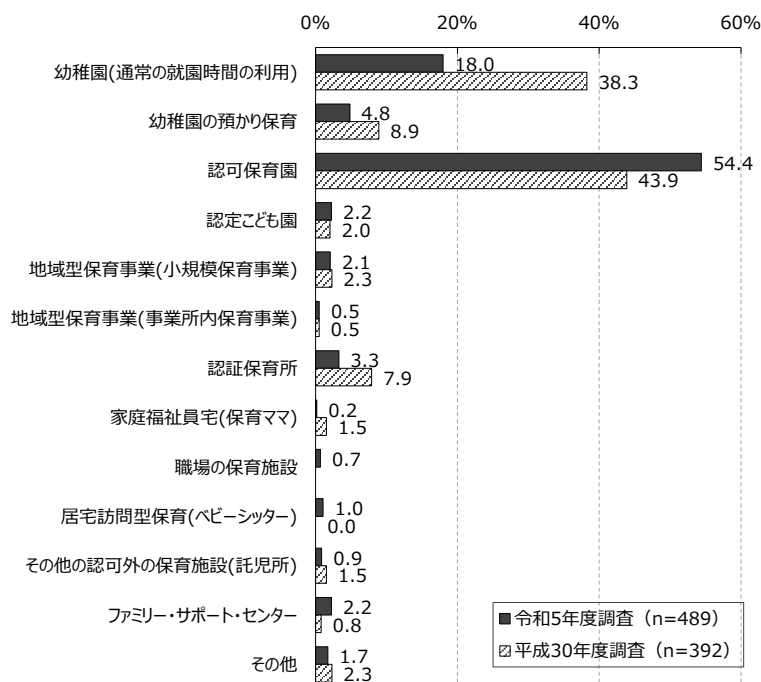
「認可保育園」が54.4%と最も多く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が18.0%、「幼稚園の預かり保育」が4.8%、「認証保育所」が3.3%となっています。また、15.4%が「利用していない」と回答しています。

就学前児童 問8 ①お子さんは、平日どのような保育・教育を利用していますか。(複数回答)



【前回比較】

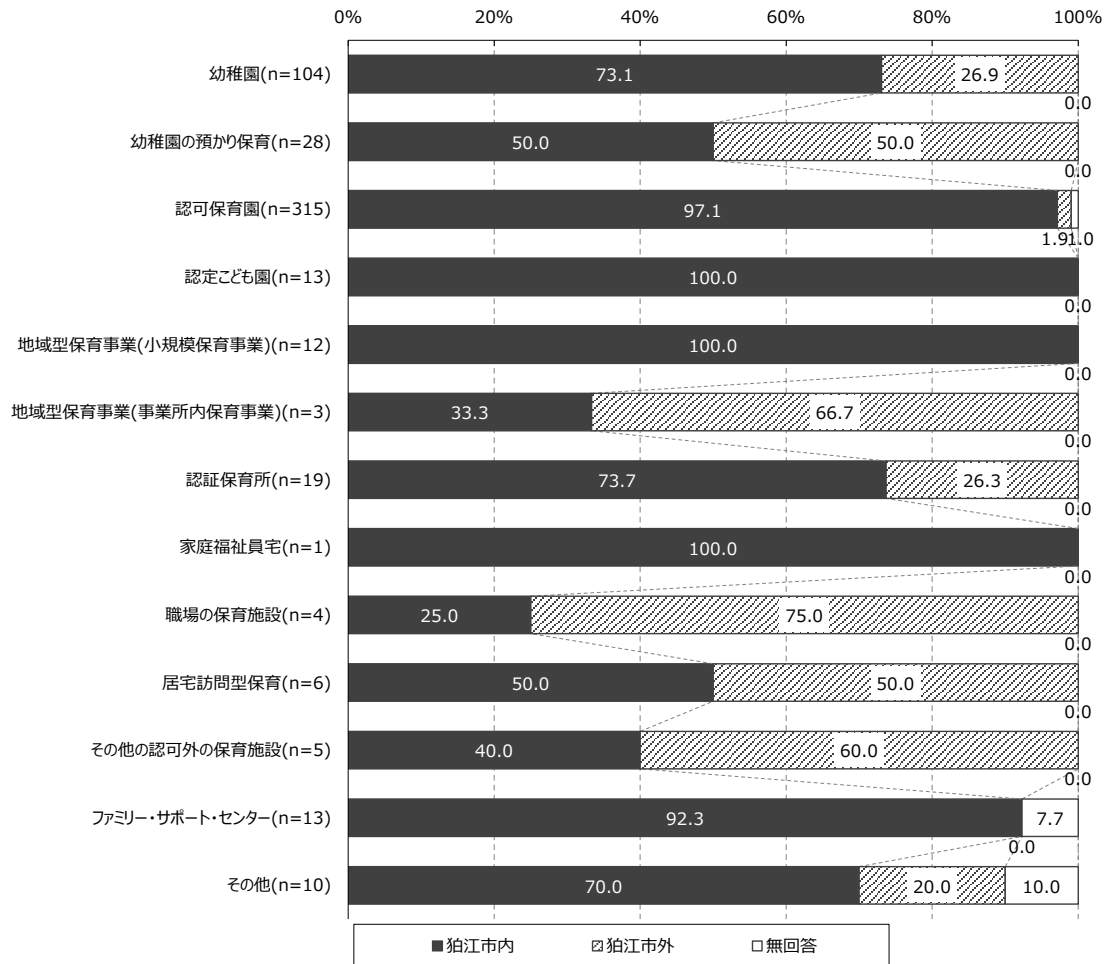
「利用していない」を除いて、定期的な教育・保育事業の利用状況を前回調査と比較すると、「幼稚園」が20.3ポイント減少し、「認可保育園」が10.5ポイント増加しています。



(2) 利用している教育・保育事業の実施場所

利用していると回答した割合の多い事業の順に「狛江市内」での利用割合をみると、認可保育園が97.1%、幼稚園が73.1%、幼稚園の預かり保育が50.0%、認証保育所が73.7%などとなっています。

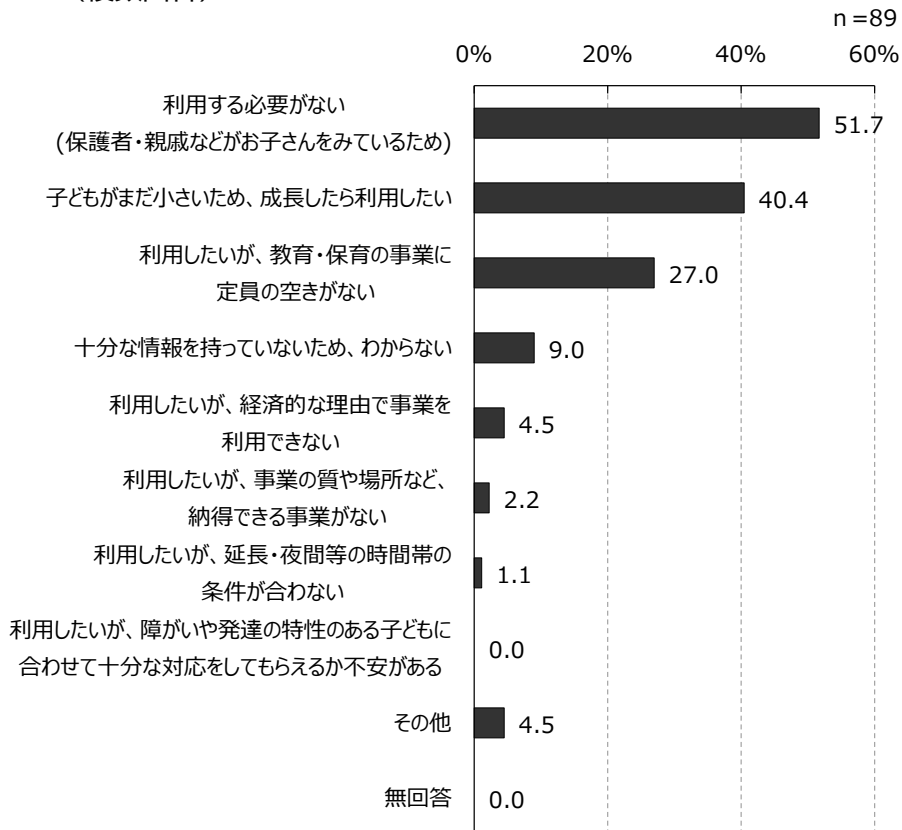
就学前児童 問8 ②利用している事業の場所



(3) 教育・保育事業を利用していない理由

「利用する必要がない」が51.7%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が40.4%、「利用したいが、教育・保育の事業に定員の空きがない」が27.0%、「十分な情報を持っていないため、わからない」が9.0%、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」が4.5%となっています。

就学前児童 問8-1 教育・保育事業(施設等を含む)を利用していない理由は何ですか。
(複数回答)



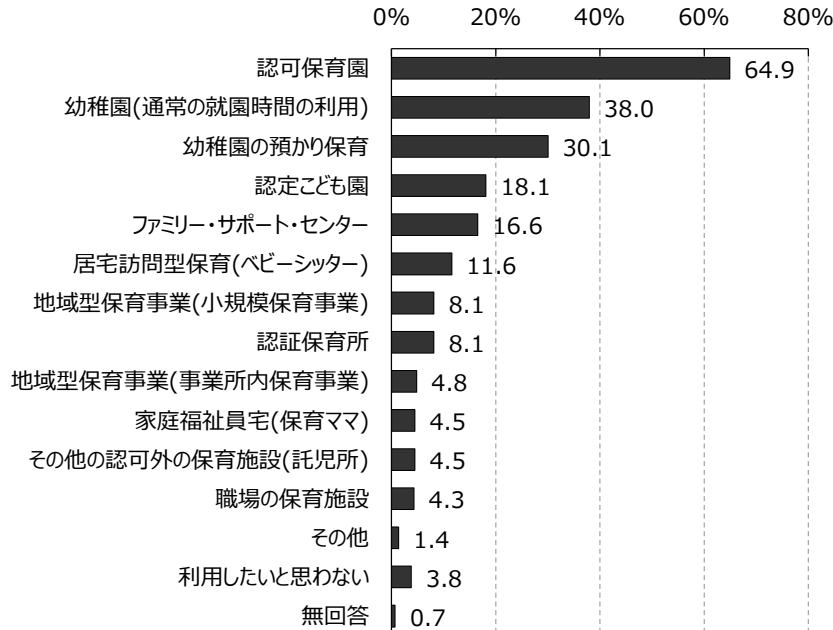
3 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 今後の利用希望

「認可保育園」が64.9%と最も多く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が38.0%、「幼稚園の預かり保育」が30.1%、「認定こども園」が18.1%、「ファミリー・サポート・センター」が16.6%となっています。

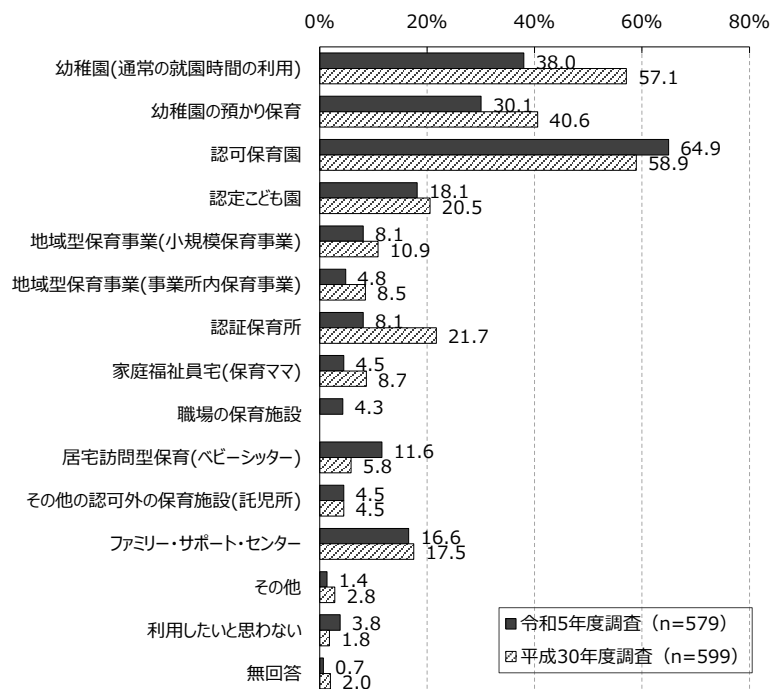
就学前児童 問9 ①利用したい事業(複数回答)

n=579



【前回比較】

今後の利用希望を前回調査と比較すると、「幼稚園」が19.1ポイント、認証保育所が13.6ポイント、「幼稚園の預かり保育」が10.5ポイントと大きく減少しています。



■母親の就労状況別：利用したい事業

問9 ①利用したい事業

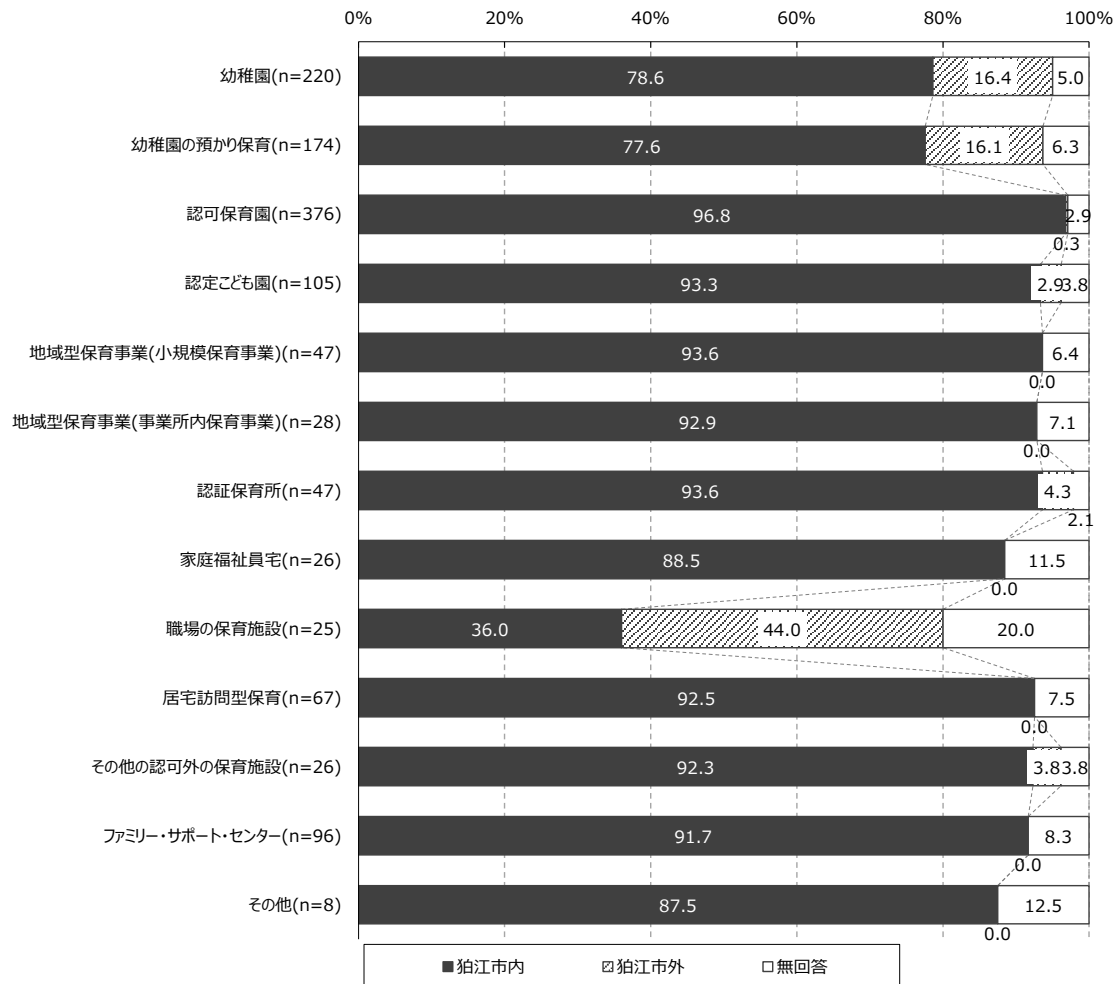
	合計	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	地域型保育事業（小規模保育事業）	地域型保育事業（事業所内保育事業）	認証保育所
全体	579	220	174	376	105	47	28	47
	100.0	38.0	30.1	64.9	18.1	8.1	4.8	8.1
フルタイム	256	44	54	212	50	16	10	16
	100.0	17.2	21.1	82.8	19.5	6.3	3.9	6.3
フルタイム （産休・育休・介護休業中）	77	22	26	65	20	10	5	12
	100.0	28.6	33.8	84.4	26.0	13.0	6.5	15.6
パート・アルバイト等	82	47	35	47	13	9	5	4
	100.0	57.3	42.7	57.3	15.9	11.0	6.1	4.9
パート・アルバイト等 （産休・育休・介護休業中）	8	4	4	5	2	2	1	2
	100.0	50.0	50.0	62.5	25.0	25.0	12.5	25.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	111	84	44	25	15	7	5	12
	100.0	75.7	39.6	22.5	13.5	6.3	4.5	10.8
これまでに就労したことがない	3	2	0	0	0	0	0	0
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	家庭福祉員宅（保育ママ）	職場の保育施設	居宅訪問型保育（ベビシッター）	その他の認可外の保育施設（託児所）	ファミリー・サポート・センター	その他	利用したいと思わない	無回答
全体	26	25	67	26	96	8	22	4
	4.5	4.3	11.6	4.5	16.6	1.4	3.8	0.7
フルタイム	9	12	37	9	52	5	7	0
	3.5	4.7	14.5	3.5	20.3	2.0	2.7	0.0
フルタイム （産休・育休・介護休業中）	4	4	9	2	13	0	4	1
	5.2	5.2	11.7	2.6	16.9	0.0	5.2	1.3
パート・アルバイト等	3	5	10	3	9	0	1	0
	3.7	6.1	12.2	3.7	11.0	0.0	1.2	0.0
パート・アルバイト等 （産休・育休・介護休業中）	0	1	0	0	1	0	0	0
	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	8	2	4	8	12	2	8	2
	7.2	1.8	3.6	7.2	10.8	1.8	7.2	1.8
これまでに就労したことがない	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

(2) 選択した事業の利用したい場所

職場の保育施設を除く事業で「狛江市内」が多数を占め、認可保育所では96.8%が「狛江市内」での利用を希望しています。

就学前児童 問9 ②利用したい場所

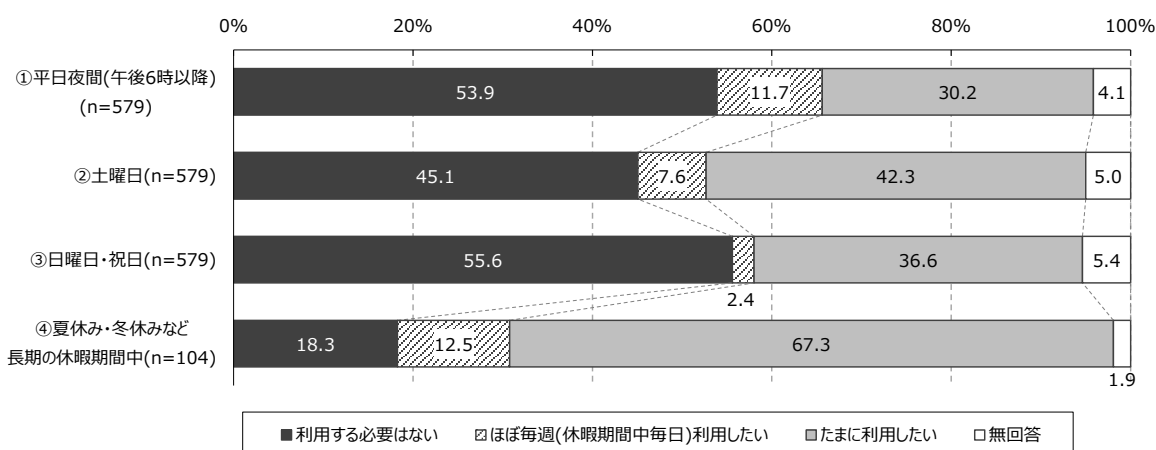


4 平日夜間・土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

(1) 平日夜間・土曜・休日や長期休暇の定期的な教育・保育事業の利用希望

定期的な教育・保育事業の利用希望について、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」と「たまに利用したい」の合計）は、平日夜間で41.9%、土曜日で49.9%、日曜日・祝日は39.0%、長期休暇中は79.8%となっています。

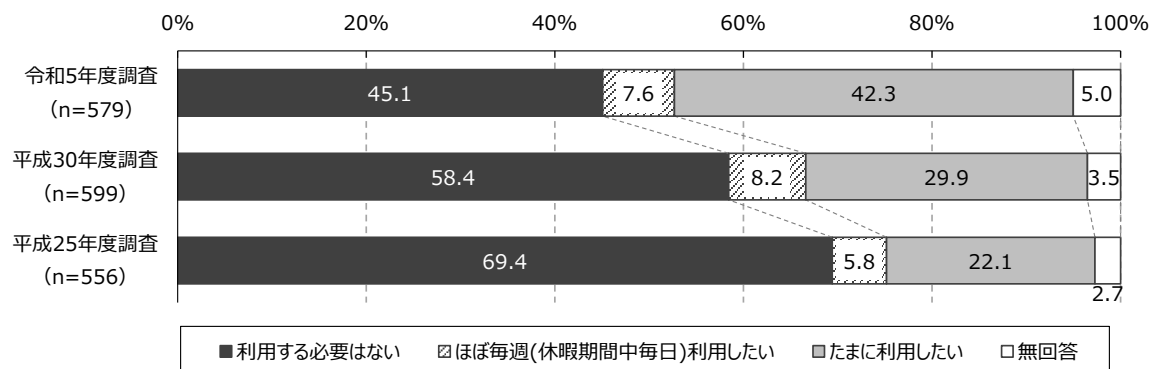
就学前児童 問10 お子さんについて、平日夜間や土日祝日・夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。



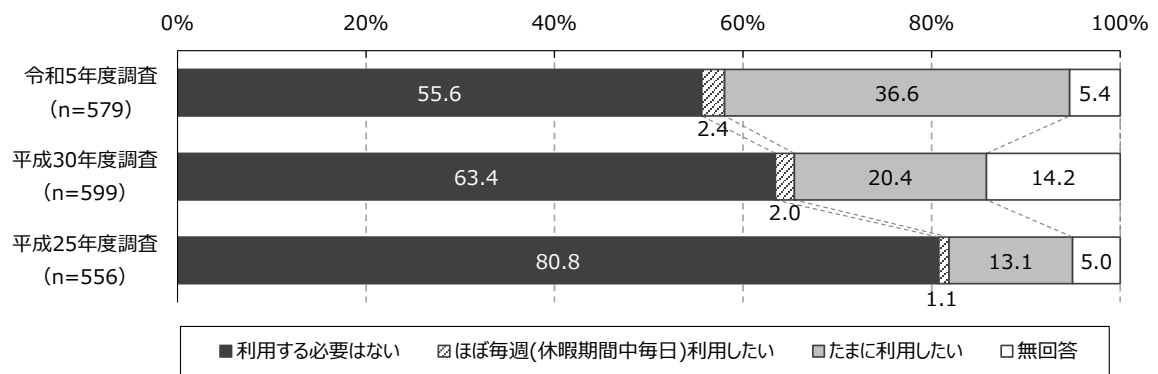
【前回比較】

定期的な教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」と回答した割合は毎回減少し、「たまに利用したい」と回答した割合を平成30年度調査と比較すると、土曜日は12.4ポイント、日曜日は16.2ポイント、長期休暇中は12.2ポイント増加しています。

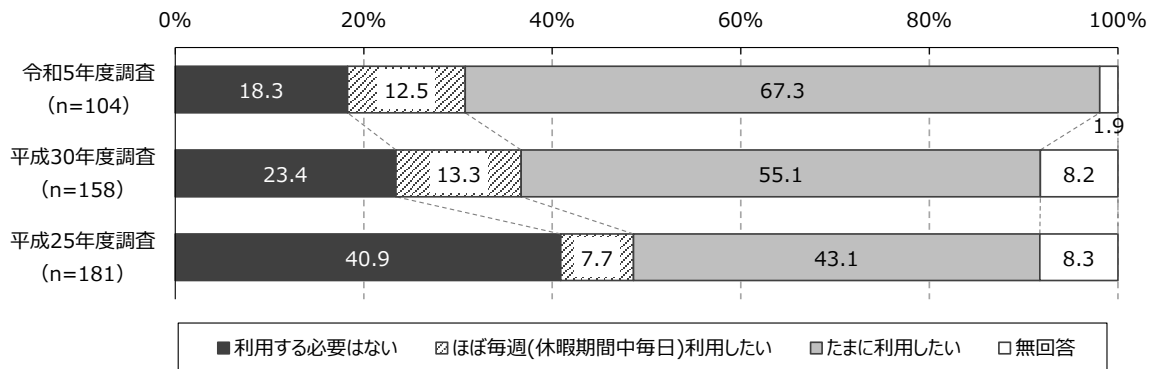
■土曜日



■日曜日・祝日



■夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中



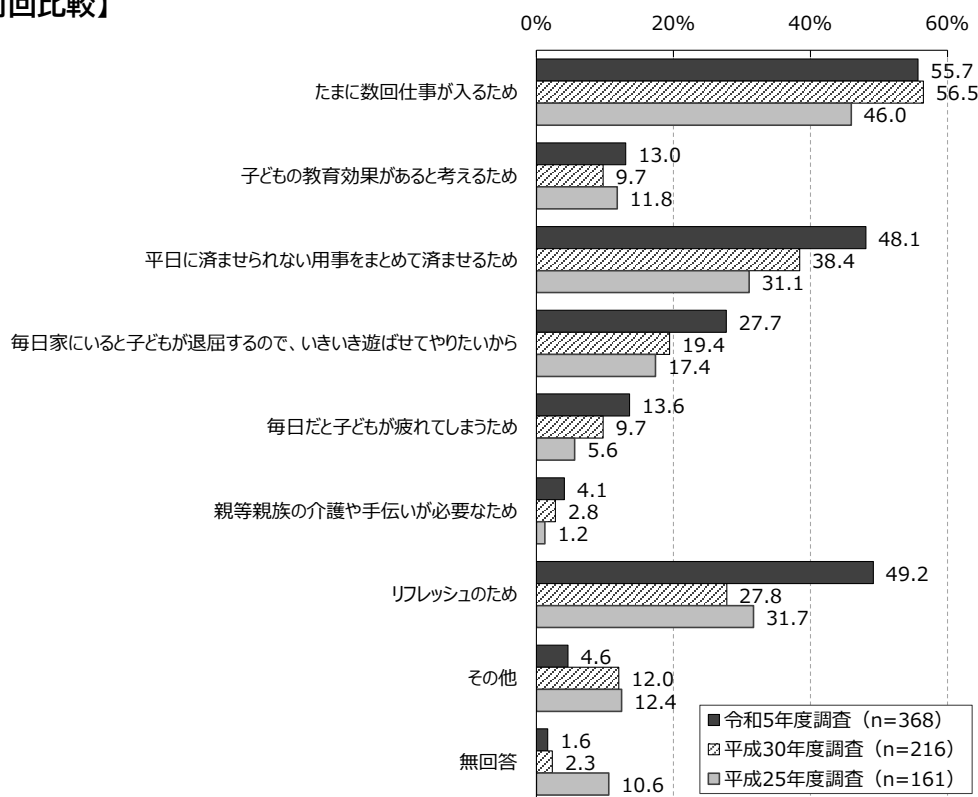
(2) たまに利用したい理由

平日夜間・土曜・休日や長期休暇に定期的な教育・保育事業をたまに利用したいと回答した人のその理由については、「たまに数回仕事が入るため」が55.7%と最も多く、次いで「リフレッシュのため」が49.2%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が48.1%、「毎日家にいると子どもが退屈するので、いきいき遊ばせてやりたいから」が27.7%、「毎日だと子どもが疲れてしまうため」が13.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「たまに数回仕事が入るため」以外の項目で増加しており、特に、「リフレッシュのため」が21.4ポイントと大きく増加しています。

就学前児童 問10-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(複数回答)

【前回比較】



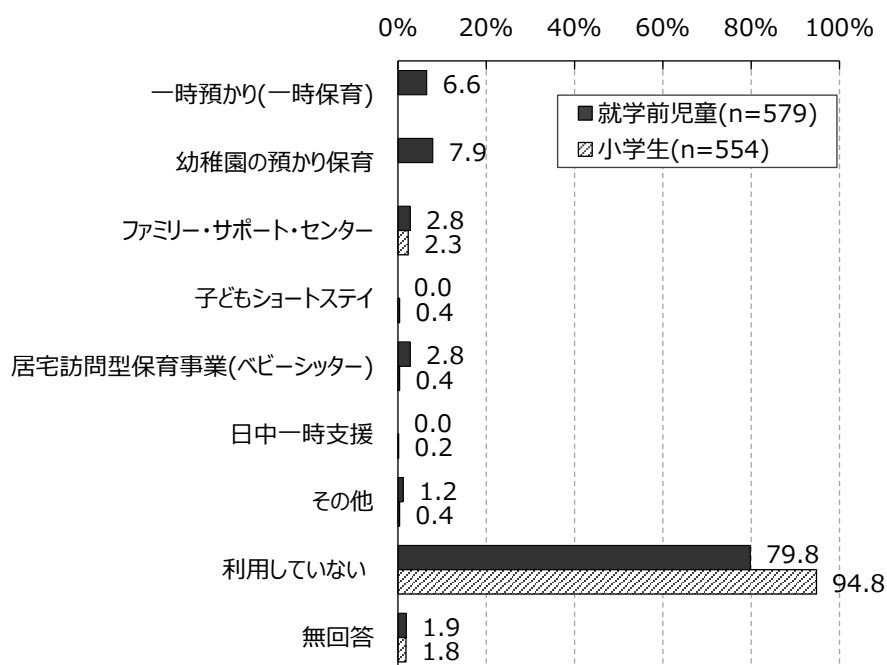
5 「不定期な」一時預かりや宿泊を伴う預かりの利用状況

(1) 不定期に利用している事業

就学前児童、小学生とも「利用していない」が多数を占めており、就学前児童で79.8%、小学生で94.8%となっています。利用している事業では、就学前児童で「幼稚園の預かり保育」が7.9%、「一時預かり(一時保育)」が6.6%、「ファミリー・サポート・センター」及び「居宅訪問型保育事業(ベビーシッター)」が2.8%となっています。

就学前児童 問11 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、自分の時間等のために不定期に利用している事業はありますか。(複数回答)

小学生 問15 お子さんについて、自分の時間等のために不定期に利用している事業はありますか。(複数回答)



■不定期に利用している事業の年間平均利用日数

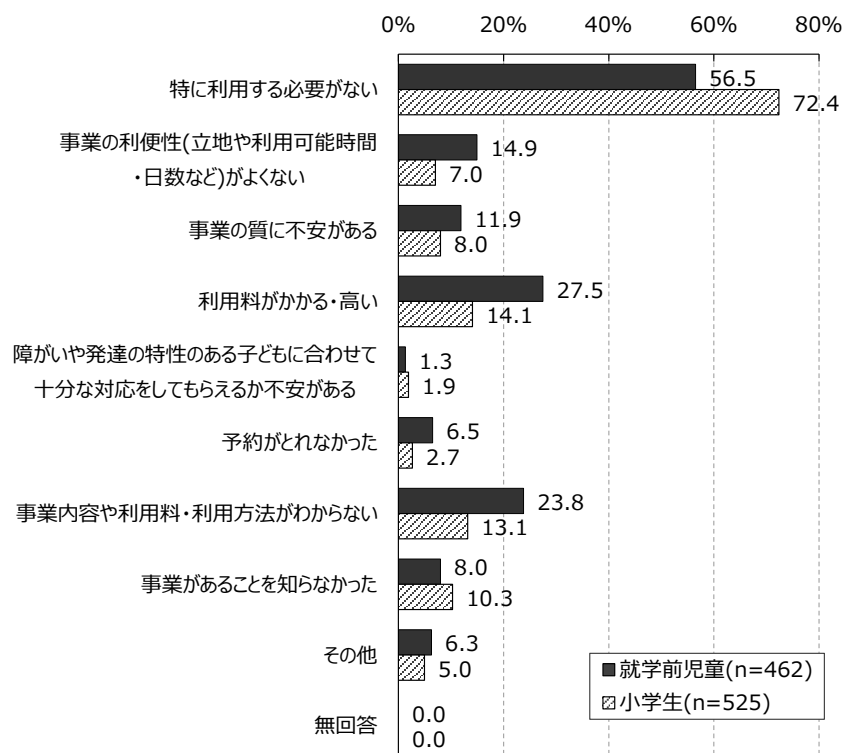
	就学前児童	小学生
一時預かり(一時保育)	10.3日/年	-
幼稚園の預かり保育	20.8日/年	-
ファミリー・サポート・センター	11.4日/年	45.0日/年
子どもショートステイ	-	22.5日/年
居宅訪問型保育事業(ベビーシッター)	26.3日/年	13.5日/年
日中一時支援	-	3.0日/年
その他	12.1日/年	10.0日/年

(2) 利用していない理由

利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が就学前児童 56.5%、小学生 72.4%と多数を占めています。

ほかに就学前児童では、「利用料がかかる・高い」が 27.5%、「事業内容や利用料・利用方法がわからない」が 23.8%、「事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」が 14.9%、小学生では、「利用料がかかる・高い」が 14.1%、「事業内容や利用料・利用方法がわからない」が 13.1%、「事業があることを知らなかった」が 10.3%となっています。

就学前児童 問11-1 一時預かり事業を利用していない理由は何ですか。(複数回答)
小学生 問15-1 一時預かり事業を利用していない理由は何ですか。(複数回答)



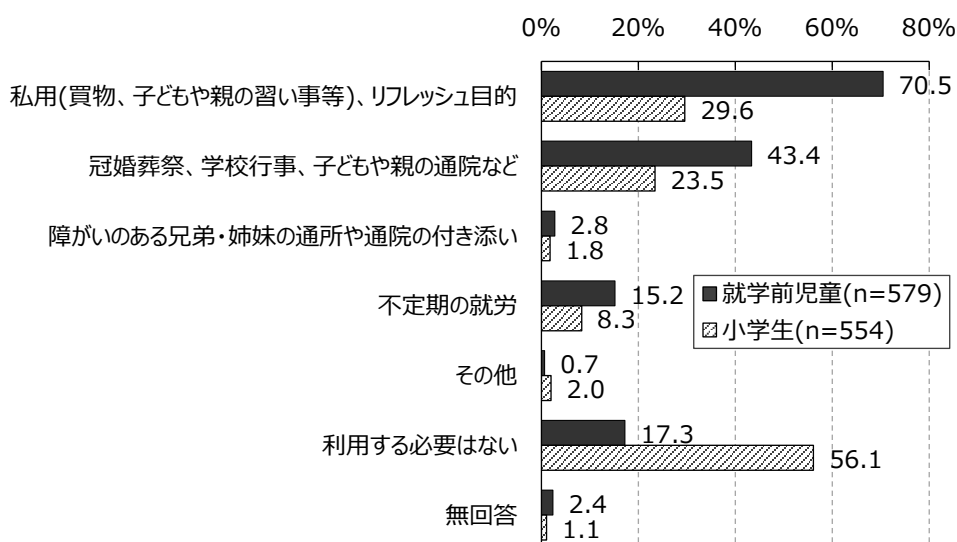
(3) 一時保育等を利用したい目的

就学前児童では、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が70.5%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など」が43.4%、「不規則の就労」が15.2%となっている一方、17.3%は「利用する必要はない」と回答しています。

小学生では、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が29.6%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など」が23.5%、「不規則の就労」が8.3%となっている一方、56.1%は「利用する必要はない」と回答しており最も多くなっています。

就学前児童 問12 お子さんについて、自分の時間等のために、年間何日くらい事業を利用したいですか。①利用したい目的、②利用したい日数をお答えください。

小学生 問16 お子さんについて、自分の時間等のために、年間何日くらい事業を利用したいですか。①利用したい目的、②利用したい日数をお答えください。



■一時保育等の目的別年間平均利用希望日数

	就学前児童	小学生
私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的	14.8日/年	12.2日/年
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	8.1日/年	8.7日/年
障がいのある兄弟・姉妹の通所や通院の付き添い	21.6日/年	21.0日/年
不規則の就労	24.7日/年	27.9日/年
その他	10.7日/年	50.0日/年

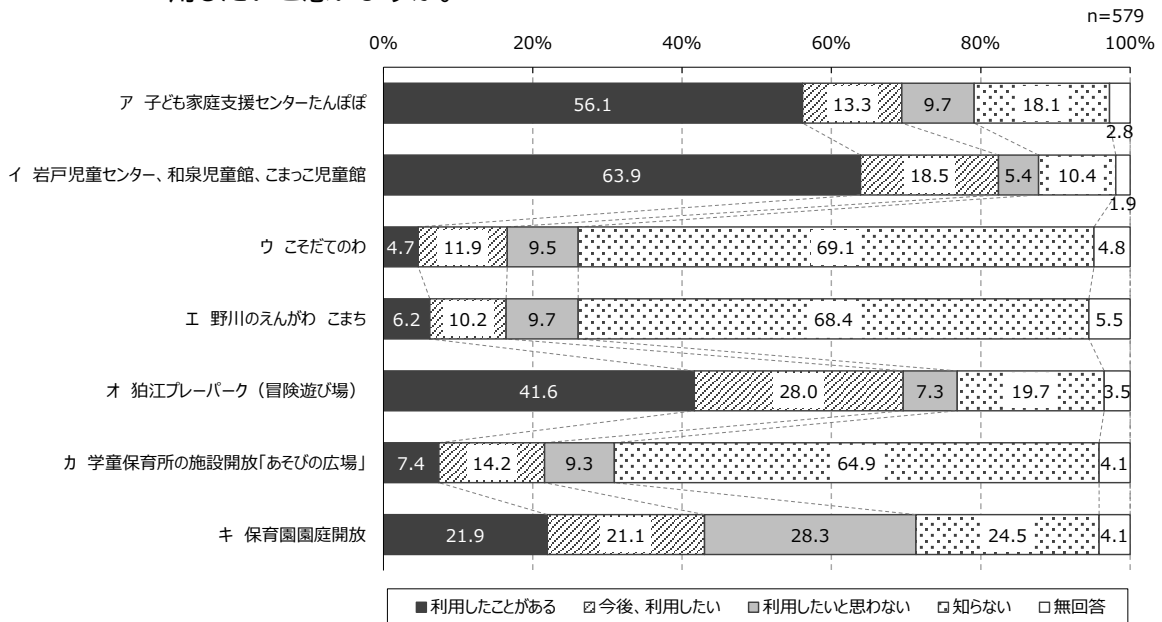
6 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 子育て支援事業の利用状況と利用意向

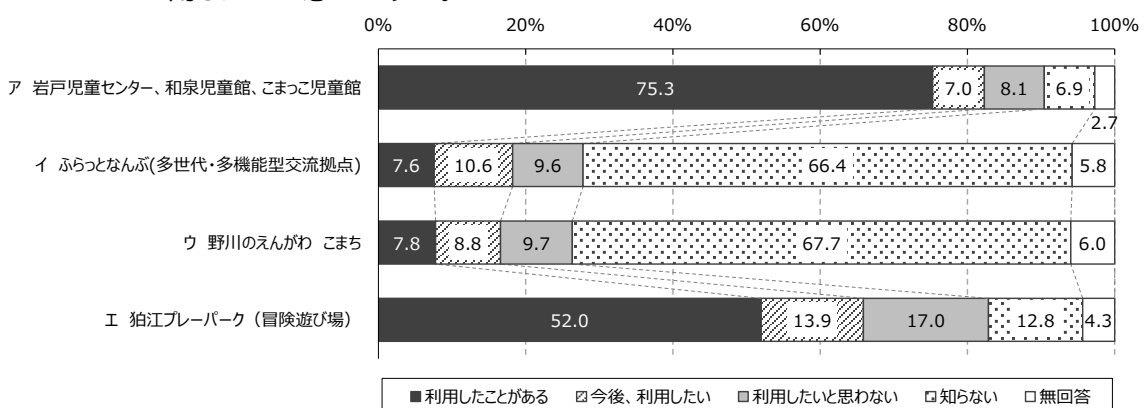
就学前児童の「利用したことがある」と回答した割合が高い事業は順に、岩戸児童センター、和泉児童館、こまっこ児童館の63.9%、子ども家庭支援センターたんぽぽの56.1%、狛江プレーパーク（冒険遊び場）の41.6%となっています。一方、こそだてのわ、野川のえんがわ こまち、学童保育所の施設開放「あそびの広場」では7割弱が「知らない」と回答しています。

小学生の「利用したことがある」と回答した割合が高い事業は順に、岩戸児童センター、和泉児童館、こまっこ児童館の75.3%、狛江プレーパーク（冒険遊び場）の52.0%となっています。一方、野川のえんがわ こまち、ふらっとなんぶ(多世代・多機能型交流拠点)では7割弱が「知らない」と回答しています。

就学前児童 問13 下記のサービスや事業をこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。



小学生 問13 下記のサービスや事業をこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。



7 病気の際の対応

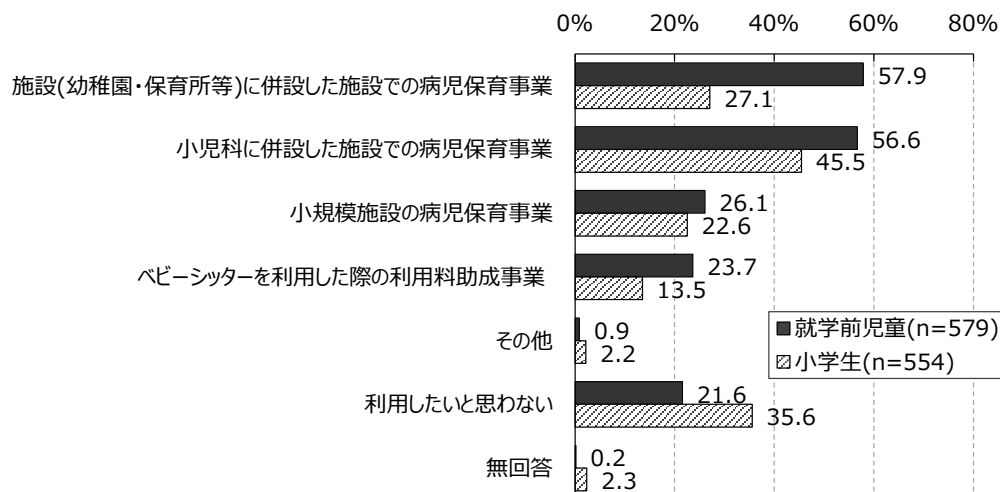
(1) 病児・病後児保育等の利用意向

就学前児童では、「施設(幼稚園・保育所等)に併設した施設での病児保育事業」が57.9%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設での病児保育事業」が56.6%、「小規模施設の病児保育事業」が26.1%、「ベビーシッターを利用した際の利用料助成事業」が23.7%となっています。一方「利用したいと思わない」が21.6%となっています。

小学生では、「小児科に併設した施設での病児保育事業」が45.5%と最も多く、次いで「施設(幼稚園・保育所等)に併設した施設での病児保育事業」が27.1%、「小規模施設での病児保育事業」が22.6%、「ベビーシッターを利用した際の利用料助成事業」が13.5%となっています。一方「利用したいと思わない」が35.6%となっています。

就学前児童 問14 お子さんが病気やけがで教育・保育事業を利用できない場合に、どのような事業を利用したいと思いますか。(複数回答)

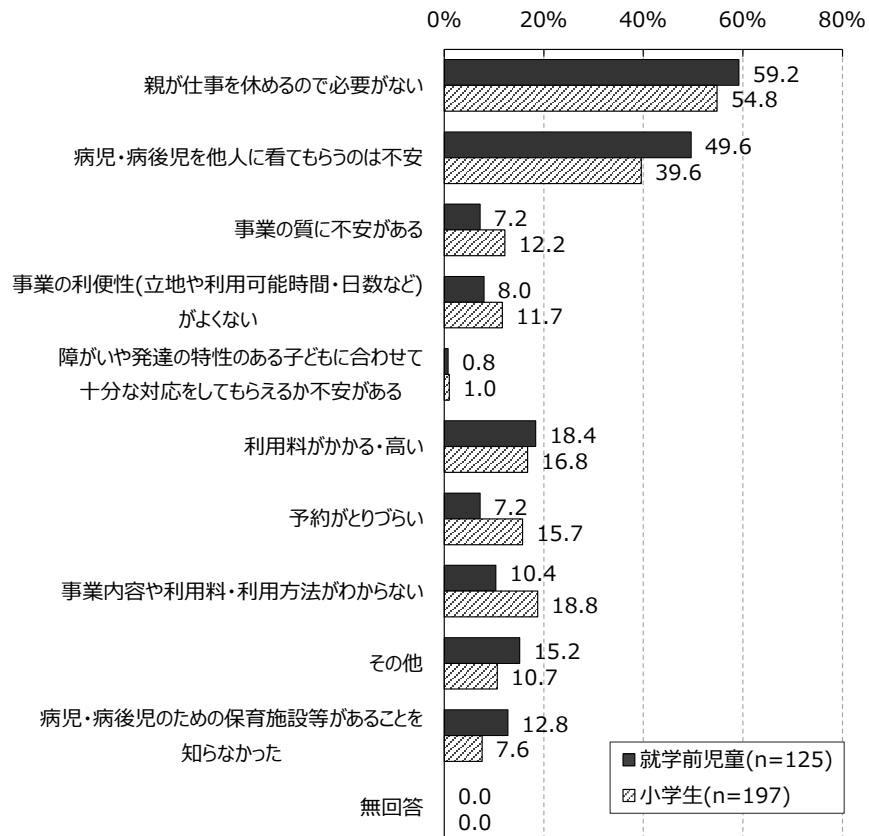
小学生 問14 お子さんが病気やけがで教育・保育事業を利用できない場合に、どのような事業を利用したいと思いますか。(複数回答)



(2) 病児・病後児保育等を利用したいと思わない理由

利用したいと思わない理由は、就学前児童、小学生ともに「親が仕事を休めるので必要がない」が最も多く就学前児童 59.2%、小学生 54.8%、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が就学前児童 49.6%、小学生 39.6%となっています。

就学前児童 問14-1 利用したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)
小学生 問14-1 利用したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)



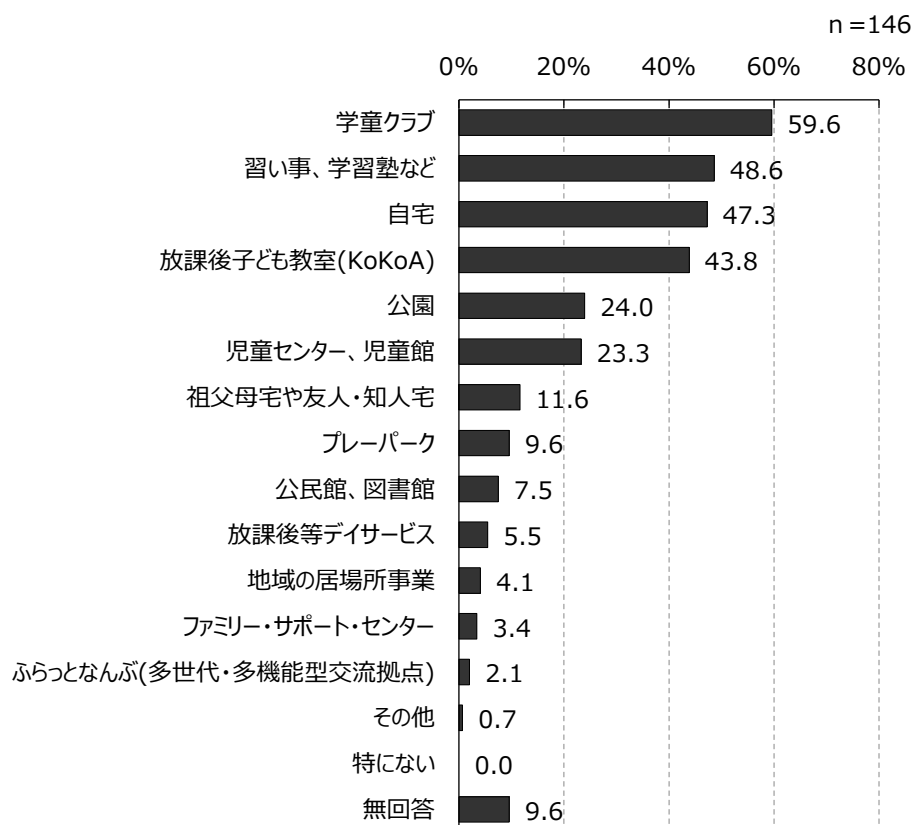
8 小学校就学後の放課後の過ごし方

(1) 小学校入学後希望する放課後の過ごし方

令和6年4月から小学生になる子どもの小学校低学年の放課後の過ごし方について、「学童クラブ」が59.6%と最も多く、次いで「習い事、学習塾など」が48.6%、「自宅」が47.3%、「放課後子ども教室(KoKoA)」が43.8%、「公園」が24.0%となっています。

(令和6年4月から小学生になる子どものみ)

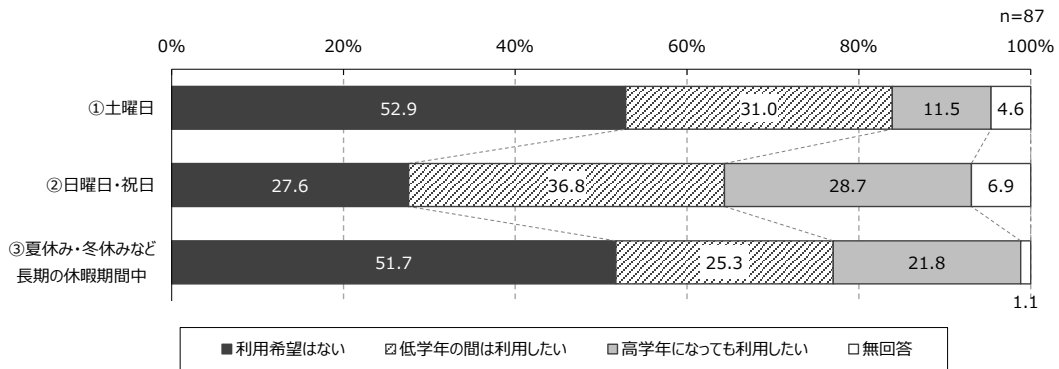
就学前児童 問15 お子さんについて、小学校低学年(1~3年生)の内は、平日の学校終了後(放課後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)



(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の学童クラブの利用希望

小学校入学後の放課後を学童クラブで過ごさせたいと思っている人の、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の利用希望について、日曜日の利用を希望する割合が高くなっています。

就学前児童 問15-1 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日や夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。



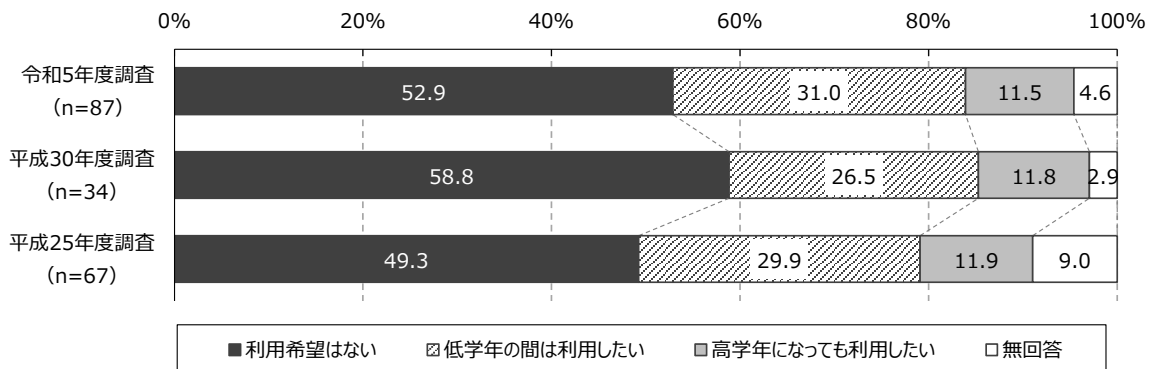
【前回比較】

利用希望を平成30年度調査と比較すると、土曜日の割合に大きな増減はみられませんが、「低学年の間は利用したい」が4.5ポイント高くなっています。

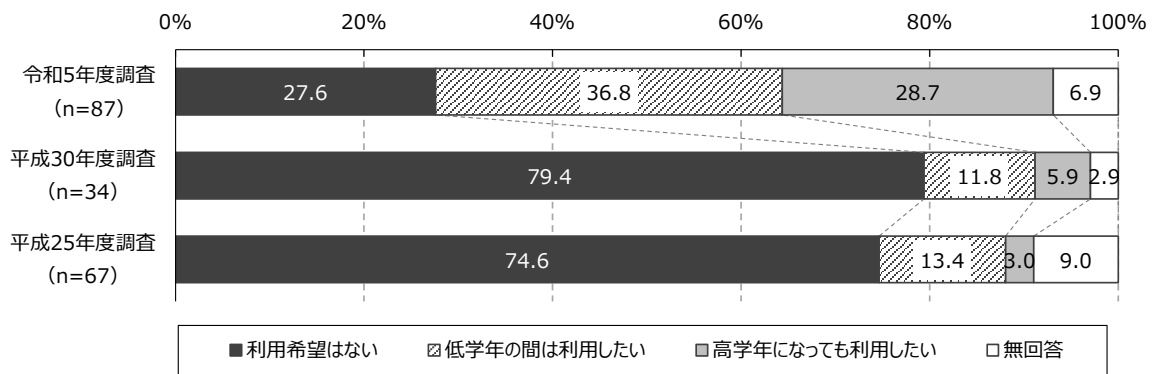
日曜日は利用希望が大きく増加し、「低学年の間は利用したい」が25.0ポイント、「高学年になっても利用したい」が22.8ポイント高くなっています。

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用希望は大きく減少し、「利用希望はない」が42.9ポイント高くなっています。

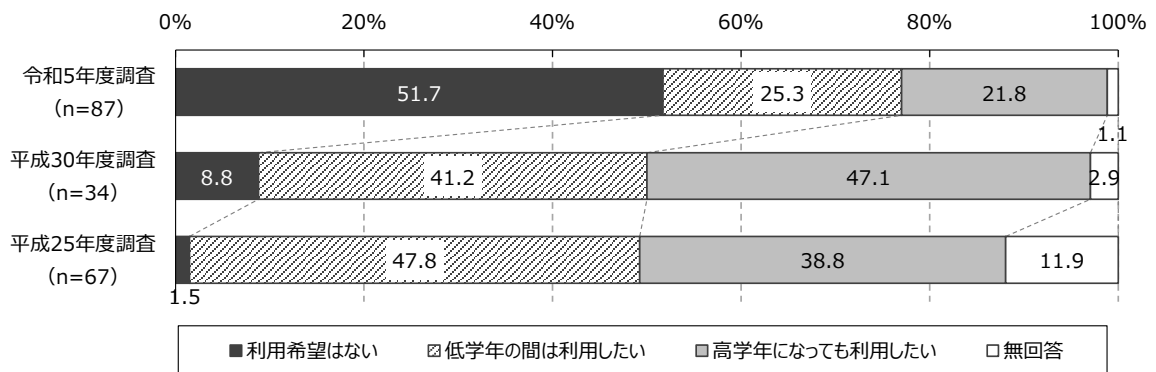
■土曜日



■日曜日・祝日



■夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中



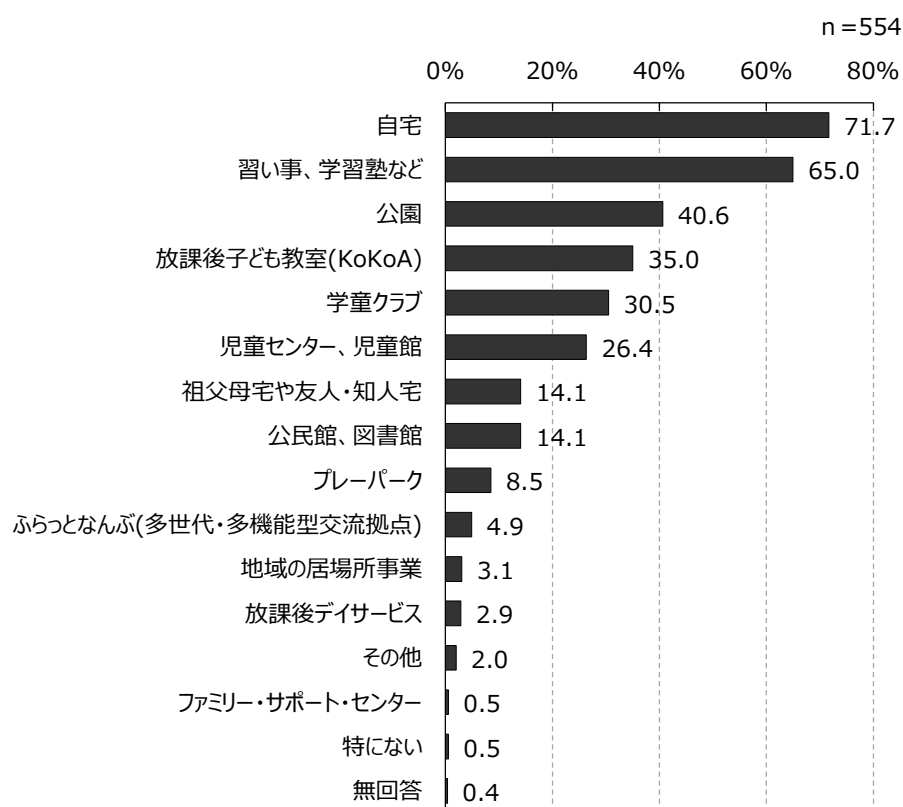
9 小学生の放課後の過ごし方

(1) 小学生の希望する放課後の過ごし方

小学生の放課後の過ごし方について、「自宅」が71.7%と最も多く、次いで「習い事、学習塾など」が65.0%、「公園」が40.6%、「放課後子ども教室 (KoKoA)」が35.0%、「学童クラブ」が30.5%となっています。

小学生

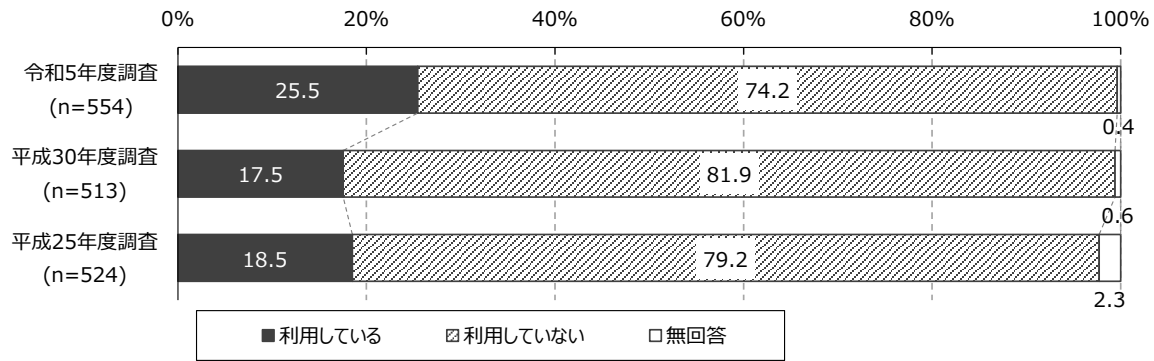
問10 お子さんについて、平日の学校終了後(放課後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)



(2) 学童クラブの利用状況

学童クラブの利用状況について、「利用している」が25.5%、「利用していない」が74.2%となっています。平成30年度調査と比較すると、「利用している」割合は8.0ポイント高くなっています。

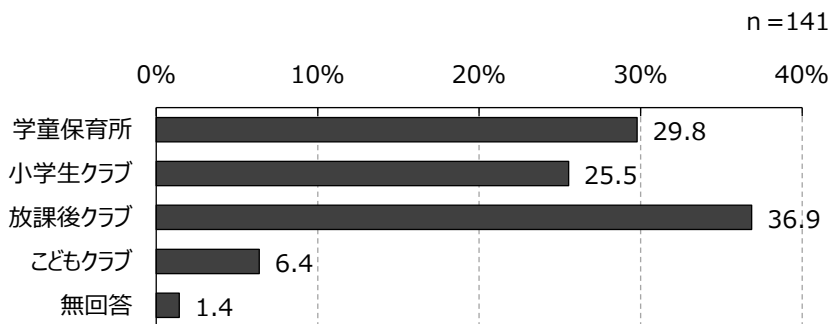
小学生 問11 お子さんは現在、学童クラブを利用していますか。



(3) 利用している施設の種類の種類

利用している施設の種類の種類は、「放課後クラブ」が36.9%、「学童保育所」が29.8%、「小学生クラブ」が25.5%、「こどもクラブ」が6.4%となっています。

小学生 問11-1 施設の種類をお答えください。



(4) 学童クラブを利用していない理由

学童クラブを利用していない理由として、「就労していないので必要がないから」が29.7%と最も多く、次いで「その他」が21.2%、「就労しているが、放課後の短時間なら、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が17.5%、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」が11.4%、「放課後子ども教室（KoKoA）を利用しているから」が5.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「就労していないので必要がないから」は11.7ポイント減少し、「就労しているが、放課後の短時間なら、子どもだけでも大丈夫だと思うから」は4.6ポイント増加しています。

小学生 問11-2 利用していない理由は何ですか。

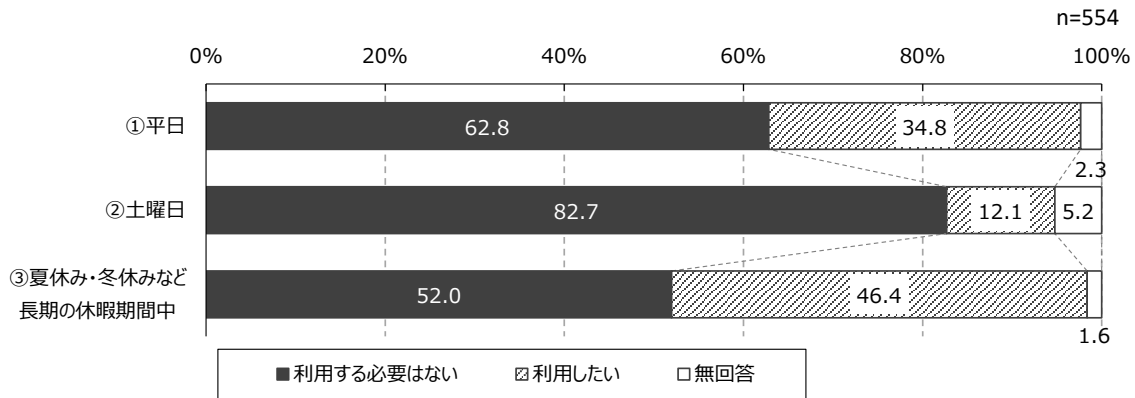


(5) 今後の学童クラブの利用意向

今後の学童クラブの利用意向について、「利用する必要はない」が多数を占めていますが、平日は 34.8%、夏休み・冬休み等は 46.4%が「利用したい」と回答しています。

小学生

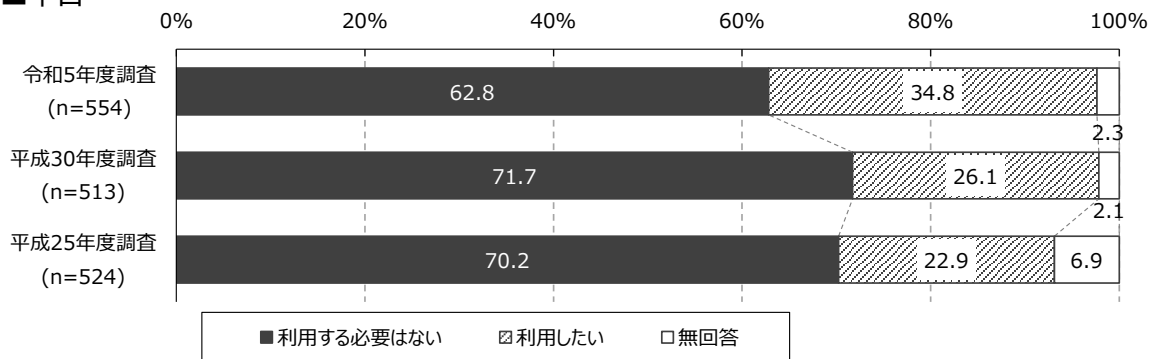
問12 お子さんについて、今後の学童クラブの利用意向はありますか。



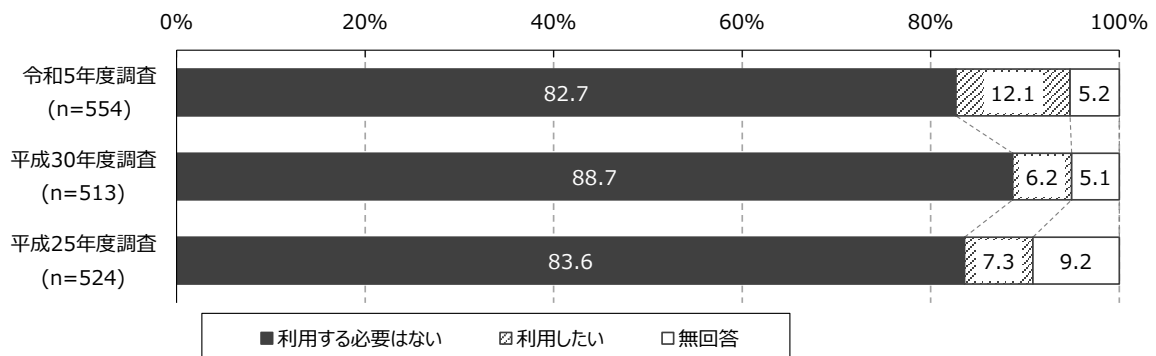
【前回比較】

学童クラブの利用意向を平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」と回答した割合は、平日は 8.7 ポイント、土曜日は 5.9 ポイント、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中は 11.7 ポイント増加しています。

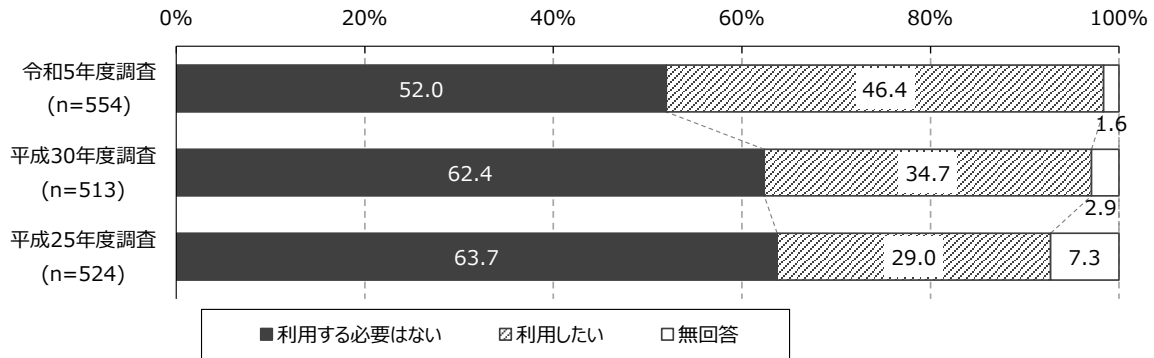
■ 平日



■ 土曜日



■夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中

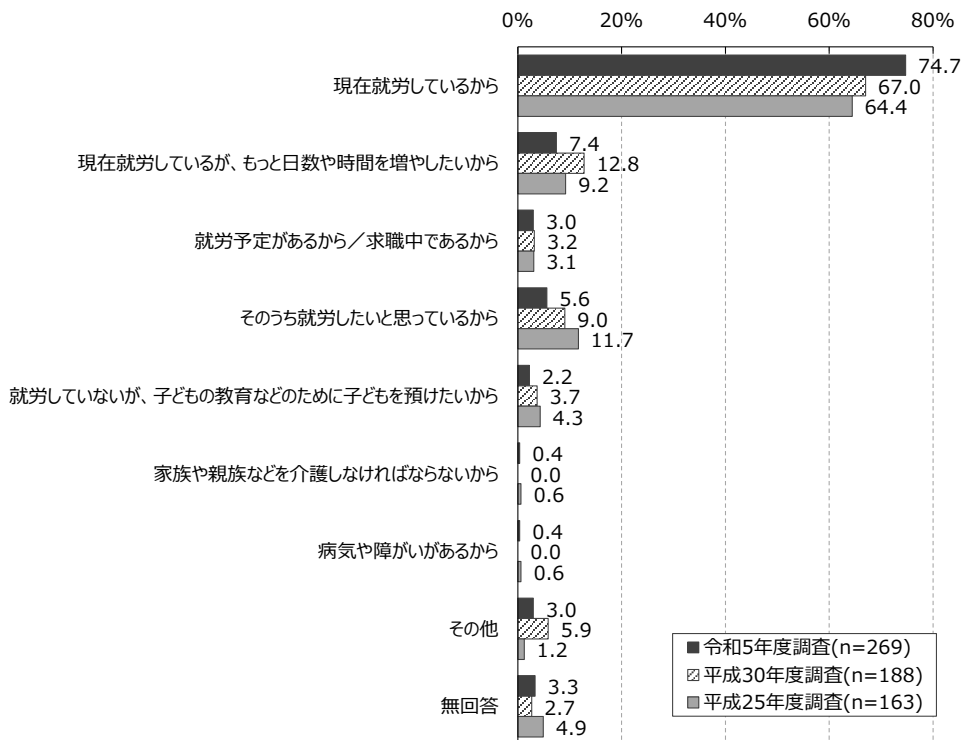


(6) 今後、学童クラブを利用したい理由

今後、学童クラブを利用したい理由として、「現在就労しているから」が74.7%と多数を占め、「現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたいから」が7.4%、「そのうち就労したいと思っているから」が5.6%、「就労予定があるから／求職中であるから」及び「その他」が3.0%となっています。平成30年度調査と比較すると、傾向に大きな増減はみられず、「現在就労しているから」が7.7ポイント増加しています。

小学生

問12-1 今後、学童クラブを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。

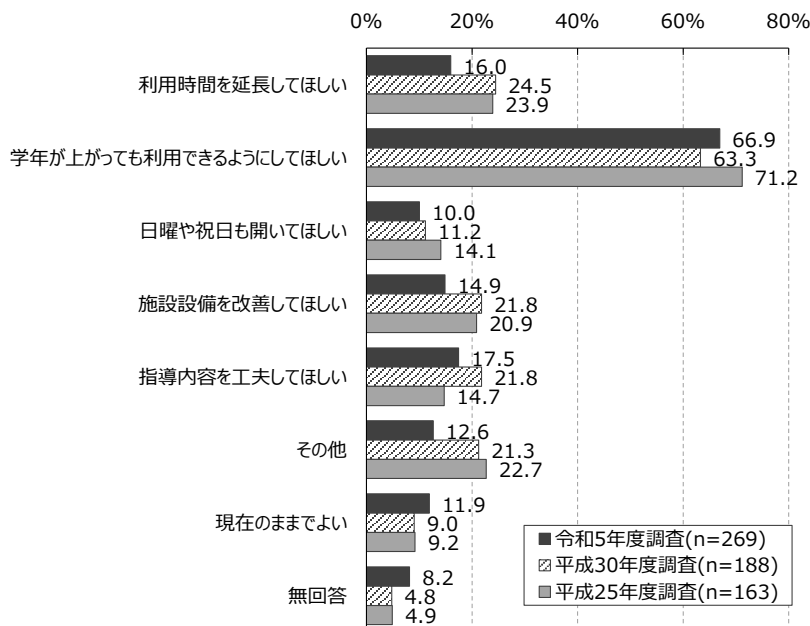


(7) 学童クラブに対する希望

学童クラブに対する希望について、「学年が上がっても利用できるようにしてほしい」が66.9%と最も多く、次いで「指導内容を工夫してほしい」が17.5%、「利用時間を延長してほしい」が16.0%、「施設設備を改善してほしい」が14.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、「学年が上がっても利用できるようにしてほしい」、「現状のままでよい」がわずかに増加しているほかは減少しており、「利用時間を延長してほしい」が8.5ポイント、「施設設備を改善してほしい」が6.9ポイント減少などとなっています。

小学生

問12-2 学童クラブに対してどのようなことを希望しますか。(複数回答)



10 就学前保護者の就労状況・職場の両立支援

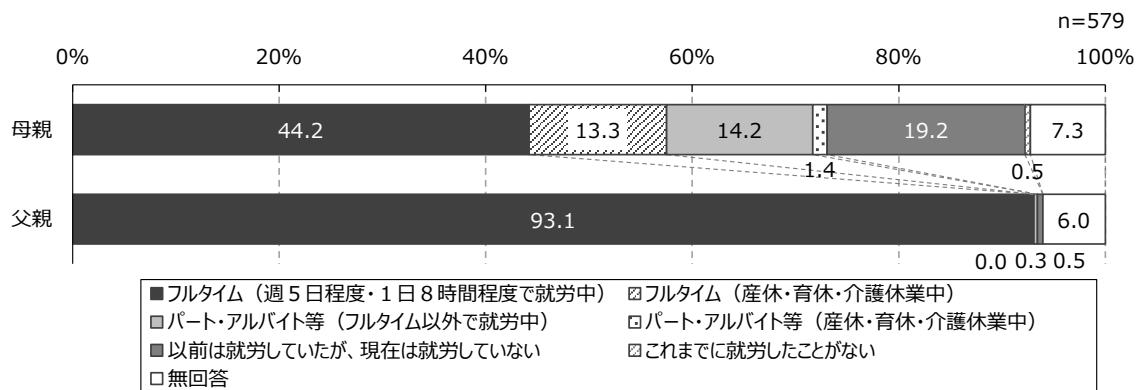
(1) 保護者の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイム」が44.2%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が19.2%、「パート・アルバイト等」が14.2%、「フルタイム(産休・育休・介護休業中)」が13.3%、「パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中)」が1.4%となっています。

父親の就労状況は、「フルタイム」が93.1%と多数を占め、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.5%、「パート・アルバイト等」が0.3%となっています。

就学前児童 問16 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。

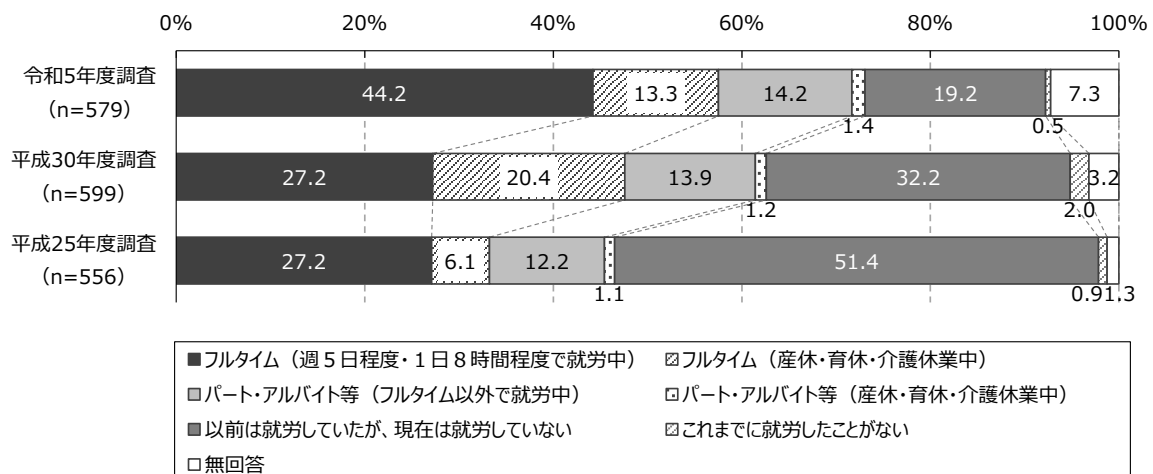
就学前児童 問17 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。



【前回比較】

母親の就労状況を平成30年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が13.0ポイント減少し、「フルタイム」の割合が17.0ポイント増加しています。

■母親の就労状況



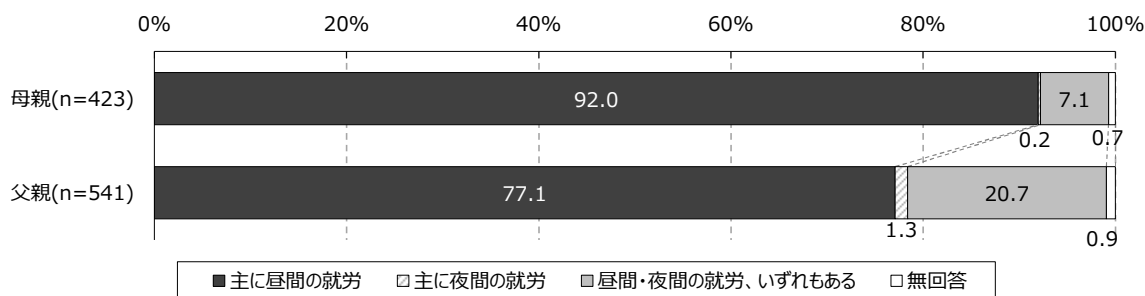
(2) 普段の就労時間帯

母親は「主に昼間の就労」が92.0%と多数を占め、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が7.1%、「主に夜間の就労」が0.2%となっています。

父親は「主に昼間の就労」が77.1%と最も多く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」が20.7%、「主に夜間の就労」が1.3%となっています。

就学前児童 問16-1 母親 普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。

就学前児童 問17-1 父親 普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。



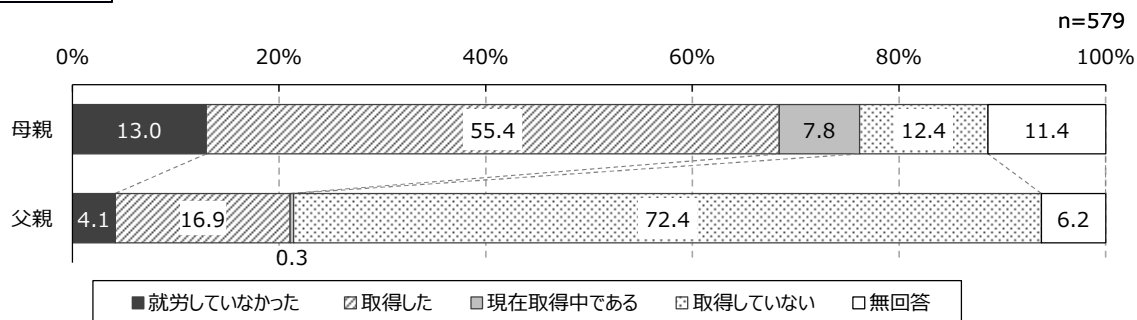
(3) 育児休業の取得状況

母親は、「取得した」が55.4%と最も多く、次いで「就労していなかった」が13.0%、「取得していない」が12.4%、「現在取得中である」が7.8%となっています。

父親は、「取得していない」が72.4%と最も多く、次いで「取得した」が16.9%、「就労していなかった」が4.1%、「現在取得中である」が0.3%となっています。

就学前児童 問16-2 母親 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。

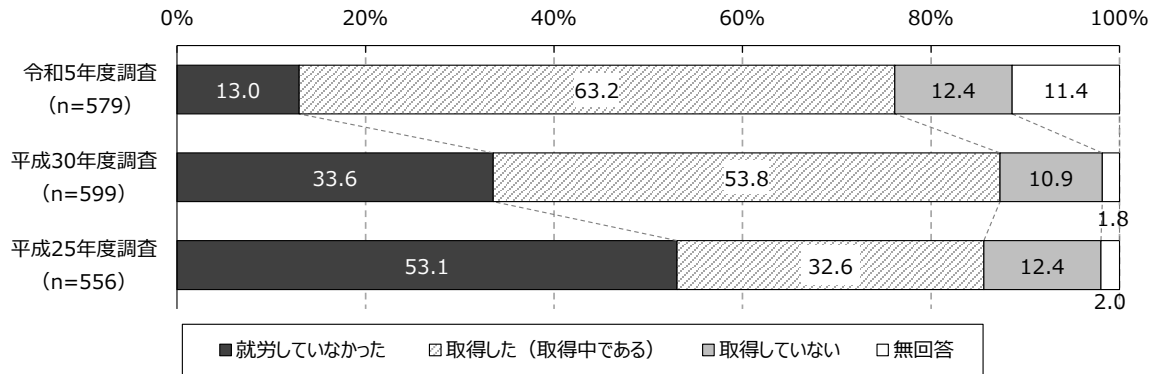
就学前児童 問17-2 父親 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。



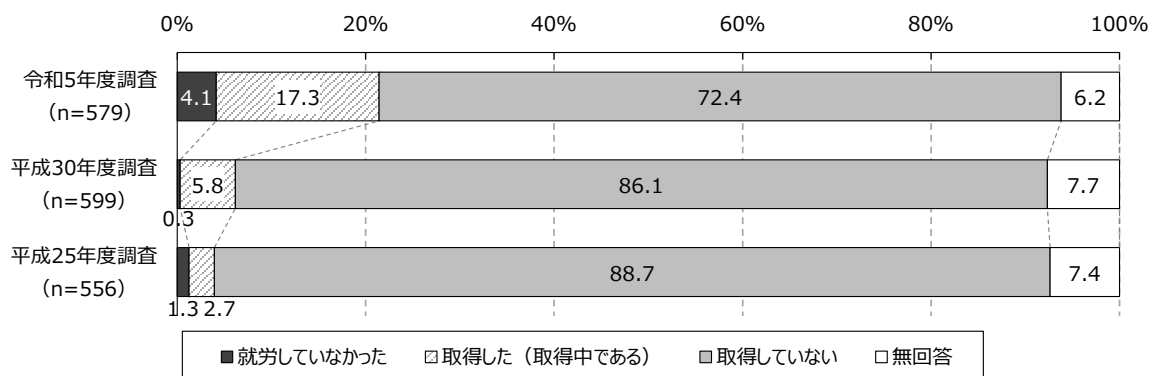
【前回比較】

育児休業の取得状況を平成30年度調査と比較すると、母親は「就労していなかった」は20.6ポイント減少し、「取得した（取得中である）」は9.4ポイント増加しています。父親は「取得した（取得中である）」は11.5ポイント増加となっています。

■母親



■父親



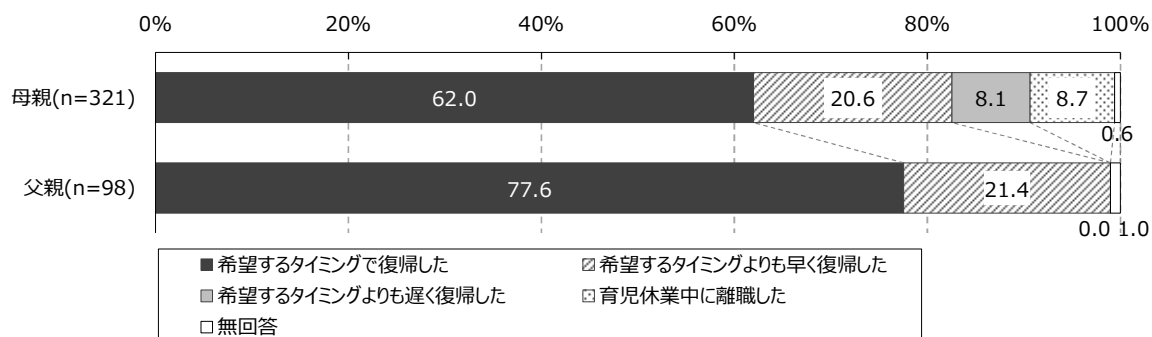
(4) 育児休業取得後の職場復帰状況

母親は、「希望するタイミングで復帰した」が62.0%と最も多く、次いで「希望するタイミングよりも早く復帰した」が20.6%、「育児休業中に離職した」が8.7%、「希望するタイミングよりも遅く復帰した」が8.1%となっています。

父親は、「希望するタイミングで復帰した」が77.6%と最も多く、次いで「希望するタイミングよりも早く復帰した」が21.4%となっています。

就学前児童 問16-3 母親 育児休業後、職場に復帰しましたか。

就学前児童 問17-3 父親 育児休業後、職場に復帰しましたか。



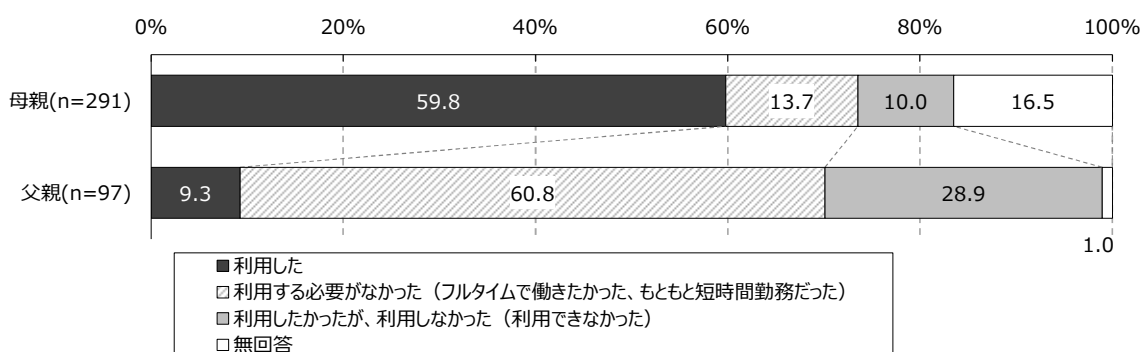
(5) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

母親は、「利用した」が59.8%と最も多く、次いで「利用する必要がなかった」が13.7%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が10.0%となっています。

父親は、「利用する必要がなかった」が60.8%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が28.9%、「利用した」が9.3%となっています。

就学前児童 問16-4 母親 職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。

就学前児童 問17-4 父親 職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。



11 小学生保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

母親の就労状況について、「フルタイム」が45.1%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等」が27.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が17.0%、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」が1.8%、「これまでに就労したことがない」が1.6%となっています。

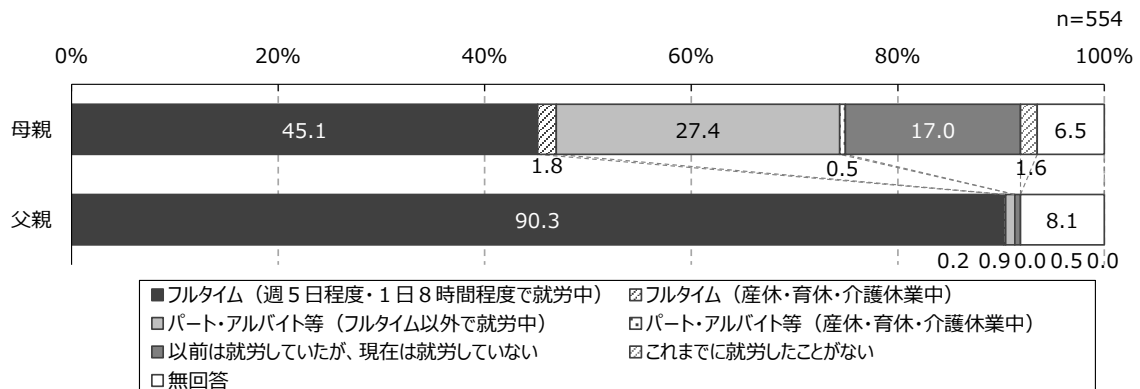
父親の就労状況について、「フルタイム」が90.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等」が0.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.5%、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」が0.2%となっています。

小学生

問8 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。

小学生

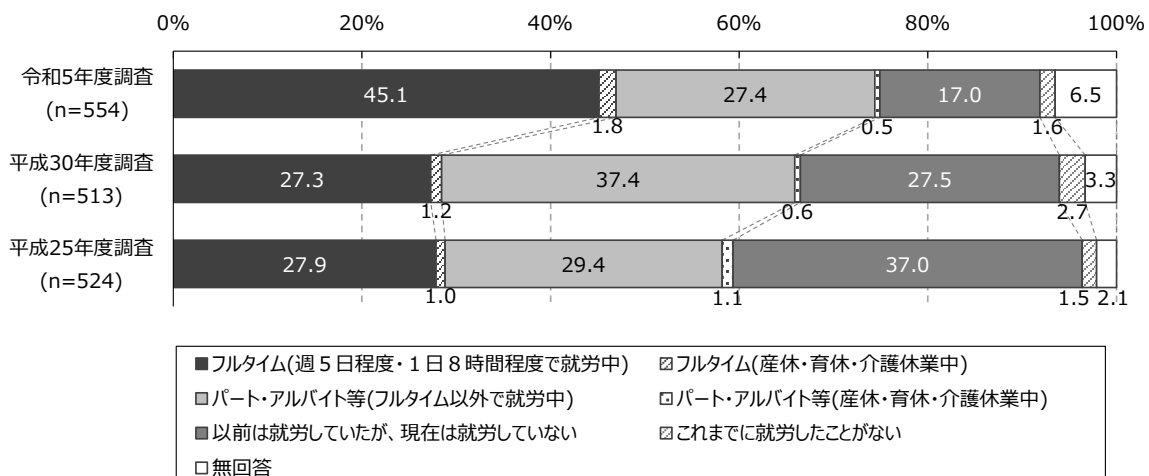
問9 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてうかがいます。



【前回比較】

母親の就労状況を平成30年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が10.5ポイント、「パート・アルバイト等」が10.0ポイント減少し、「フルタイム」の割合が17.8ポイント増加します。

■母親の就労状況

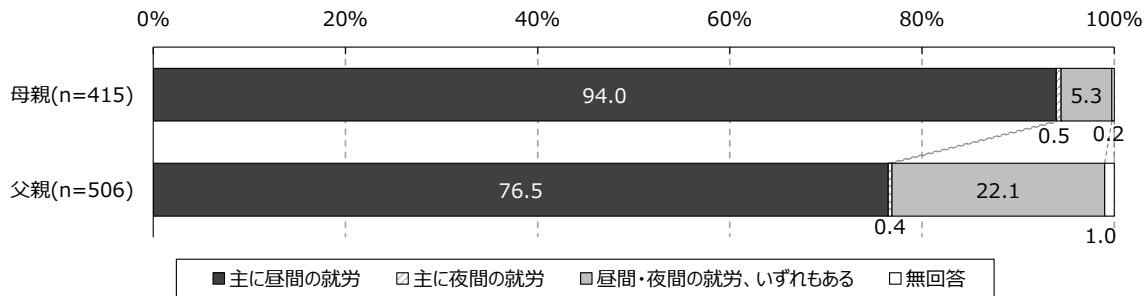


(2) 普段の就労時間帯

母親は、「主に昼間の就労」が94.0%と多数を占め、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が5.3%、「主に夜間の就労」が0.5%となっています。

父親は、「主に昼間の就労」が76.5%と最も多く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」が22.1%、「主に夜間の就労」が0.4%となっています。

- 小学生** 問8-1 母親 普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。
小学生 問9-1 父親 普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。



12 生活・子育て全般

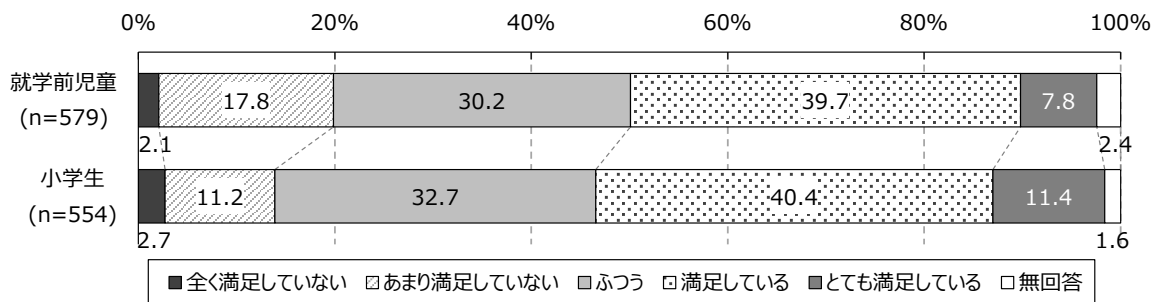
(1) 生活の満足度

就学前児童は、「満足している」が39.7%と最も多く、次いで「ふつう」が30.2%、「あまり満足していない」が17.8%、「とても満足している」が7.8%、「全く満足していない」が2.1%となっています。

小学生は、「満足している」が40.4%と最も多く、次いで「ふつう」が32.7%、「とても満足している」が11.4%、「あまり満足していない」が11.2%、「全く満足していない」が2.7%となっています。

就学前児童 問18 全体として、あなたは現在の生活に、どのくらい満足していますか。

小学生 問17 全体として、あなたは現在の生活に、どのくらい満足していますか。

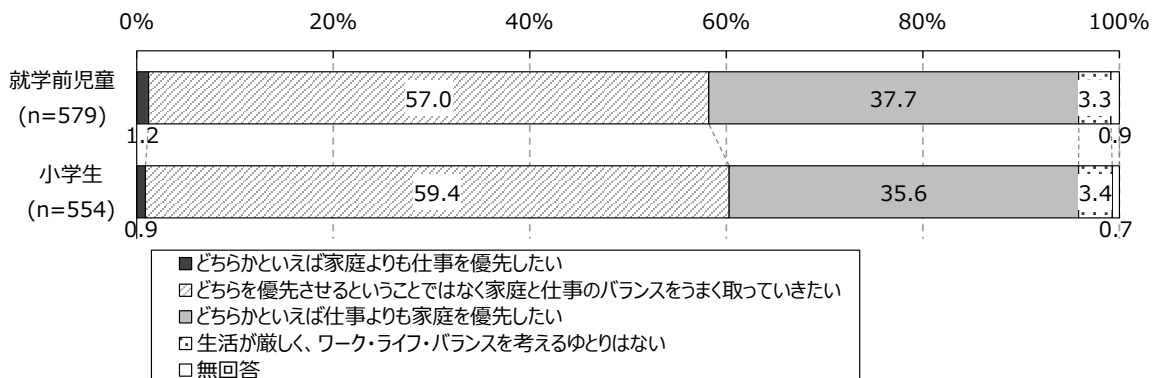


(2) 仕事と家庭のバランスについて

就学前児童、小学生ともに、「どちらを優先させるということではなく家庭と仕事のバランスをうまく取っていききたい」が最も多く、就学前児童57.0%、小学生59.4%、次いで「どちらかといえば仕事よりも家庭を優先したい」が就学前児童37.7%、小学生35.6%となっています。

就学前児童 問19 仕事と家庭のバランスについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

小学生 問18 仕事と家庭のバランスについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。



■母親の就労状況別：仕事と家庭のバランス（就学前児童）

問19 仕事と家庭のバランスについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

	合計	どちらかといえば 家庭よりも仕事を 優先したい	どちらを優先させ るということではな く家庭と仕事のバ ランスをうまく取っ ていきたい	どちらかといえば 仕事よりも家庭を 優先したい	生活が厳しく、 ワーク・ライフ・バ ランスを考えるゆ とりはない	無回答
全体	579	7	330	218	19	5
	100.0	1.2	57.0	37.7	3.3	0.9
フルタイム	256	2	174	68	11	1
	100.0	0.8	68.0	26.6	4.3	0.4
フルタイム （産休・育休・介護休業中）	77	2	35	39	1	0
	100.0	2.6	45.5	50.6	1.3	0.0
パート・アルバイト等	82	1	50	27	3	1
	100.0	1.2	61.0	32.9	3.7	1.2
パート・アルバイト等 （産休・育休・介護休業中）	8	0	5	3	0	0
	100.0	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は 就労していない	111	1	34	69	4	3
	100.0	0.9	30.6	62.2	3.6	2.7
これまでに就労したことがない	3	0	0	3	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

■母親の就労状況別：仕事と家庭のバランス（小学生）

問18 仕事と家庭のバランスについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

	合計	どちらかといえば 家庭よりも仕事を 優先したい	どちらを優先させ るということではな く家庭と仕事のバ ランスをうまく取っ ていきたい	どちらかといえば 仕事よりも家庭を 優先したい	生活が厳しく、 ワーク・ライフ・バ ランスを考えるゆ とりはない	無回答
全体	554	5	329	197	19	4
	100.0	0.9	59.4	35.6	3.4	0.7
フルタイム	250	1	176	60	13	0
	100.0	0.4	70.4	24.0	5.2	0.0
フルタイム （産休・育休・介護休業中）	10	0	6	4	0	0
	100.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
パート・アルバイト等	152	1	90	54	5	2
	100.0	0.7	59.2	35.5	3.3	1.3
パート・アルバイト等 （産休・育休・介護休業中）	3	0	1	2	0	0
	100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は 就労していない	94	0	35	58	0	1
	100.0	0.0	37.2	61.7	0.0	1.1
これまでに就労したことがない	9	1	4	4	0	0
	100.0	11.1	44.4	44.4	0.0	0.0

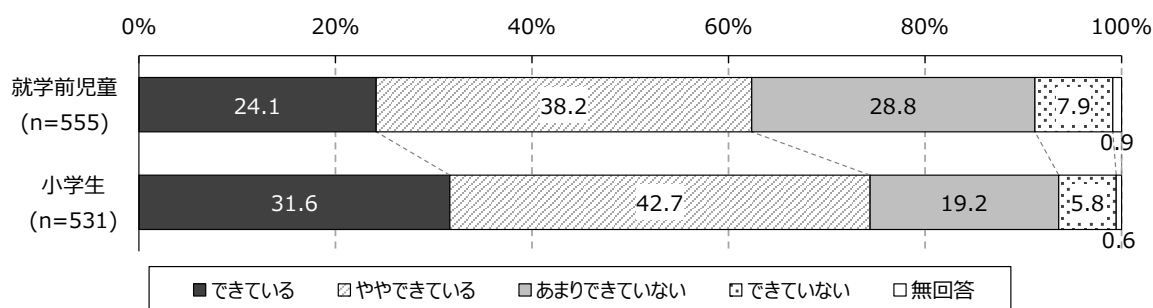
(3) 現在の生活の中で考えのとおりに仕事と家庭のバランスが取れているか

就学前児童は、「ややできている」が38.2%と最も多く、次いで「あまりできていない」が28.8%、「できている」が24.1%、「できていない」が7.9%となっています。

小学生は、「ややできている」が42.7%と最も多く、次いで「できている」が31.6%、「あまりできていない」が19.2%、「できていない」が5.8%となっています。

就学前児童 問19-1 あなた自身として、現在の生活の中で、上記の考えのとおりに行うことができていると思いますか。

小学生 問18-1 あなた自身として、現在の生活の中で、上記の考えのとおりに行うことができていると思いますか。

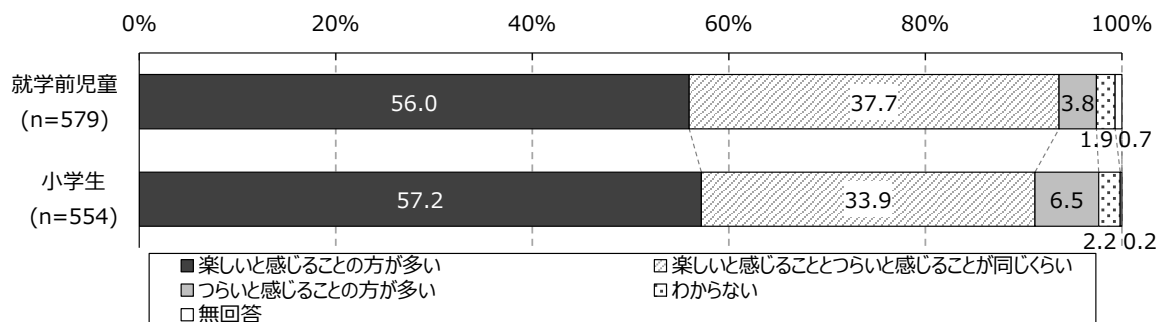


(4) 子育ての感じ方

就学前児童、小学生ともに「楽しいと感じることの方が多い」が最も多く、就学前児童 56.0%、小学生 57.2%、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が就学前児童 37.7%、小学生 33.9%となっています。

就学前児童 問20 あなたは、子育てをどのように感じていますか。

小学生 問19 あなたは、子育てをどのように感じていますか。



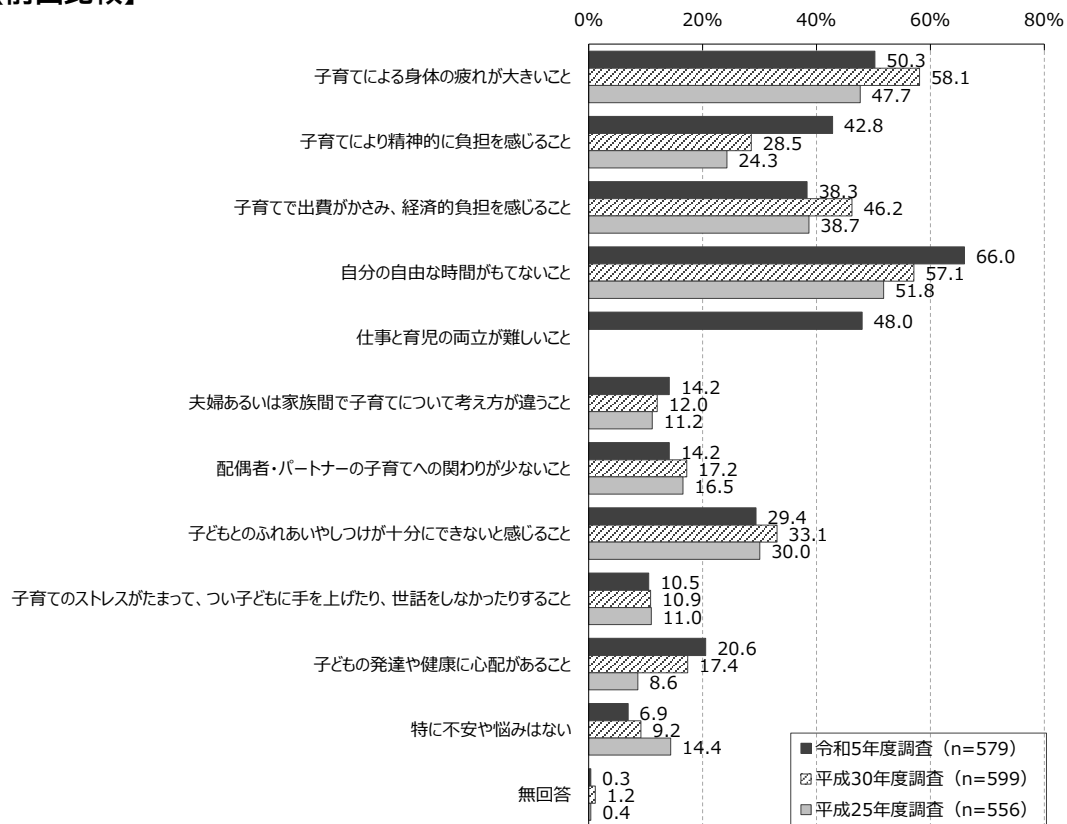
(5) 子育てをする上での不安や悩み

就学前児童では、「自分の自由な時間がもてないこと」が66.0%と最も多く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が50.3%、「仕事と育児の両立が難しいこと」が48.0%、「子育てにより精神的に負担を感じること」が42.8%、「子育てで出費がかさみ、経済的負担を感じること」が38.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てにより精神的に負担を感じること」が14.3ポイント、「自分の自由な時間がもてないこと」が8.9ポイント増加しています。

就学前児童 問21 子育てをする上で、どのような不安や悩みをもっていますか。(複数回答)

【前回比較】

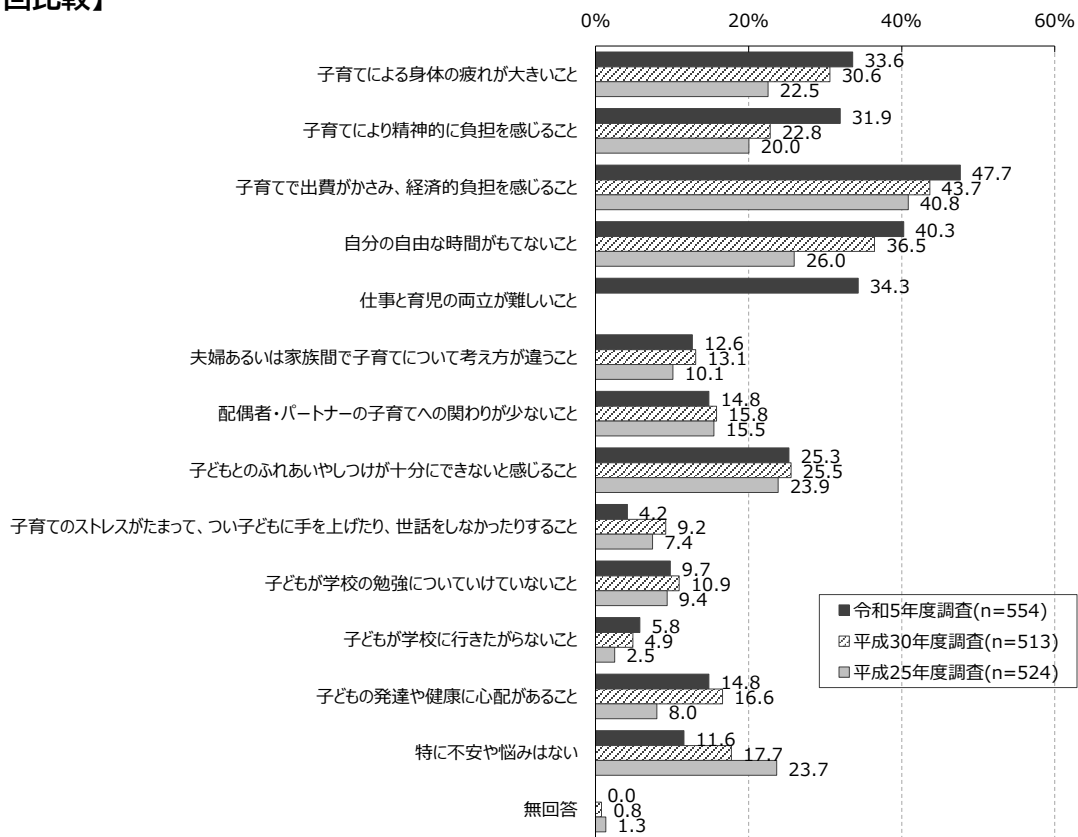


小学生では、「子育てで出費がかさみ、経済的負担を感じる事」が47.7%と最も多く、次いで「自分の自由な時間がもてないこと」が40.3%、「仕事と育児の両立が難しいこと」が34.3%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が33.6%、「子育てにより精神的に負担を感じる事」が31.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てにより精神的に負担を感じる事」が9.1ポイント、「子育てで出費がかさみ、経済的負担を感じる事」が4.0ポイント、「自分の自由な時間がもてないこと」が3.8ポイント増加しています。

小学生 問20 子育てをする上で、どのような不安や悩みをもっていますか。(複数回答)

【前回比較】

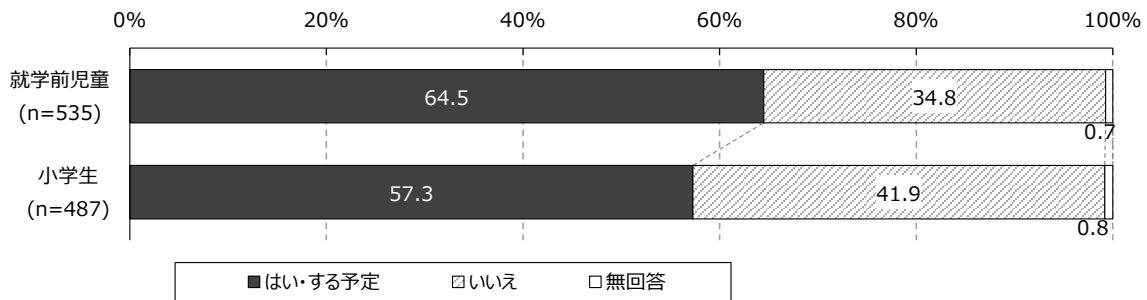


(6) 子育ての不安や悩みの相談の有無

不安や悩みがあると回答した人の相談の有無について就学前児童は、「はい・する予定」が64.5%、「いいえ」が34.8%となっています。小学生は、「はい・する予定」が57.3%、「いいえ」が41.9%となっています。

就学前児童 問21-1 不安や悩みを誰かに相談しましたか。または相談する予定ですか。

小学生 問20-1 不安や悩みを誰かに相談しましたか。または相談する予定ですか。

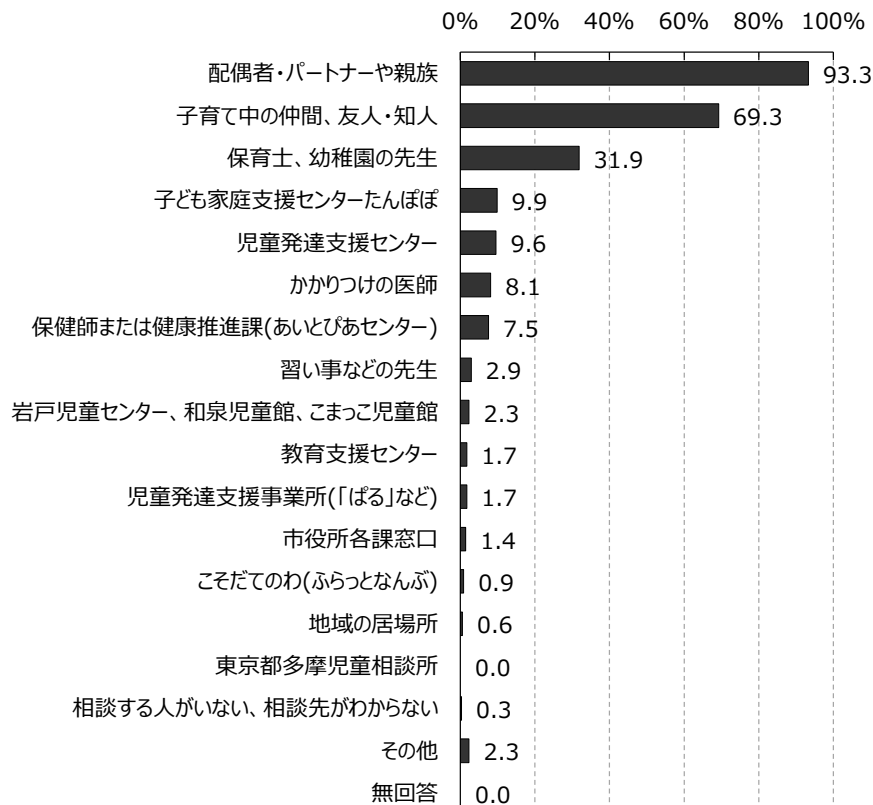


(7) 子育ての不安や悩みの相談先

相談をしたことがある・する予定の人の相談先について就学前児童は、「配偶者・パートナーや親族」が93.3%と多数を占め、次いで「子育て中の仲間、友人・知人」が69.3%、「保育士、幼稚園の先生」が31.9%、「子ども家庭支援センターたんぽぽ」が9.9%、「児童発達支援センター」が9.6%となっています。

就学前児童 問21-2 子育ての不安や悩みをどこに(誰に)相談していますか。または相談する予定ですか。(複数回答)

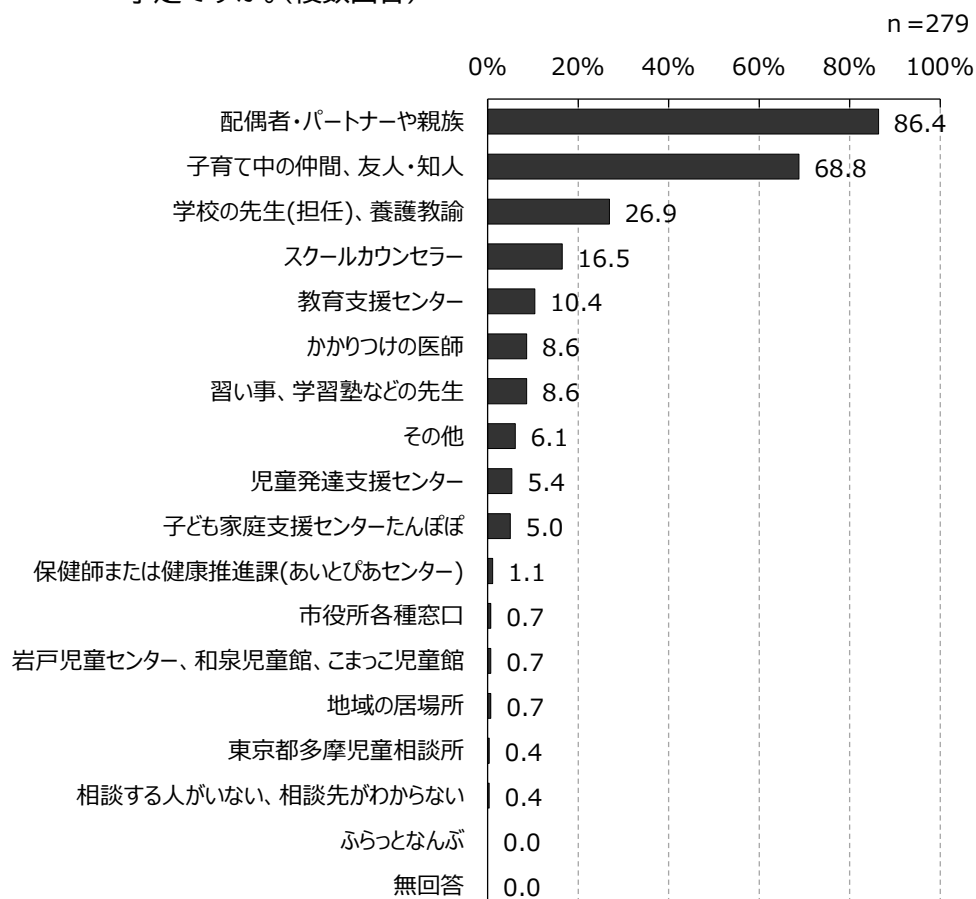
n=345



相談をしたことがある・する予定の人の相談先について小学生は、「配偶者・パートナーや親族」が86.4%と最も多く、次いで「子育て中の仲間、友人・知人」が68.8%、「学校の先生（担任）、養護教諭」が26.9%、「スクールカウンセラー」が16.5%、「教育支援センター」が10.4%となっています。

小学生

問20-2 子育ての不安や悩みをどこに(誰に)相談していますか。または相談する予定ですか。(複数回答)

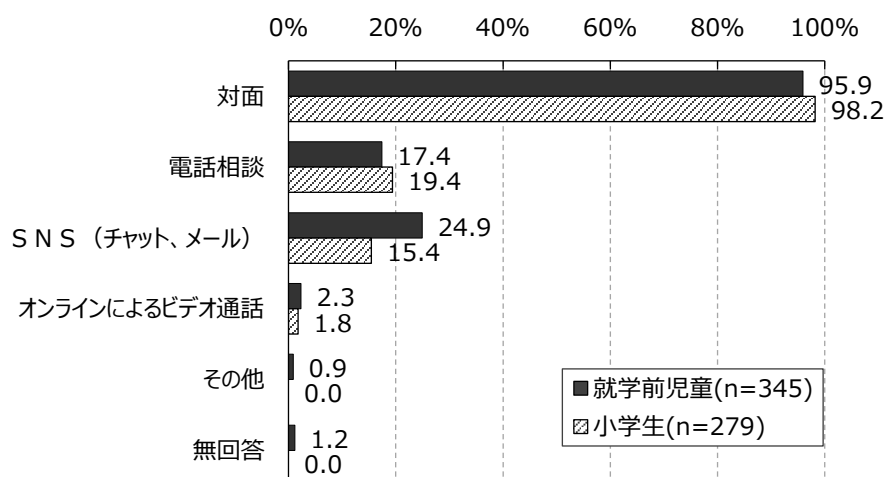


(8) 子育ての不安や悩みの相談方法

相談をしたことがある・する予定の人の相談方法については、就学前児童、小学生ともに「対面」が大多数を占め、就学前児童 95.9%、小学生 98.2%となっています。

就学前児童 問21-3 どのような方法で相談しましたか。また相談する予定ですか。(複数回答)

小学生 問20-3 どのような方法で相談しましたか。また相談する予定ですか。(複数回答)



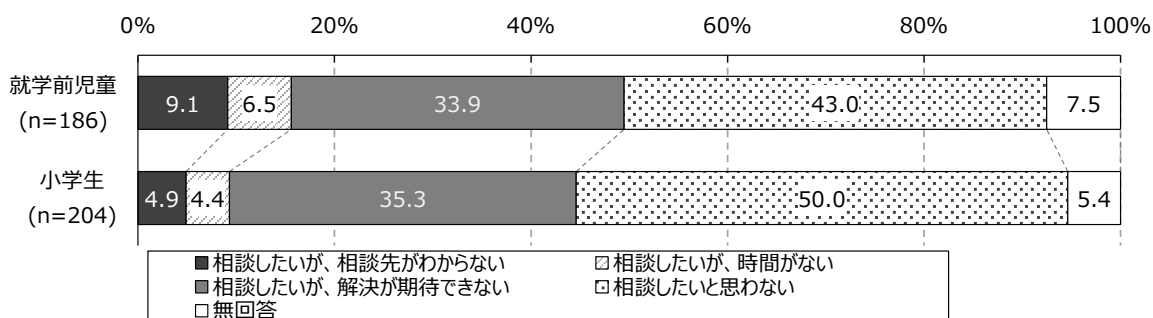
(9) 子育ての不安や悩みの相談の意向

相談をしたことがない人の相談の意向について、就学前児童は、「相談したいと思わない」が 43.0%と最も多く、次いで「相談したいが、解決が期待できない」が 33.9%、「相談したいが、相談先がわからない」が 9.1%、「相談したいが、時間がない」が 6.5%となっています。

小学生は、「相談したいと思わない」が 50.0%と最も多く、次いで「相談したいが、解決が期待できない」が 35.3%、「相談したいが、相談先がわからない」が 4.9%、「相談したいが、時間がない」が 4.4%となっています。

就学前児童 問21-4 誰かに相談したいと思いますか。

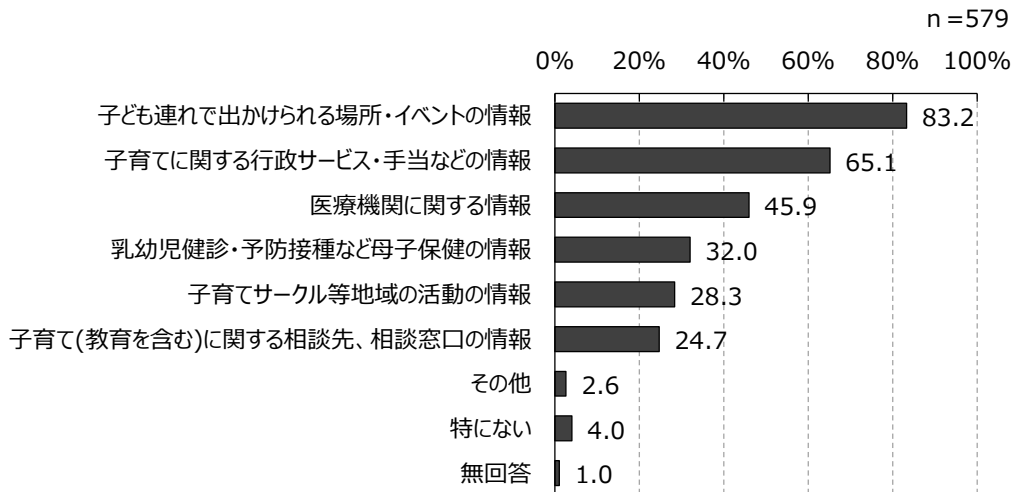
小学生 問20-4 誰かに相談したいと思いますか。



(10) ほしい子育てに関する情報

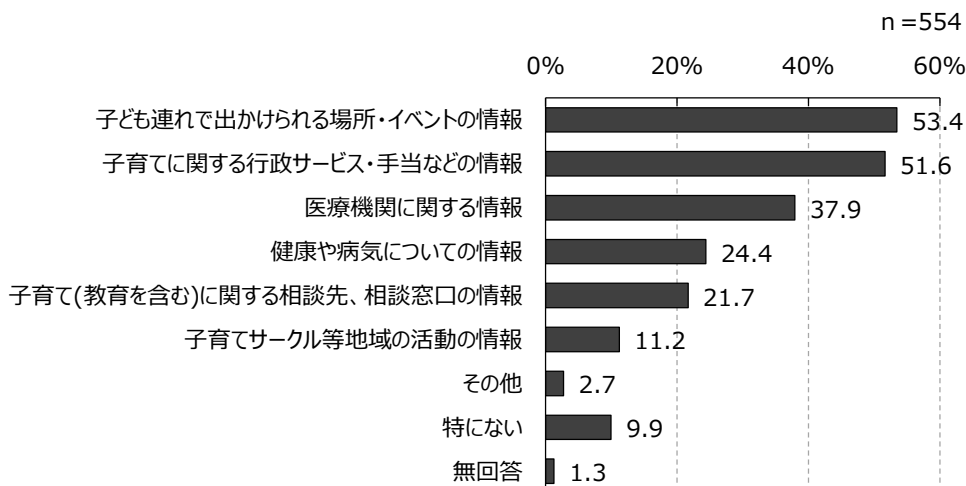
子育てに関するほしい情報について、就学前児童は、「子ども連れで出かけられる場所・イベントの情報」が83.2%と最も多く、次いで「子育てに関する行政サービス・手当などの情報」が65.1%、「医療機関に関する情報」が45.9%、「乳幼児健診・予防接種など母子保健の情報」が32.0%、「子育てサークル等地域の活動の情報」が28.3%となっています。

就学前児童 問22 子育てに関するどのような情報がほしいですか。(複数回答)



小学生は、「子ども連れで出かけられる場所・イベントの情報」が53.4%と最も多く、次いで「子育てに関する行政サービス・手当などの情報」が51.6%、「医療機関に関する情報」が37.9%、「健康や病気についての情報」が24.4%、「子育て(教育を含む)に関する相談先、相談窓口の情報」が21.7%となっています。

小学生 問21 子育てに関するどのような情報がほしいですか。(複数回答)

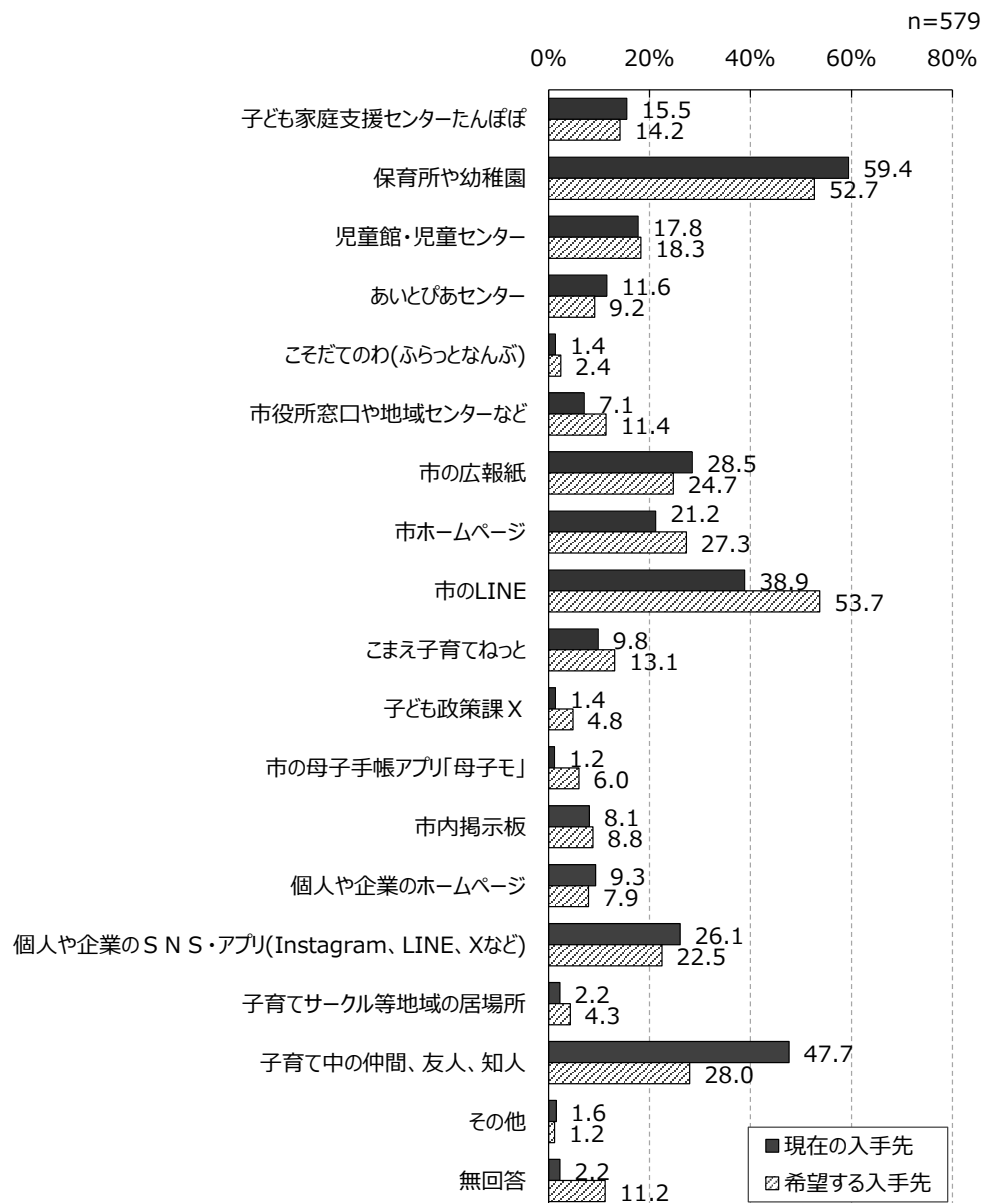


(11) 子育てに関する情報の入手先

就学前児童の子育て情報の現在の入手先は、「保育所や幼稚園」が59.4%と最も多く、次いで「子育て中の仲間、友人、知人」が47.7%、「市のLINE」が38.9%、「市の広報紙」が28.5%、「個人や企業のSNS・アプリ(Instagram、LINE、Xなど)」が26.1%となっています。

希望の入手先は、「市のLINE」が53.7%と最も多く、次いで「保育所や幼稚園」が52.7%、「子育て中の仲間、友人、知人」が28.0%、「市ホームページ」が27.3%、「市の広報紙」が24.7%となっています。

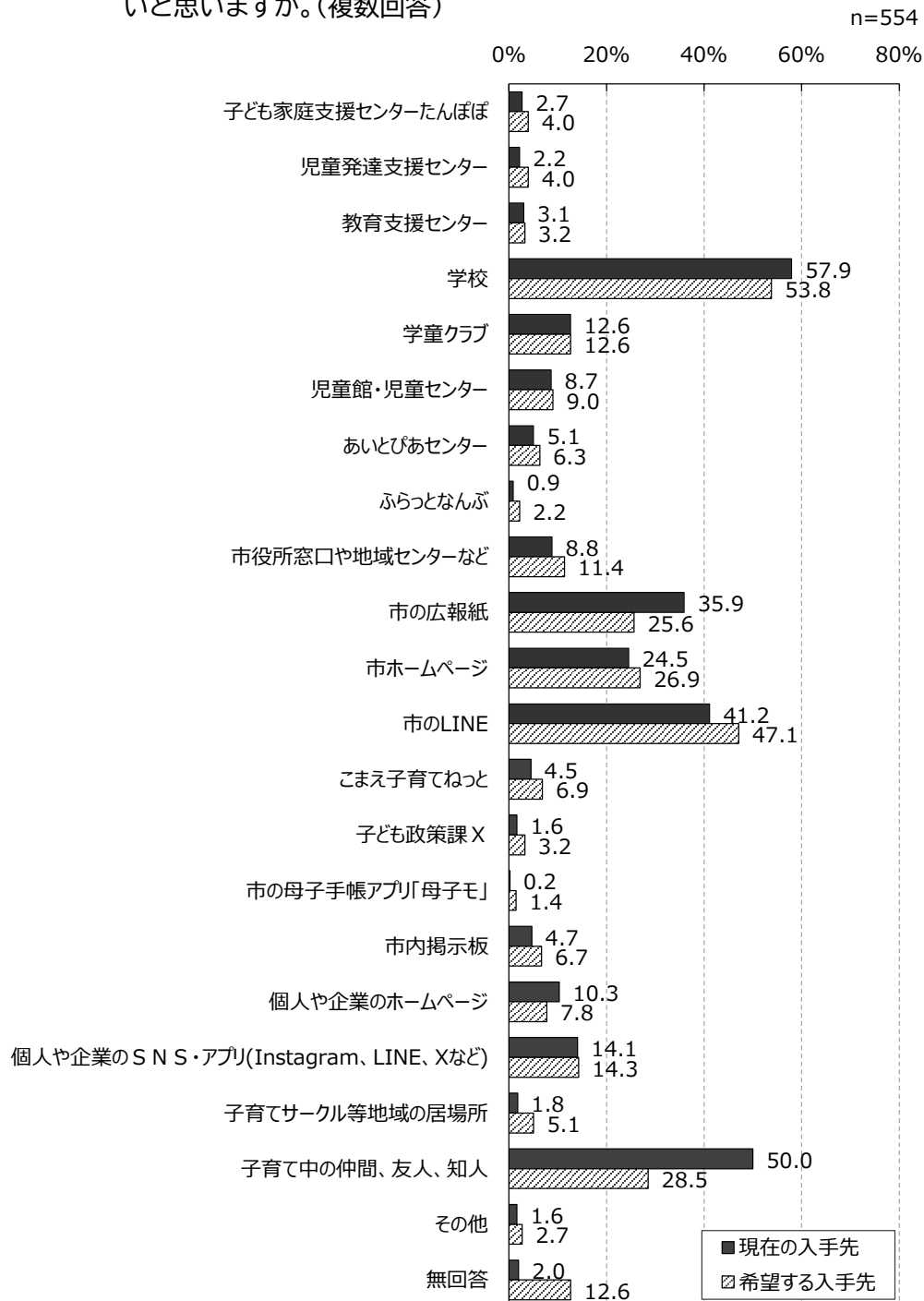
就学前児童 問23 子育てに関する情報はどこから入手していますか。また、どこから入手できるとよいと思いますか。(複数回答)



小学生の子育て情報の現在の入手先は、「学校」が57.9%と最も多く、次いで「子育て中の仲間、友人、知人」が50.0%、「市のLINE」が41.2%、「市の広報紙」が35.9%、「市ホームページ」が24.5%となっています。

希望の入手先は、「学校」が53.8%と最も多く、次いで「市のLINE」が47.1%、「子育て中の仲間、友人、知人」が28.5%、「市ホームページ」が26.9%、「市の広報紙」が25.6%となっています。

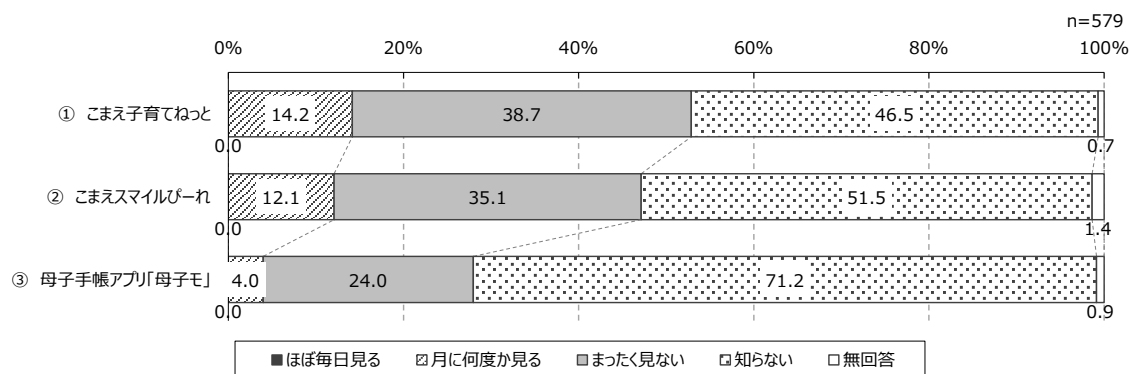
小学生 問22 子育てに関する情報はどこから入手していますか。また、どこから入手できるとよいと思いますか。(複数回答)



(12) 子育てサイト等の閲覧頻度

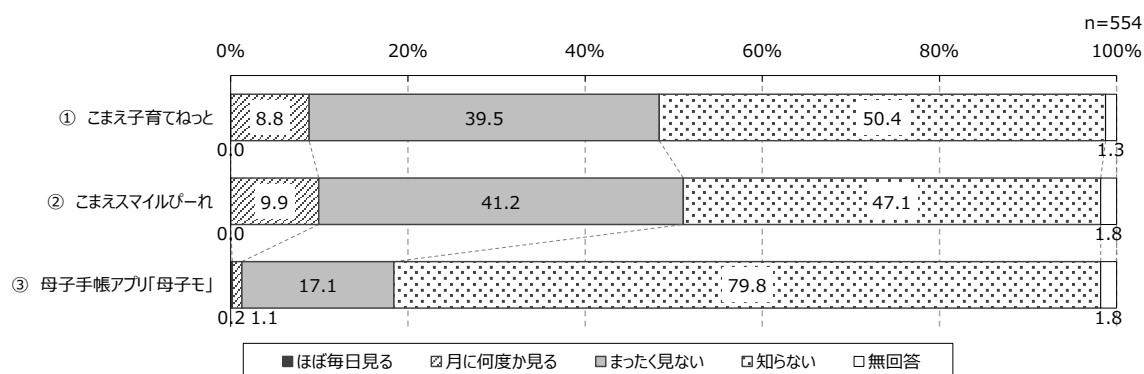
子育てサイト等の閲覧頻度について、就学前児童は、①こまえ子育てねっと、②こまえスマイルぴーれ、③母子手帳アプリ「母子モ」いずれも「知らない」が最も多く、次いで「まったく見ない」となっています。

就学前児童 問24 狛江市で開設している子育てサイト、母子手帳アプリはどのくらいの頻度で閲覧になりますか。



子育てサイト等の閲覧頻度について、小学生は、①こまえ子育てねっと、②こまえスマイルぴーれは「月に何度か見る」は1割に満たず、「知らない」は約5割、「まったく見ない」は約4割となっています。③母子手帳アプリ「母子モ」は約8割が「知らない」と回答しています。

小学生 問23 狛江市で開設している子育てサイト、母子手帳アプリはどのくらいの頻度で閲覧になりますか。



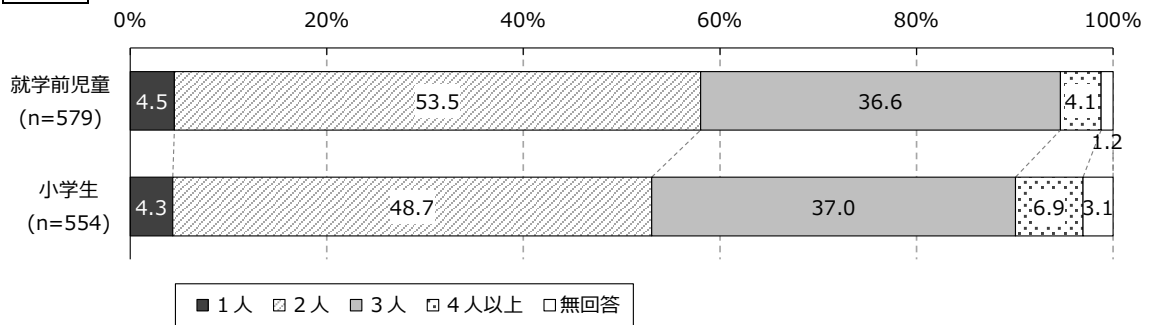
13 子どもの育ちへの支援

(1) 理想の子どもの人数

理想の子どもの人数について、就学前児童、小学生とも「2人」が最も多く就学前児童 53.5%、小学生 48.7%、次いで「3人」が就学前児童 36.6%、小学生 37.0%となっています。

就学前児童 問25 子どもは何人いることが理想ですか。

小学生 問24 子どもは何人いることが理想ですか。



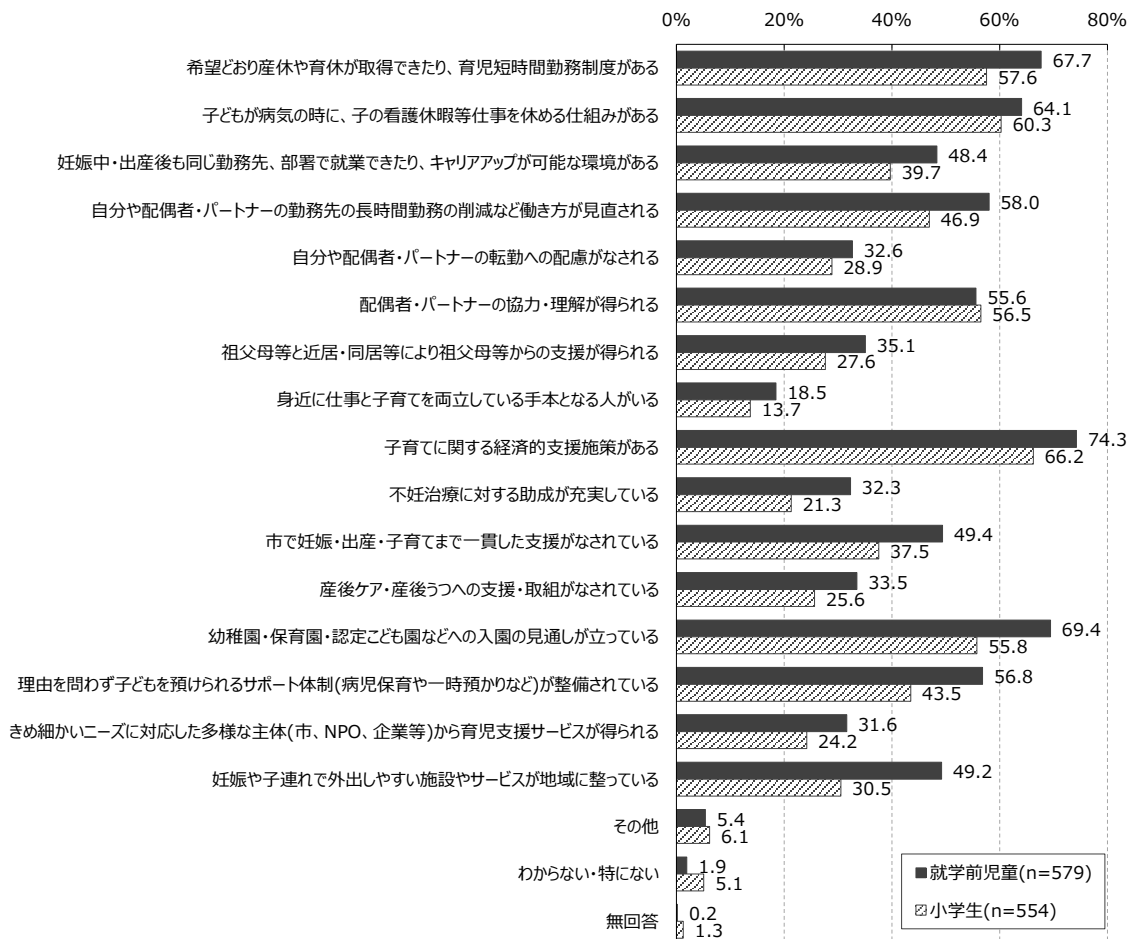
(2) 理想の数の子どもをもてるようになるために、あればいいこと

就学前児童では、「子育てに関する経済的支援施策がある」が74.3%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」が69.4%、「希望どおり産休や育休が取得できたり、育児短時間勤務制度がある」が67.7%、「子どもが病気の時に、子の看護休暇等仕事を休める仕組みがある」が64.1%などとなっています。

小学生では、「子育てに関する経済的支援施策がある」が66.2%と最も多く、次いで「子どもが病気の時に、子の看護休暇等仕事を休める仕組みがある」が60.3%、「希望どおり産休や育休が取得できたり、育児短時間勤務制度がある」が57.6%、「配偶者・パートナーの協力・理解が得られる」が56.5%などとなっています。

就学前児童 問26 理想の数の子どもをもてるようになるには、どのようなことがあればいいと思いますか。(複数回答)

小学生 問25 理想の数の子どもをもてるようになるには、どのようなことがあればいいと思いますか。(複数回答)

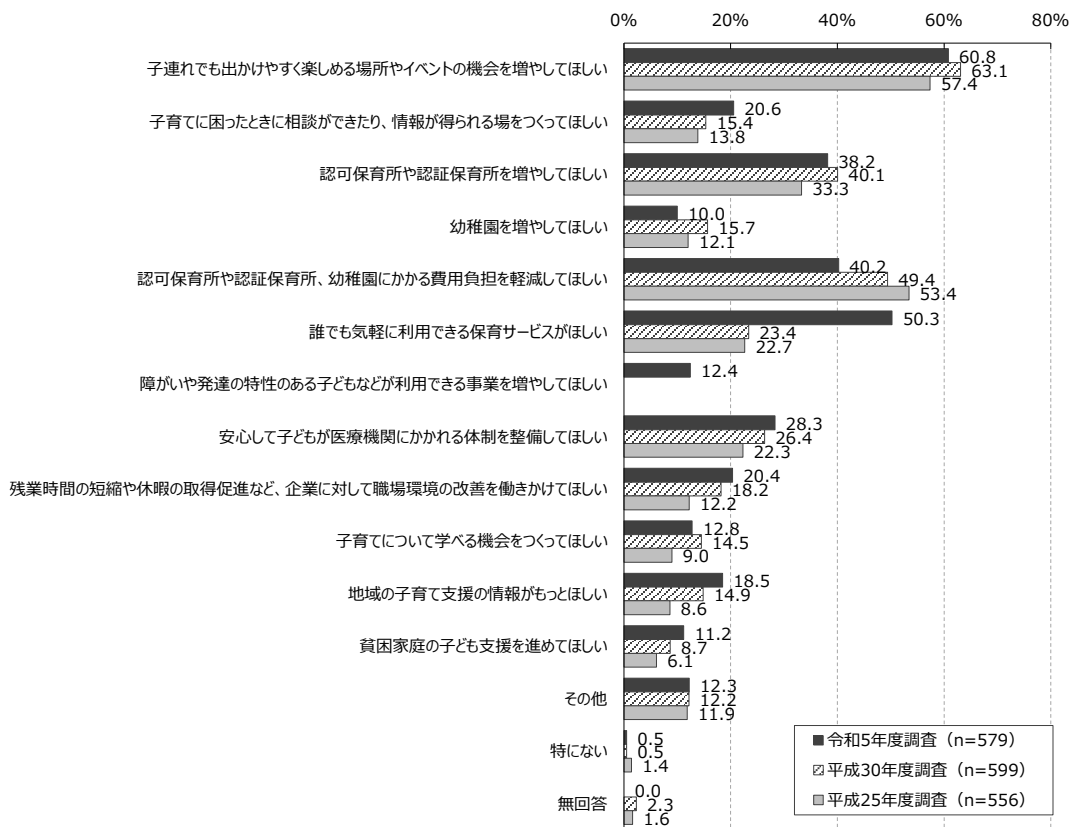


(3) 市に期待する子育て支援の充実

就学前児童では、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所やイベントの機会を増やしてほしい」が60.8%と最も多く、次いで「誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」が50.3%、「認可保育所や認証保育所、幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」が40.2%、「認可保育所や認証保育所を増やしてほしい」が38.2%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が28.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」が26.9ポイントと大きく増加しているほか、「子育てに困ったときに相談ができたり、情報が得られる場をつくってほしい」、「地域の子育て支援の情報がもっとほしい」などが増加しています。

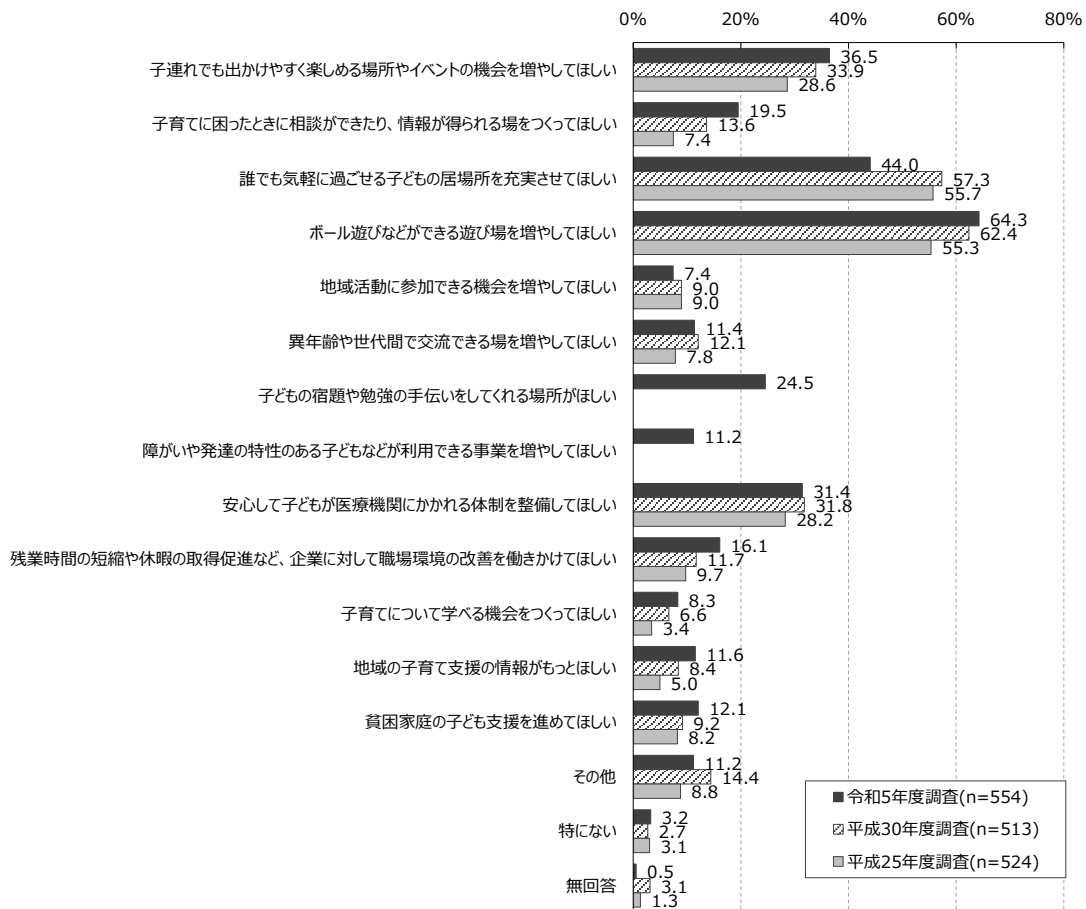
就学前児童 問27 あなたは、狛江市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか。(複数回答)



小学生では、「ボール遊びなどができる遊び場を増やしてほしい」が64.3%と最も多く、次いで「誰でも気軽に過ごせる子どもの居場所を充実させてほしい」が44.0%、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所やイベントの機会を増やしてほしい」が36.5%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が31.4%、「子どもの宿題や勉強の手伝いをしてくれる場所がほしい」が24.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「誰でも気軽に過ごせる子どもの居場所を充実させてほしい」が大きく減少しているほかは、大きな増減はみられませんが、総じて増加しています。

小学生 問26 あなたは、狛江市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか。(複数回答)



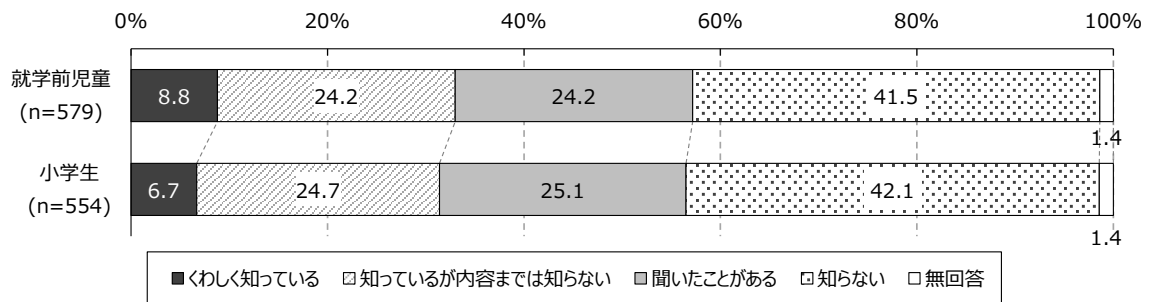
(4) 「子どもの権利条約」の認知度

就学前児童では、「知らない」が41.5%と最も多く、次いで「知っているが内容までは知らない」が24.2%、「聞いたことがある」が24.2%、「くわしく知っている」が8.8%となっています。

小学生では、「知らない」が42.1%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が25.1%、「知っているが内容までは知らない」が24.7%、「くわしく知っている」が6.7%となっています。

就学前児童 問28 あなたは「子どもの権利条約」について知っていますか。

小学生 問27 あなたは「子どもの権利条約」について知っていますか。



狛江市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査

自由記入設問 記述（全文）

自由意見は記入された方の意図がそのまま伝わるよう、可能な限り原文を尊重して掲載していますが、明らかな誤字・脱字と思われる字句は修正しています。

また、本アンケートの趣旨と異なるものや、個人(団体)が特定できる記述、誹謗・中傷等は削除しています。

▼就学前児童保護者アンケート

問 29 子育ての不安や困りごと、狛江市の子育て支援に関するご要望などをご自由にお書きください。

幼稚園・学校などについて

- いつもありがとうございます。狛江市は国立小学校がどの学校も、通学範囲から外れています。同じ駅を使うであろう、世田谷区や調布市は通学範囲に入っている国立小学校も、ありますが、何故か狛江市は抜けています。この点は子育て家族からは人気欠ける一因だと思います。行政から国立小学校に変更の申し出をすることはできないでしょうか？
- 教育熱心なご家庭が引っ越してしまったり、狛江市が魅力に欠けるのは残念です。この点からも、狛江市立小学校の教育をより魅力的に独自性のある教育方針にして欲しいです。教育熱心なご家庭を、狛江市にとどめて欲しいです。小学校と中学校の連携を強めて、9年体制での教育を行うなども面白いのではないかと思います。東京都の方針もあると思いますが、こぢんまりとした市ならではの、独自性の教育方針を立て、狛江市の魅力を高めてほしいと思います。
- もっと預かり保育が充実している幼稚園をつくって欲しいです。現在は上の子も含めて保育園に通わせておりますが、保育園と幼稚園の教育の違いをととても感じています。フルタイムで働いていて時間がない中、ひらがなも、習い事も、子どもの教育を自分たちでしなければならぬことがとても大変です。親が何もしなければ、ひらがなも書けないまま小学生になります。現在検討している幼稚園(狛江市外)は、預かり保育が充実しており、預かり保育の時間に希望すれば習い事もさせてくれる等、働く親としてはとても有り難い幼稚園です。遠いですが、狛江市にはそのような幼稚園が無いので選択肢がありません。周りのママの中にも、時間的なことが解決すれば、保育園じゃなく幼稚園に行かせたいと思っている方は多いです。狛江市はどんどん新築で家が出来て子供が増えていると思いますので、ぜひご検討のほどよろしくお願い致します。
- 教育面で、保育園より幼稚園に入れたいと考えていましたが、幼稚園は預かりがあるものの、長期休みには全期間対応しておらず、また土曜も預けられないので、フルタイムワーカーにとって預けるのは不可能でした。今の時代、父母共にフルタイムが増え、保育園希望者が大半、もしくは私のように、仕事の的に幼稚園は選択肢から外れていると思います。国の管轄上、難しいかもしれませんが、幼保一緒にして、教育面・保育面両方をサポートして頂きたいです。幼稚園の先生も保育園の先生も全ての子供を見られるようになれば、先生不足も多少は解決すると思いますし、保育園に入れないうちも減ると思います。狛江市にはこども園が1つしかないなので、まずはこども園を増やすべきだと思います。
- 小学校に不安があります。でも学校の先生は激務で忙しいと伺っており、就学後も連絡を取るのとはめらってしまうと思います。小学校の先生を増やし、子どもの様子を日頃から共有したり相談したりなど気軽にアクセスできるようになると安心です。
- 小学校の給食費の負担をなくしてほしいです。
- 学区の見直しをして下さい（明らかに緑野小が近いのに学区が和泉小）。和泉小への

通学路（こだま幼稚園の前の道）が危険すぎる。

保育園・保育支援、学童について

- 1歳と3歳の子供を自宅保育で育てています。2人を毎日みていると自分の時間が全く取れず、息が詰まるのでたまに上の子だけを一時保育に預けています。毎月1日、16日の朝9時に電話を掛けて予約を取るシステムですが、最近は260回以上掛けても電話が繋がらず、やっと9:30頃に繋がったかと思うと「もう定員(毎日3人枠)がいっぱいになってしまいました」と断られ、2月は1日も利用できませんでした。キャンセル待ちを入れてもらっていても、もちろん連絡はありません。子供は当たり前可愛いですが、常に一緒にいると病院や美容院、カフェにすら行く時間がなく息が詰まり、子供を預けたい親がこんなにも沢山いるんだなと実感します。狛江市内で一時保育が利用できる保育園が増えて欲しいです。もしくは、受け入れ定員や保育士さんを増やして欲しいです。我が家の場合は4月から上の子が幼稚園に通うので、やっと自宅保育の大変さが軽減されほっとしていますが、一時保育が利用できず困っている親は他にも多くいると思います。どうか改善されますように。
- 1歳児クラスへの年途中での入園が難しい状況なので、途中でも入園しやすい環境をつくってほしい。
- 2019年度の年度途中で狛江市に転居したところ市内の保育園に入れず、登戸の保育園(1歳児クラス)に行かざるを得なかった時は大変でした。その年度の数にもよるかもしれませんが、1歳児クラスはもう少し枠が多かったら(小規模保育園がもう少し多くあるなど)助かったなと思いました。今は小4の壁が不安で、高学年でも希望すれば公設の学童保育に行けるほどの人数枠の余裕を求めたいです。また、公設の学童保育は、電子化がかなり遅れていると感じますので、早急にアップデートを進めたほうが良いと思っています。
- 4月から保育園に預けるが、風邪などで預けられない時に困る。
- R6.4月に狛江市の保育園への転園を希望していましたが、転園保留との通知が来ました(現在は旧住所所在地の世田谷区の園に通園しています)。保育園は毎日通うところなので、できるだけ自宅に近いところにあるとありがたいです。また、希望する全ての家庭が希望する保育園に通えるようになることを望みます。
- とにかく希望の年齢で(2歳・3歳)保育園に入れるようにして欲しい。保育園に入れられないから、0歳から職場復帰をしなければならないのは困る。しかし、保育園が決まらなければ育休取得の期限を迎えたら、仕事をやめなければならなくなる。子供と過ごす時間も仕事も両方大切なので、どちらも諦めずに暮らしていきたいです。
- フルタイムでないと保育園に入れない状況を改善するか、公立の幼稚園を市中心部につくり4年制を実施してほしい。大きな公園がほしい。
- 保育園、学童の待機児童をなくしてほしい。7月に復職予定だが、預け先がないため、民間の保育施設を利用する見込み。費用が高い。
- 保育園に入るのにとっても苦労しました(もう4年も前ですが)。当時は入園先が見つからずとても不安になりましたし、精神的にもかなり負担になった記憶が。狛江市は小さい市の割に子どもが多い(増加している印象があります)ので、ぜひその件については対応いただきたいです。

- リフレッシュについて積極的に預かってほしい。
 - 育休時に一時保育がもっと充実していて、利用しやすければいいのにと思いました。保育園だけでなく、たんぼぼや児童センターなどでも一時預かりがあればいいのになと思ってました。
 - 一時保育がほとんど予約が取れないので困っている。市外の高額な一時保育を利用せざるを得ない。
 - 一時保育の場が足りず予約困難です。希望の認可保育園に入れるようにしてほしいです。子どもの図書館を充実して欲しいです。
 - 一時保育を適宜利用して、フリーで仕事をしたり、上の子の行事参加、自分時間を作るなどなんとかやりくりをしています。いろいろな課題が山積みだと思いますが、一時保育先への登録の簡素化→各園に行ってその都度医療機関にかかり、健康診断をして、保育園との面談日程を決めるのが一括でできたら良いなど。
- 一時保育申し込みの仕方→電話で争奪戦。この方法がベストなのか、他の行政もこういうやり方なのでしょうか。他の方法も探って頂けると嬉しいです。申し込む方も必死、申込みを受ける保育園の先生もそれに時間を取られるのは、なんだか申し訳ない気持ちです。
- 公立保育園での一時保育の利用料金の支払い方法の見直し→これすぐにでもなんとかできませんか。一度メールでも意見をお送りしていますが、狛江市立でやっている保育園の一時保育利用料金支払いが、銀行に出向き窓口での支払い。子がいる中で、申込用紙書いて、順番待って、呼ばれて、待って、また呼ばれて終わり。大人一人なら簡単なことも、子がいると途端に難易度が上がることがあります。その場でサクッと支払える方法、せめて時間に縛られないATMやコンビニ支払いが可能など、支払いの選択肢を増やしていただける事を期待しています。本当にこれはお願いします。
- 一時保育を利用する事がありますが、ほぼ予約がとれない事が多く困っています。予約日の定刻に電話をしますが繋がらず、他にも登録していますが、園の行事等で月1~2回しか予約とれません。兄弟がいる為、園の行事等どうしても必要な時に預ける場所がない事に、先々不安があります。必要な時に誰でも預けられる場所があると助かります。よろしくお願い致します。
 - 一時保育を利用できる施設が増えてほしい。非課税世帯だけでなく、より多くの世帯が対象になる経済的支援があると嬉しい（非課税でなくても、子育てには多くのお金がかかります）。市内の子ども向けイベントへ行くと、どこもかなり混雑しています。皆、イベントを求めているのだと思います。もう少しあちこちで小規模イベントがあれば分散されるかも。
 - 雨の日の送迎が本当に辛いです。月曜日か金曜日に雨が降ると、子供を前後に2人乗せて、更に大量の荷物を載せてカッパを着て自転車に乗ります。車道は荷物が多すぎて危ないので歩道を走りますが、歩道も狭く危ないです。駐車場も無いので車での登園も出来ません。幼稚園でやっているような送迎バスを保育園でも実現できませんか。または、コマバスの停留所を保育園ごとに設置して（近いところはまとめて）、登園、降園の時間帯に本数を増やして運行できませんか。
 - 雨の日の登園が辛い。市立の保育園の荷物が多い。
 - 学童に3年まで預かってもらえる確証がないのがつらい、不安。仕事を諦めるか、育

児を諦めるか悩む。夫婦共に定時は早いですが、長時間労働必須なため、学童入所の調整にも疑問がある。学校以外の外で遊べない学童も仕方がないが、長期休業中の1日缶詰めはかわいそうでならない。

- 学童に入れるのか心配です。情報を広く開示していただきたいです。
- 学童保育の預かり制限を緩和して頂きたいです。学童保育は、親が病気のときや、兄弟（保育園や中学に在学中の兄弟です。）の保護者会の時、預けることを拒まれます。そのあたり、考慮してほしいです。保育園は上記の際、考慮して頂け、とても助かっているし何でも相談しやすいです。また、学童保育を嫌がる子供が増えているようです。外部サービスなども入れ、イベントも増やしてほしいです。費用がかかるようなイベントでもいいです。市内に多くの学童があるので、参加について各家庭で差は出ると思いますが、外部サービスで色んな経験をさせてあげてほしいです。
- 近いという理由だけで狛江保育園に通っていますが、ほかの園より厳しいです。仕事があるのに預けられなかったことがある。保育園の役員があったので、負担が多かった（廃止にしました）。
- 現在、小学生、保育園児の子供がいるのと、妊娠10ヶ月のため子育て支援をフル活用させていただいてます。学童が何年生まで入れるのか不安なのと、妊娠中、産後のサービスがもっと手軽に受けられると助かります。ファミリーサポートなど、あることは知っていたのですが、つわりがひどい時期に使おうと思ったら申請から使用まで1ヶ月かかることを知り、必要となった時に使えなく困りました。小学校に入ると平日に親が行く行事が多く、働きながらはなかなか厳しいです。また、学校が遠いのでせめてKoKoAや学童利用時は自転車通学をみとめてほしいです。一時保育を全ての保育園で実施してほしいです。育休時には、上の子の保育園の登園が9時半までなのに、たんぼぼや学童の遊び場が10時からで、一度帰らなくては行けなそうなので、もっと早い時間にたんぼぼと遊び場を解放してほしいです。
- 現在住んでいる場所の近くに保育園がない。また、希望の園に入れたい。子供を連れて遊びに行く場所があまりない。学童の充実(入れなかった場合の代替策含む)、医療費助成の充実(18歳まで実質無償など)、給食費無償化などを希望する。
- 高学年でも利用出来るように学童保育を増やしてほしい。
- 狛江市は子どもが多く、学童に入りづらい。両親がフルタイムでやっと入れると聞くので、せめて3年生までは希望者全員入れるようにしてほしいです。
- ファミサポも保育園の一時預かりも、利用には事前面談が必要なため、急用の際に利用しづらいのは非常に不便に感じています。そのため、結局一度も利用したことがありません。
- 狛江市内に民間等の充実した設備やサービス(習い事、遊び、夕食)のある学童保育がほしい。
- 今、子供は幼稚園に通っているのですが預かり保育を利用できますが、0~2才の時はパートの仕事の時は保育園の一時預かりを利用していました。1ヶ月に2回、朝9時に電話が繋がるまで保育園にかけ続けるシステムがとても大変で、利用しにくいと感じていました。今の時代、LINEやwebで予約を取れる様にしてほしいと思います。保育ママさんの一時預かりは、いちいちたんぼぼまで申請書を書きに行かなければならなかった所も大変だったので、webで提出できる様にしてあげてほしいと思います。

- 子育ての大きな不安の一つは、学童に入れるか分からないことです。市の不備のせいで職を失うリスクを負わされる意味が分かりません。学童や保育園は当たり前に入入できるよう整えてほしいです。
- 狛江ちとせ保育園に通っています。保育園に通うようになってから、育児の悩み事が相談できるようになって、不安を抱えることがなくなりました。継続的に子供をみてくれて、育児の相談にもものってくれるプロ集団の力は素晴らしいと感じます。保育園には本当に感謝しています。
- 子供が3歳になると時短勤務制度が利用できないので、小学校入学後に申込みを検討している学童保育所・放課後クラブについて、延長保育で19時まで開所していただくと大変ありがたいです。人手など難しい点もあると思いますが、要望が多ければ検討いただけるととても助かります。
- 保育園の先生も大変だと思いますが、お仕事が終わったらすぐに迎えにきてくださいとか、土曜保育もリフレッシュ目的はお断りされたりすると、仕事と家事と育児で日々疲れて、世の中のワーキングマザー（パパも頑張っている家庭もあると思いますが）は寿命が絶対に縮まっていると思います。自分の事が常に後回しで、病気を見落としてしまったりします。現在仕事時間を聞き取りされて、園長に保育時間を決められますが、保護者側のゆとりを持たせた希望時間にして欲しいと感じます。会社から戻って、そのまま保育園に行かなきゃいけないのと、スーパーに行って炊飯器のスイッチ押して洗濯物を取り込んでから、保育園に迎えに行けるのとは全然夜の家事の量が変わってくると思います。「仕事が終わったらすぐに迎えにきてください。」この言葉ですごくストレスを感じます。保育園に預けていて申し訳ないという気持ちになります。保育士さんも大変なのであれば人数を増やせば良いと思います。
- 市立保育園の父母会やPTAはいつも決まったメンバーがやって、やらない人はいつもやりません。真面目な人が損をしていると思います。やりたい人だけがやって誰もやりたい人がいない年は廃止でもいいと思います。3小のPTAはそういう形になったと聞きました。仕事が忙しくて保育園に預けているのに父母会を強制してやっている意味がわかりません。本当にやりたい方のみで行えば良いと思います。
- 市の保育園を利用していますが、保育時間の最終が19:15までと短い。20:00くらいまで延ばしてほしいです。
- 市外の保育園に現在電車に通っているが、狛江市の希望園にいつ決まるかが不安。
- 市立保育園の延長時間が短い。長くして欲しい。2人目が欲しいが狛江は待機児童になるイメージ。待機児童の時に市役所の方に相談しに行ったが、今後子供が減る見通しだから保育園は増やす予定がないとはっきりと言われた。保育園に入れないかもしれないという思いがあるのでなかなか踏み出せない。子供が減る予想なのであれば、保育園を増やしたり子育て支援の充実をアピールして流入に繋がるようにすれば、人口増加するのではないのでしょうか？明石市から学んで欲しいです。
- 私の仕事の都合上、4月に復帰をしたかったのですが保育園（1歳児）に全て落ちてしまいました。年収で落ちたようですが、勤務時間など他項目も見て判断していただければありがたかったです。私の年齢的にも早く戻らないとキャリアもなくなりそうで、保育園が決まらないこの現状は不安しかありません。

- 出産中に離職したため、保育園に申し込みしても入れない。＝仕事探しができない。＝2人目もまだ考えられない、という負のループになっています。離職しなければ…0才で預けていたら入れたかも…と思うこともあります。現在2才です。もっと保育園を増やして待機児童を減らして下さい。
- 小一の壁を無くすために幼稚園や保育園と小学校が連携し、切れ目のない教育をして頂きたいです。また、保育園に通っていた保護者からすると、学校の始業時間が朝遅く、夜?早いため、就業形態等を変更せざるを得ない状況にあるにもかかわらず、そのために学童に入るのに減点されるようになります。他市では申込期間に申請すれば、小学校3年生まで同じ学童を利用できます。また、希望者に昼食・夜食の提供があります（もちろん有料です）。希望する人が希望する形でサービスを受けられるようにして頂きたいです。もちろんその分の負担は、税金でなく利用者から徴収すべきだとも考えてます。アンケート送付して下さいありがとうございます。
- 小学生になった時に、学童に入れるか心配している。また、小学校の登校可能時間を早めて欲しい。親の方が朝家を早く出なくてはならない場合、登校時間になるまで小学校1年生の子供が1人で家にいる、もしくは登校時間になるまで学校の門の前で待ってもらおうことになってしまう。
- 第2子出産のため里帰りするが、第1子の保育園が2ヵ月しか休園できないという制度に困っている。九州なので飛行機で移動せねばならず、気軽に行き来はできない。産後、東京に戻って来るとすぐにワンオペ育児が始まるので、まだ身体も万全ではない時期にそれは避けたい。休園期間を延ばすか、退園してもまた入園しやすい環境（保育園を増やす。）が欲しい。
- 第二子育休中に資格取得するため、一時保育を利用しているが、予約がなかなか取れず苦労している。予約も電話で不便。産後ケア施設も充実してほしい。一歳半検診は午前にも枠がほしい(午後は子どものお昼寝時間)。
- 妊娠中に仕事を辞めたため、求職中で点数低く、保育園に落ち続けている。育休中ではないため当然お金は入らず、経済的に不安。いつから保育園に入れるか分からないため、仕事の面接でもいつから働けるか伝えられず、結果入園のための点数が上がらない。働きたい人がなるべく保育事業を利用できるように、環境を整えていただけると嬉しい。また、東京都主体のベビーシッター事業の令和6年度の情報が見つけられない。もしあれば利用し、就職に動きたい。
- 認可、私立保育園における指導や園の方針と実態について定期的な巡回、指導をお願いしたいです。他、学童保育所なども閉ざされた空間における、指導力の低下による子や親への不適切な対応が多く、野放しになっています。ぜひ、現場に足を運び、ご覧頂きたい。
- 認可保育園の質を上げる努力をしてほしい。わずかな収入の差で人気の保育園に入れず、希望の低い保育園にしか入れないことに差別を感じる。抽選にしてほしい。子育ての不安や困りごとを相談したいが、保育園に相談してもあまり意味がないと思ってしまい、孤独を感じる。転居で転園前の園ではしっかりした体制で、知識が豊富な先生が多く何でも話すことができただけに、残念だと日々思っている。共働き家庭は、

基本的に全ての子育ての窓口が園なので、そこにハズレがあるときついです。

- 認可保育園の枠をふやしてほしい。
- 認可保育園を増やしてください
- 認定こども園をつくってほしい。
- 不定期で子供を預けられる場所が、もっとほしいです。世田谷区のおでかけひろばでの一時預かりは、親と遊びに行き慣れた後に預けることができ、羨ましかったです。現在は平日保育園に預けているので、土日に短時間でも預けられる場所があればとても助かります。
- 夫婦共に正社員フルタイム勤務で、産休育休中に保活をして認可保育園 10 カ所申請しましたが、全て落ちました。たまたま、狛江市にある東京都認証保育園の空きがあり、入園できて会社に復帰できました。認可もですが、認証保育園も増やして欲しいと思いました。認証保育園は、とても良いところでいつも大変お世話になっています。認可保育園の申請は、紙ベースで郵送で行いましたが、手間が掛かるので電子で行えるようにしてほしいです。自治体からもテレワークを推奨してほしいです。悪天候な日でも、会社から出社するように指示があります。子供を保育園に預けるのも大変で、有給休暇があまりないので悩ましいです。
- 保育園、一時保育、幼稚園など増やして欲しいです。
- 保育園に入れたくても入れない状況なので、定期利用できるなど検討してほしいです。
- 保育園の一時預かりを利用することがあるが、希望の日に予約が取れずに困っている。通院のために利用したいのに、リフレッシュ目的の人と同じ扱いのため週に 1 日しか利用できず不便に感じている。また、電話予約のため予約時間になったら、繋がるまで何度も電話しなければいけないので、もっと良い予約方法にほしい。
- 保育園の待機児童になりました（1 才児クラス）。狛江市は認可外も少なく、未だに入園の見通しが立っていません。保育園の数を増やしてほしいです（他市、他区の友人は皆決まっておき、狛江市に引っ越してきたことを少し悔やんでいます）。待機児童には金銭的なサポートをするなどの補助があっても良いのではと思います。復職できないと生活が厳しいです。
- 保育園は、朝 7:00～利用できたので、出勤が早い我が家にとってとてもありがたかったが、学童クラブは 8:00 過ぎ～の利用となるため、朝の預け先がなかなか見つからず、不便を感じている。学童でも給食（弁当サービスでもよい。）サービスが利用できると夏、冬、春の休業中の利用時にありがたい。
- 保育園もそうだが、学童保育の待機児童解消に努めていただきたい（世田谷区の学童のように希望すれば誰でも入れる形態にできないか）。
- 保育園入園に課題がある。ちょうど小規模保育園からの転園先が決まったタイミングですが、決めて頂いてありがたい一方で希望の高いところへの入園は叶わず、家から距離のあるところに決まった。家から徒歩圏内で入れたかった。
- 保育士さんの給与アップした方がよいと思います。
- 保育所の利用に際し、未だに短時間と長時間を分けているのは古い。皆同じように使うべきだし、使ってもらえる保育園になるべきだと思う。育休中だから短時間にする意味がわからない。だとしたら、保育の質が疑われても仕方がない。もっと自由に保

育園を使えることや使ってもらえる保育園を作る事が必要なのではないか。保育は子どもに必要だともっと打ち出すべきだし、もっと通ってもらう方へシフトした方が良い。

- 保活で希望するところに入れなかった。努力して所得上げて、住民税納めているにもかかわらず低所得順で優先度が変わるのが納得できない。狛江市在住歴も加えて欲しかった。
- 夜8時以降に預けられる場所がない。狛江も撮影など受け入れているので、夜働く父母がいる事もわかると思います。夜預けられたら助かります。幼稚園の預かり保育を利用しているが、利用料金が高いなと感じます。補助が出ているので、普通の日はまだ良いですが、夏期休暇中等は料金が高いので、もう少し補助が出ると嬉しいです。現在パート勤務しています。小学校に入った時、学童に入れるのか不安に思っています。
- 理想は保育園やこども園、幼稚園などを選んで入れる事（受けさせたい教育を受けられる）だと思います。それは難しいと思うので、精神的に追い込まれた時だけでも一時保育が利用出来ると良いと思います（育休中、毎週電話しまくっても繋がらず、予約取れず。診断書代を無駄にしたと思ってます。）。本当は3人欲しいが、教育費、人目（大人の人数より多い子供は周りの迷惑と思われそうで二の足踏んでます）。
- 父母ともにフルタイムで勤務していて、保育園に全て落選した。駅に遠い保育園に空きがある状態。市としては総数として定員は十分にあるという判断だと思うが、ニーズを満たしているとは思えない。小さい市ならではのサービスを展開してほしい。
- 就学時の朝の出勤時刻から登校時刻までの間に子供を預かってもらえるサービスが欲しい（今のところは有料無料問わず。）。
- 保育園の一時預かりは、予約の電話が争奪戦で一瞬で埋まってしまう。一時預かりやシッター利用など、間口を広げて使いやすいサービス拡充を願います。
- 保育園に入れなかったのが、時々一時保育を利用したいと思い予約を試みるのですが空いていない。枠を増やして欲しい。また、前日や当日でも枠があれば預けることができるフレキシブルな施設もほしい。
- 一時保育の受け入れ先が少なく感じます。第二子の育休中ですが、一時保育が人気で活用までのハードルが高いです。もっと色々な保育園や施設で受け入れて、受け入れ可能人数も増やしてほしいです。また、第二子育休中に第一子の保育時間が短くなってしまうと、夫との分担が出来なくなり生活スタイルが崩れてしまいます。育休中でも上の子はそれまでと変わらず保育利用可能にしてほしいです。何よりもサービス支援が欲しいです。就業の有無に関わらず、気軽に子供を預けられるようになれば、子育てのハードルは下がります。現時点でイベントも多く楽しんでおりますが、保育サービス面を充実させて、より子育てしやすい狛江市になるよう、期待しています。
- 送迎時の声がうるさいとのことで、迎えに行ったら急いで静かに帰るようにしていたが、親同士で少しのコミュニケーションを取ることもできなかったし、子供にも静かに帰ることを強要しているのびのびと接するような環境ではなかった。このような環境がいやで、下の子は別の保育園にかよわせたが、のびのびと保育園生活を送れている。保育園を作るときの立地はもっとよく考えるべきだと思う。駒井町にある保育園の通園路は歩道と車道がわかれていないため、危険な箇所が多いにもかかわらず、親

が自転車にのり子供が走って帰るといふ光景をよく見かける。交通量も少なくないし、何かあったとき本当に危ないので止めるように保育園に通達して欲しいです。

- 共働きでも保育園や放課後クラブの申請を落とされ、市は他人の子供なんてどうでもいいように思える。生活の為に仕事をするのに預け先がなく勤務時間が限られてしまう為、市に制限をかけられている気がする。市役所に相談しても馬鹿にされるだけで何の解決にもならなくて困っている。仕事と子育ての両立はどうあがいてもさせて貰えない。

支援事業・サービスについて

- 狛江市には施設が少ないです。これは、土地も限りがあるため仕方がないと思います。この点、子育てママさんは十分に把握し、フットワーク軽く、調布や世田谷区も利用させていただいています。
- ゆりかご狛江の面談や産後の保健師面談も、不安や悩みを相談しても有意義な回答を得られたことがなく、産前産後に保健師さんと面談する必要性を感じられません。せっかく対面で面談するのであれば、子育てに関して専門性の高い知識をお持ちの方とお話しさせていただきたいです。
- 狛江市は集団健診のときのスタッフがみんな、子供に対して優しくてほっとします。バルーンは子供が喜んでいました。
- 子供が親の所得と関係なく生きる権利を得られるよう、所得制限がなく、できるだけ子供本人が享受できる形での支援拡充に期待します。
- これは未就学児はまだ早いですが、狛江市は子ども食堂を常設で作るべきだと思います。母子父子家庭のための弁当支給のようなものはたまにチラシを見かけるのですが、店舗として常設で子ども食堂を作れば、共働き家庭の子供で子供がそこで夕飯を食べてくれば、親は子供のために栄養のある夕飯を作らなければならないという強迫観念が1つ消えストレスが軽減すると思います。週5のうち1回でも子ども食堂で食べてくれる日があったりすると、すごく助かる家庭は多いのではないかと思います。あと、学童の長期休みのお弁当は、宅配弁当を注文できたり給食室で作ったりしてもらえると、これもすごく助かります・・・。子ども食堂の事業が学童のお弁当を作ったりするサービスも提供できれば最高だと思います。
- 2人目の不妊治療をしている為、仕事を退職する事にしました。治療内容によって診療時間が決まっている為、KoKoAに行ってもお迎えに間に合うか不安な事と土日の預け先がない事が不安です。以前、ファミリーサポートに祝日に仕事でみてもらいたいと頼んでも、長時間の預かりは断られてしまったので、もう少し長時間と土日の預かり先も増やして欲しいです。
- たんぽぽ心の相談の窓口、実際話を聞いてくれる方を変えてほしい。もっと母親のどんな方のためにも、優しい言葉、寄り添える方に変えて欲しい。図書館をもっと利用しやすい広々としたスペースへ変更。現在も、今後変更後もゆとりを感じるスペースになると思えない。母親が育児にストレスを感じた時、誰か話を聞いてくれてリラックスする場所がない。

- 子連れで飲食できる店がほしい。幼児と赤ちゃんがいっしょに遊べる場所がほしい。支援センターや児童館を日・祝も開けてほしい。→日・祝に母1人で子2人を安心して遊ばせられる場所がないので困っている。
- たんぽぽをかなり利用させてもらった。駅からも近く、大変ありがたかった。また、児童館のプログラムもバラエティ豊かでたくさん参加させてもらった。たんぽぽは、食事の時間が限定されていて、おやつ時間などがあるとありがたい。
- たんぽぽをよく利用させていただいています。安心して子どもを遊ばせられる場所として重宝しております。雨天時など天気が悪いときにも広い場所で遊ばせられるのがありがたいです。また、たんぽぽの職員の皆様にはよくお世話になっており、感謝しています。屋内でこどもを遊ばせられる広いスペースがあるとありがたいです。
- ひとり親支援とか生活保護支援とかありますが、普通に暮らしている家庭も支援があったら助かります。所得による差をつけずに一律で支援いただきたいです。
- フリーランスで個人事業主の妊婦に対して、もっと寄り添った経済支援を考えてもらえると、本当に助かります。
- ベビーシッターは、知らない人を自宅へ入れること、子どもをみてもらうことは抵抗ある。保育希望だったが入園できず、現在幼稚園に通っているが、フル勤務は難しい。しかし、早朝や夕方の預かりがあるので、何かの時には利用できるのも助かる。幼稚園の入園料、制服や物などを購入しなければいけないので、何かと費用がかかる。そういうのにも補助金があれば経済的に助かります。
- 平日、時間利用できるベビーシッターやサービスの拡充、また、利用するための助成金など仕事をしながら育児するためのサポートを受けやすい環境を望みます。
- 産後ケアの充実性が求められていると思います。妊娠、出産を経て、保育園に預けられるまでの間が母親にとっては可愛い我が子と自分の自由のなさの狭間で葛藤しています。そのような思いを抱くことすら、後ろめたく、鬱のようになってきます。パートナーへの理解はもちろんですが、国全体で産後ケアに力を注ぎ、産みやすく産んだ後のバックアップが整っていけば、母親の生きづらさは軽減していくと願っています。
- 子育て、夫婦の仲について行き詰まった時に、岩戸児童センターの相談員の方に、話を聞いて貰えて、とても気持ちが軽くなった。家からとても近いので、普段から良く、利用させて貰っており、こういう施設がたくさんあってくれたら、とても嬉しいと感じる。遊具が充実しており、また、体育館も併設されていて、遊びの幅が広く、とても気に入っているが、4歳の子には少し物足りないもので、小学校に入る前位の子でも楽しめる施設があったら嬉しい。
- 子育ての不安や困りごとを相談する時、“保健師または健康推進課”の予約が埋まっていて、「すぐに」相談することができない。どんなことでも話して良い、市が運営している、心理士の方に話を聞いてもらえる点は安心感があり、今後も利用してみたいので、予約席数が増えると嬉しい。
- 子育て家庭に対する金銭的な補助の充実、病児保育をより利用しやすくなってほしい。
- 子供は2人以上もちたいけれど、共働きで、祖父母も遠方に住んでいる場合、時間も体力も経済的にもゆとりがなくなる。子供を産んでも、自分を保てるような支援やサービスが充実していればよいと思う。
- 世田谷区くらい充実してもらえるとありがたいです。双子親なので、双子は大きくな

ると自転車に2人乗せられなくなります。後ろに2人乗せられる双子自転車購入の助成金があるとありがたいです。産後ドゥーラについて要望を書きましたが、産後2年くらいは、1日1時間でもベビーシッターや産後ドゥーラが毎日希望者の家庭を回って来てもらえたら、助かると思いました。あと、既存のサービスをもっと簡単に利用できるようになったらありがたかったと思います。産後は助けを借りる余裕もなくなるので。

- 世田谷区で仕事をしていて、子ども支援の事業に携わっています。世田谷区では産前産後でヘルパーさんに家事支援をしてもらったり、養育支援として、子育て仕事をしていて手が足りない家庭などにヘルパーさんを派遣してくれるようなサポートが充実しているように思います。狛江市にもそのようなサポートがあればいいのになと思います。
- 双子などの多胎児への支援を拡充してほしい。双子をよく見かけるので、多胎児支援を充実させることで多胎家庭が増えるのでは。検診のためのタクシー利用料金などもいいが、乳幼児期に1人で2人を乗せられない。結局あまり使えなかった。ふたごじてんしゃのリース事業など。武蔵村山市を参考に。
- 2人同じ保育園に入園させるのに、苦労しました。双子だけに特典が欲しいというわけではないですが、入園時に加点するか、入園できる可能性が低いのなら、別の支援でもいいので、何かあると嬉しいです。というのも、入園できるまで、家で1人で2人の乳児をみるのは精神的にくるものがあります。地域で支援してもらえれば救われる気がしました。
- 窓口の方も、保健師の方も保育園の先生方も皆丁寧に、真摯に子育て世帯に向き合っていて下さっていると感じます。先日第2子を出産し、5年前から色々手厚くなっていることも実感しています。一方で、妊娠期の情報の届かなさ（配布チラシが多すぎて重要情報が埋もれる、助成クーポンを貰うために、あいとぴあに出向かないといけない等。）には未だ不便を感じましたし、親のための“保育”という保育園、幼稚園のコンセプト分けに基づいて、育休中、上の子供の保育時間が変わる等、時代に合っていない、理不尽に感じることもありました。小さな市だからこそ、先陣を切って制度を更新していただきたいです。一市民としてできることは貢献していきます。よろしくお願いします。
- 他の区と比べると、ベビーシッターや産後ドゥーラなどの補助が少ないので、改善して欲しい。
- 体外受精にて2人の子供を授かりました。他の区や市は独自の助成制度があるのに、狛江市は何もなくて悲しかったです。子ども家庭支援センターたんぽぽをよく利用しています。4歳の娘が行きたい、行きたい!!と言って、大好きな場所です。日曜、祝日にも月1回でいいので開けて欲しいです。
- 土日祝日に利用できる児童館も民間の施設でもいいので、狛江市にあって欲しい。発達に心配があるが、相談もするけど、それでもわからないことも。
- 日曜日や祝日も子ども家庭支援センターたんぽぽや児童館を利用したい。
- 悩みなどを子どもが大きくなってからも気軽に相談できる場所があるとうれしいです。いまは子どもが小さいので児童館、子ども家庭支援センターなどに行って相談できているが、大きくなると気軽に相談できなくなりそうなので。

- 離乳食の子供がみんな食べられる離乳食レストラン（離乳食初期から後期まで全ての月齢に対応）みたいなものがあつたらいいな、と乳幼児を抱えていた時は思っていました。すごくちょっぴりの量の離乳食を毎日作ることが大変すぎて。あとは、ちょっと（30分～2時間程度）託児ができて、お買い物や歯医者等に（自分だけが1人で）行けたら楽になるのになとか。あとは、緊急避難のホテルみたいなところがあればいいな…とも（家族がコロナにかかった、とか、いろいろな事情で家にいられない時に母子で泊まれる場所的な…）。夜間に相談できる窓口もあると助かります。行政のものは全て昼間のみだけど、真夜中に途方にくれることも乳幼児をかかえていると多々あつたので、発熱とかだけでなく、泣き止まないとか、言うことを聞かないとか、そんな些細なことを相談できるところがあると安心できます。
- 子どもが未就学の時期に、親の通院など用事のために一時的に短時間子どもを気軽に預けられる仕組みがあるとよかった。
- 産前産後ケアに力を入れてきていると感じるが、もう少し内容を充実させてほしい（対話をしていても上辺だけで寄り添ってもらえていないと感じるときがある）。

発達支援・障がい児支援について

- 狛江市の発達支援で、親子教室やそこから児童発達支援センターにつながり、大変な時期に色々相談することができました。一方で、親子教室は人数制限があり、また子供達の性格・特性を考えた構成になるので、うまく繋がれないこともありました。なかなか発達を診てくれるクリニックも少なく、その点でも困つたので、クリニックの紹介から教室、療育などスムーズに繋がれるような支援が欲しいと思っています。今は、子供が落ち着き、安定していますが、今後小学生になったときもゆるくつながり、必要な時は支援を受けられる、そういう環境であってほしいと切に願います。
- 障害がある子の場合、民間だと病児保育はプラス料金をとられることがあり、逆なんじゃないかと思う。確かに余計に手はかかるかもしれないが、気持ちの面で萎える。
- 障害のある子どもを育てています。来年度の就学準備に際し、就学に関する情報収集から放課後等デイサービス事業所への連絡など多岐にわたり、ものすごいエネルギーを要しました（未就学児は相談支援が受けられない？（セルフプラン推奨?）と聞いて、そのこと自体知りませんでした）。現在フルタイムで働いていますが、福祉課の方に「障害児を育てながらのフルタイムは厳しいです。」と言われました。未就学児に対する支援は厚くなっている印象がありますが、小学校就学以降の支援（放デイの少なさ、移動支援が利用できない、障害児の相談窓口があるのか不明など）が少ないように感じます。自治体の規模が小さいため、人員確保や予算などに限りがあるのは承知しています。SNS等を利用して積極的に情報発信して頂いたり、事業所を誘致していくなどしてもらえるとありがたいです。障害のある子どもや人を地域で育てたい、生活させたいと思っている方は多いのではないかと思います。
- 障害や発達の特性のある子どもと一緒に過ごすことのできる場があると良い。
- 障害者の支援が弱いと感じる。
- 息子は少人数だと個性を出すことが出来ますが、集団になると不安・緊張が強くなり行動が出来ないことが多いです。そのため様々な療育へ通いますが、集団が苦手とい

う根本の部分は、和らぎはするものの、変わらない彼自身の特性です。学びたい!という意欲が強い子なので、参加したいと願っても特性のため出来ないことも多いのです。4月から1クラス30人超の小学校へ就学します。通級へ通い、週1日2時間程度、支援教室への参加を予定していますが、息子には支援が足りていると思えません。きっと生きづらさを抱えながら、集団に適応しようと心を擦り減らすことでしょう。日本の教育が、狛江市の教育が、少人数教育が叶えられることを願っています。そもそも教育の一斉授業、枠組み教育など改善を図っていただけたら、特性を持つ、持たない子供達どちらも「学ぶ」ことの楽しさを自身で見つけていけると思います。

- 発達障害がある子どもが引っ越してきた時、色々な部署をたらい回しにされ、何ヶ月も無駄にしました。やっとかかれた相談でも不安を煽られるだけで何もサポートしてもらえず、不信感しか残っておりません。今は自費で保険外の高額診察を受けてケアして頂いている状態です。
- 子どもが発達に問題があったとき、いろいろ具体的な方法やサービスに繋げてくださり、とても感謝しています。子どもは境界知能で、支援学級が通っている学校にはなく、学校を変わるかどうか悩んだのですが、どこの学校にも知的な教室があるといいなと思いました。また、知的のクラスの1つ上に境界知能用のクラスがあるととても助かると思いました(子どもが境界知能の範囲で、知的なクラスよりはできる幅が広いのがいいかなと思ったもので)。

医療支援について

- インフルエンザの予防接種料金（子どもの分）補助してほしい。
- 狛江市内で分娩できる産院を増やして欲しいです。近場にないのもしもの時に不安ですし、出産へのハードルが上がってしまいます。無痛分娩への支援(金銭的、医師の増員など)を希望します。
- あいとぴあでの子供の予防接種を土日祝に設定にしてもらえるととても行きやすいです。仕事復帰してから全く予防接種を受けさせてあげられていない状態が続いています。
- インフルエンザの予防接種の助成金を再開してほしいです。去年は市内の小児科で1人3,000×2=6,000円と負担が大きく、保育園でも年始以降インフルエンザB型が流行し、クラスの半数が1週間程お休みしていました。4年前までは助成金もあったかと思うので、ご検討お願いします。
- インフルエンザ予防接種の助成が2022はあったが、2023はなかった。理由もなくやめたりせず、継続してほしい。
- インフルエンザ予防接種代の助成など、年配者だけではなく、これから成長していく子どもにも助成をしていただきたいです。子育ての母たちの間では、狛江市はお年寄りには優しいけどね…という意見がとても多いです。小さい市だから仕方がないのかもしれませんが、小さい市だからこそ、充実した子育てができる支援が整うと、とても良いと思います。
- 共働きのため、子どもが熱を出したときなどに病児保育を利用したいが、近所にある野沢医院の病児保育所は外観が利用しづらい雰囲気があり、また、同施設内に駐車し

ている青いクルマ（医院とは無関係かもしれない）の運転が非常に粗いのでイメージがあまり良くない。

- 共働き世帯支援のため、病児の預かり体制をより充実させて欲しいです。市の運営する預かり場所が少なく、個人でベビーシッターを依頼するには費用負担が大きすぎます。
- 狛江市の病児保育は少なく、不便です。遠い。1カ所しかないから予約取れる訳ないと、そもそも利用したいとも思わないです。ハードル高いです。子育てしているお母さんたちは、自分の時間がほしいです。仕事の時間のみ預かってくれる。それだけでも有難いのですが、趣味の時間、掃除に没頭できる時間、1人で過ごす時間があって、初めて育児が楽しい、と思えると思います。
- 今年もインフルエンザの助成金があると良い。今年もあるかと思って子供2人2回接種してしまった。なかったら受けさせなかった。
- 子供が感染症になった際に、どうしても預けられないのが働いていると厳しいので、感染症でも預かってもらえるようなシステムが欲しい。また、4年生以降の学童保育の枠も充実させてほしい。
- 市の子育て支援制度には、いつも大変お世話になっています。病児保育室には特に何度もお世話になっていますが、風邪の流行する冬場は、予約が取れず困っていました。インフルエンザなどだと受入不可なもの…。無理を承知での要望ですが、急に仕事を休めないことが多いので、どうにか病児を預かっていただける制度を、もっと充実させて欲しいと思っています。今後もたくさんお世話になるかと思っています。何卒よろしくお願ひ申し上げます。
- 小児科が少なすぎる。予防接種等、医療機関が指定した時間帯なので学校を休ませたり早退させる必要がある。全く子供のための施設になってない。特にコロナのワクチンは、狛江市内の小児科でしか受けられないので、予約もなかなか取れず、取れても学校を休ませる等、本当に役に立つ小児科がないと思った。
- 小児科が利用しにくいと感じます。どこもいつも混んでおり、発熱している子供を待たせるのも辛いので、もう少し病院が増えると安心です！
- 小児科の病院が少なく、熱を出してもすぐに診てもらえない。子供が苦しうにしているのを早く解消してあげたいし、次の日の受診になると仕事を休む日が増えてしまう。コールドクターを呼んだりして対応していたのですが、時間がかかるので狛江市で対応してもらえるようなコールドクターの医療体制をお願いしたいです。
- 小児科を増やして欲しい。認可保育園を増やして欲しい。
- 土日祝日、夜間に子どもが受診できる病院の整備。狛江は土曜日に受診できなかったり、休日夜間に受診できなくて非常に不便。調布まで行かなくてはならないなんてあり得ない。図書館の整備なんかではなくて、命を守ることに税金を使ってほしい。
- 東野川地域(特に区や市の境目)などの狛江市の中心から遠い地域は小児科が近くにない、バスなどの交通の便が悪い等不便に感じる人が多いので、より便利に暮らしやすくなってほしいです。
- 病児保育が一箇所しかないため、いつもいっばいで、困っている時に入れた事がない。もっと増やしてほしい。

- 病児保育をもっと増やしてほしい。
- 病児保育室のハードルが高い。子どもが感染する病気になったときに長期で休まなければいけないのがつらい。
- 病児保育室を駅前などの通勤しやすい場所に作ってほしい。
- 予防接種の間診票などは、毎回手書きのためシステム化させてほしい。子どもを預けたいのは、明日とか明後日とか今日の夜とか、突発的に発生することが多い。そういうニーズにこたえる一時預かりがあるとありがたい。
- 隣接する地域で行っている、おたふく風邪の予防接種や、妊娠を希望する方に対する風疹の抗体検査やワクチンに対して、費用の助成を検討してほしい。
- 粕江市内で産科が慈恵第三病院しかない?産院を増やしてほしい。

医療費助成について

- 粕江市の小学生以降の医療費の自己負担を無料にして欲しいです。1回200円でも安いのは重々承知の上で。
- 医療費¥200の負担なくして下さい（調布はありません。）。
- 医療費控除を年収で切るのではなく、平等にしてほしい。3人子育て世帯に対し、もう少し経済援助をしてほしい（年収制限なしで）。
- 子供の医療費の無償化対象を高校生までに拡大して欲しい。
- 粕江市も高校生まで医療費をゼロにしてほしい。

公園・遊び場などの施設整備

- パンダ公園に大きめの樹木を1本で良いので植樹してほしい。直射日光を遮る物が何もなく、熱中症が心配です。
- 雨の日、未就学児が遊べる施設が少ないため、作ってほしい。
- 粕江市は遊具が充実した公園が少ないと感じています。そのため子供が行きたがるのは世田谷区の公園ばかりです。近隣で幼い子供が楽しく遊べる場所があれば嬉しいです。
- 乳幼児向けの施設などは多いが小学生以降が元気に遊べる場所が少ないように感じ、子育てに不安を感じる。
- 東和泉に住んでいますが、2才が楽しめるような公園が少なく困ります。広場だけの公園が多すぎます。もっとアスレチック公園を増やして下さい。
- 図書館を幼児も使いやすいようにしてほしい。
- 喜多見ふれあい広場のような複合遊具のある公園を作って欲しいです。駒井町の公園、期待しています。
- ボールが使える公園（小中学生が遊べる。）を作して下さい。
- 岩戸北二丁目に住んでいますが、公園がまわりにないので、小さくてもいいのである

といいなと思います。なわとびの練習すらする場所がないなと思います。

- 市民グラウンドにライトを付けて、スポーツ時間を長くしてほしい。特に秋冬の日没が早いときは、学校後すぐに使えなくなるので。小さな公園は使われていないことが多いのでなくして、大きめの公園で遊具を充実させてほしい。23区と同じような支援、無償化・給食費無償化・せたペイのような狛江市版のペイ（還元されるようなもの）。主要な場所への防犯カメラの設置。
- 夏でも広々遊べる屋内施設が欲しい。スクールゾーンに違反車両が入ってくるので、取り締まるなり、ポールを置くなり、対応を考えてほしい。
- 外で自由に遊べる公園が少ない。あっても小さくボールも出来なかったり、クレームがくる。もっと子供が気軽にのびのび遊べる場所が欲しいです。
- 岩戸北に住んでいるが、周辺の公園を整備・新設してほしい。雑草だらけで遊ばせたくないところが多い。また、たんぼぼや児童センターはやや遠いので、もう少し近くに子育てひろばのようなところが欲しい。子連れで気軽に食事をとれる場所が欲しい。難しいかもしれないが。
- 公園でもボールを使ったらダメ、ストライダーダメなどルールが増えるばかりで、ルールを減らすことも考えてほしい。近隣住民などからのクレームの対処だと思うが、大人が過ごしやすい環境は子供には息苦しさを感じさせる（大人も親もルールを守らせようと必死になるので）。
- 公園の遊具が古くて小さい子を遊ばせにくい。インクルーシブ遊具のある公園を大小もっと増やしてほしいです（今ある公園の改修）。同じく、室内で子どもたちがゆったり遊べる、広々とした施設がほしいです。走り回れるような。調布市の運営する『すこやか』（国領駅）はとても広々として、体を動かすにもとても良いです。岩戸児童センターの体育館も広くて走り回って遊べますが、土足で遊ぶようになっているので、小さい子どもにとっては衛生面も気になります。調布市の『子育てカフェ aona』も、とても広々とした店内で、小さい子ども連れでも安心してゆっくりでき、子どもに対する配慮もとても細かく様々な工夫がされており、利用しやすいです。→こんな場所が狛江にもあると良いなー!!と思っています。
- 公園や室内遊び場を増やしてほしい。スーパーも増やしてほしい。
- 公園を増設・整備して欲しい。まず公園の数が少ない。今ある公園も遊具が少ないので子供が遊びに行ってもすぐ飽きてしまう。
- 広くて遊具が充実した公園があったら嬉しいです。
- 広くて遊具のある公園を作ってほしいです。小金井公園や府中の森公園など遠いですが、遊具目当てで出かけてます。近くにこのような公園があったら嬉しいです。
- 狛江は子供の遊び場があまりないです。発達障害をもつ子供がいるのでそういう子たちも気軽に遊びに行ける施設や公園がもっと出来てほしい。
- 子育て支援とは違うのかもしれませんが、公園で小学生がボール遊びをしている時にいつもぶつかりそうで危険だなと感じます。棲み分けが出来るよう球技が出来たりサッカーゴールのある遊び場があると良いなと日頃から感じています。
- 子供が楽しめる新しい図書館を作ってほしい。子供が楽しめる無料の遊びの場を作ってほしい。子供が楽しめる有料でいいので、習い事が色々出来る施設を作ってほしい。

- 市内に子どもと遊べる屋内施設や、商業施設がほしい。狛江市の近隣にはベビー用品店があるが、市内にはないので休日は市外に出て行かないといけない。また、子育て世代が多いにもかかわらず、子ども連れで入れる飲食店がとても少ないので、休日はどこも混雑している。現在育児休業中だが、保育園に入らず職場に復帰することができず、金銭的に余裕がない。そのため、精神的にもストレスを感じている。
- 祝日、日と市の施設（児童館など）がお休みのため、雨が降ると子どもを連れて遊べる場所がなく困っています。月一でも開いていると助かります。
- 中央図書館が2ヶ所に分かれるのはやめてほしい。子育てしにくくなります。
- 適度に広く遊具が充実した公園が少ない。
- 読書の習慣化のために、図書館の利用はとても重要だと思います。ベビーカーが使いやすい平坦な今の中央図書館は、子連れにとってとても利用しやすいものでした。新たな図書館の移設の計画は、本当にやめて欲しいと思います。
- 武蔵野市の高架下の公園、世田谷区の馬事公苑などの様な公園の充実を希望。
- 遊具のある公園が少ない、特に南口側は新築が増え子育て世帯が増えているのに対し公園がない印象です。
- 遊具のある公園が少ない。何も無い芝生広場より子供にとって魅力ある遊具がたくさん設置された公園やアスレチック、じゃぶじゃぶ池が欲しい。ボール遊びができる公園が少ない。公園に静かにしろというような張り紙がある公園があり、周辺住民の理解が得られていないところが多く子供をのびのびと遊ばせづらい。
- 公園のトイレにもオムツを替えられる（替えやすい）場所がほしい。

市への要望など

- 年々、ミルク、オムツ代が値上がりし、生活費に影響する為、オムツに関しては2歳まで等、支給や補助金があると助かります。
- 日本版 DBS を先行導入してほしい。性犯罪歴のある人を子供の教育（習い事含む。）に携われない仕組みにしてほしい。
- 双子育児のため特殊かもしれませんが、狛江市は道が狭く、双子ベビーカーを利用した際、進むのを断念する道が多くありました。もっと道を広くしたり、段差を少なくしてもらえると嬉しいです。
- 狛江市のどこに行っても共通の情報が得られるようにしてほしい。遠いとなかなか行けなくて情報が得られない。紙だと子育てしながらゆっくり読めることがあまりない。ライン等で情報がくれば、夜間授乳の際等に見れるので助かる。子育て以外の情報と混ぜないで、この回は子育てのみの情報がのっている！という特集があれば、見返したりできるので助かる（おまけ程度に子育て情報が載っていても、後からそれを探すのが大変で結局見ない）。
- ふれあい側道に犬のフンがよく落ちていて、保育園送迎時に不快なので、対策を取ってほしい。
- 世田谷区の子育てひろばや産後ケアセンターを利用できるように連携してほしい。

- ホームページが見にくい。どこに必要な情報が書いてあるのか分かりづらい。
- 23区と同じ様をお願いしたいです。医療費など・助成金など（幼稚園など）すべて。
- 3人以上いる方に対しての経済的に助ける何かを要望します。本当に生活が厳しい。意見要望を募り、見て終わらせるだけではなく、実際に動いて欲しい。対応して欲しい。変わって欲しい。
- 3人目の子どもがほしいと思っているが、基本的には自身(母)のワンオペ育児なので、子が3人では純粋に手が足りないと思う。また、法令上子ども3人では全員で自転車に乗ることができない。それでは登園は車や徒歩になり、車やチャイルドシート、ベビーカーなどを購入する必要も出てきて費用もかかるようになる。こういった人手や資金の不安を考えると、2人目までしか産めないと感じてしまう。今のところは同年代の子育て中の家庭が多い狛江で、どちらかといえば住みやすい、子育てしやすいと感じているが、狛江市が子育てに力を入れようとしているのか分からないと、不安を感じることがある。たとえば、昨年度は小児のインフルエンザ予防接種は補助金が出ていたが、今年は補助がなくなっており、そのことのアナウンスが十分にされていないと感じた。
- 3人目も欲しいが経済的に厳しく余裕がないため断念せざるを得ないので、もっと金銭的に充実した支援があると助かります。認可保育園を増やし希望の保育園へ入れるようにして欲しい、駅から近い等条件のいい保育園は人気なので入園が難しい。
- 4人目の子供が5才で、成長してほとんど手がかかることがなくなってきたので、現時点では特にサポートが欲しいという思いはないのですが、1人目の育児の時は、サポートがどこまで得られるのか全く情報を集めることができず、とても苦労しました。産科で受けられる妊娠中の情報は出産に関わることのみで、社会的支援、地域のサポートは自ら情報を意識して求めていかないと受けられず（そもそもあるのかも知らず）、不安だった事がありました。狛江は入転出も多く、友達になったとしても引越してしまうことも多かったので、欲しい時に情報が受け取れるよう医療機関と連携していただくなどして、困っている親のサポート、ニーズがつかみやすいよう働きかけていただけると助かる方々もいるかと思いました。
- GPSなど安全に見守れるシステム、また、例えば狛江市外に出た場合、緊急通報されるとか、親にメールが送られてくるなどの。前例やルールなど、大人や市役所のルールにこだわらず、その子に必要なことを特別する（しても良い）という確固たる支援。子供のための支援なのに、そのルールによって支援が阻害されては決してなりません。
- いつも保育園では娘を大切に預かっていただき、ありがとうございます。現在3歳児ですが、小学校入学に際して必要な情報をワンストップで受け取れるよう、ご配慮いただきたいです。
- お祭りや市内イベント、子連れで楽しめる場所、子供と楽しめそうなことなど、色々やってくれていると思うが知らないことも多い。子育てしながら色々な情報にアクセスしたり、わざわざこちらから探しに出かけるのは負担に感じることもある。情報がすごく分散している。こんなのあったんだー、参加したかったなあと後で気づくこともとても多く、これさえ見ればよいというのがない気がする。児童館もいろんな児童館をはしごして利用させてもらっているが、いろんなイベントをしているのに知らない人もとても多いと思う。カレンダーで今月の狛江のイベントはこれ！みたいな

感じで一括で見れたらとても便利だし、みんな活用するのではないかなーと思う。児童館や公民館でちらしもらったり、掲示板見たり、広報誌見たりでも子連れだと出かけられないことも多いし、情報が分散しがちで後になって気づくことが多いので集約できないのかなと思う。古民家でこの前餅つきをやっていたけど、それも終わる間に友人からの情報で知ったが事前に知ってたら行きたかった。サークルとかもこんなあったんだーと大きくなって知ることと結構あった。ここさえ見ればというのがあれば、イベント主催の側も見る側も助かると思う。

- 子どもの健康保険料のさらなる軽減・廃止や学校給食の無償化などの経済的支援を充実してほしい。一時的な給付金もありがたいがそのような恒常的な制度の方が長期的な安心感を持つことができ、子育て支援が手厚い自治体としてのアピールにもなると思う。児童センターや子育て支援センターをできれば日曜日や祝日にも開所してほしい。配偶者が仕事だったりする場合に、親1人でも子どもを安全に遊ばせられる場所として連れていきたいと思った。「ママの気持ち相談」の実施日を増やしてほしい。悩みがあってもなかなか利用できず、やっと勇気を出して電話しても予約が取れるのが2~3か月先だと長いと思う。乳がん検診の無料クーポンを市から送っていただいたが、ちょうど授乳中で利用できなかった。高齢出産の人も増えていると思うので、有効期限を2年くらいに延ばすなど柔軟に対応できるようにしてほしい（私は38歳と40歳で出産しました）。子の子育て支援に関する要望を、気軽に伝えられる窓口となるものがあるといい。例えば、LINEの狛江市のアカウントでは、道路等の不具合を伝えることができるが、同様のものがないだろうか。市内の保育園等や児童センター等に目安箱のようなものを設置してもいいと思う（今回のようなアンケートを増やすのもとても良いと思います。）
- すべての手続きがアナログで煩雑である点を改善してほしいです。認可保育園の申込みに際しても、幼稚園の預かり保育の助成金の申請に際しても、すべてが書面でのやりとりで、申請手続きも紙で窓口対応、就労証明書の紙化をせねばならず、ムダな手間に感じてなりません。一刻も早いオンライン化と書類等統一化をお願いしたいです。また、狛江市内に大型の公園の設置をお願いしたいです。現状の公園もどれも小さく、数時間遊べるような場所ではなく、休日のお出かけは遠くに行かざるを得ません。もっと大型遊具があり、ボール遊びや車輪乗り入れ可能なスペースもあるような、狛江市民にとってシンボルとなるような大型の公園の設置をお願いします。
- たんぽぽやこまっこ等、子育て支援事業に力を入れている印象を受けている。ただ、個人でおこなわれている子育てボランティア団体に対しての、市からの支援は手薄と感じる。今後に期待したい。
- お年寄りが多いのは分かりますが、子供にも優しく子供のことを考えた狛江市であってほしい。駅周辺の駐輪場をもっと増やしてほしい。
- マル乳がとてもありがたいですし、予防接種等のお知らせも時期に合わせて送られて助かっています。ありがとうございます。こちらに要望することではないのかもしれませんが、市の施策にアクセスしやすくなるとありがたいです。広報こまえの中から子育てに関する情報を見つけ出すのにもいつも時間がとられます
- 安心安全な街づくりをお願いします。特に多摩川が近いため、事故、事件等が心配です。
- 安全な通学路の整備を希望します。ガードレールや信号の新設など。

- 以前狛江市の育児相談フォームから育児に対する不安や悩みを、言葉でうまく説明できないのと、どこに相談したら良いかわからないので教えてほしいと書いて送った。その相談フォームには返信もしくは電話が来ると書いてあったのに結局連絡は来なかった。狛江市の育児支援には期待出来ない。助けてくれないという認識になった。パートといえど平日の日中は仕事で家にいられないし、親の手伝いは見込めないのに学童に入れない。一方フルタイムで働いていても、親から育児を手伝ってもらえる環境のある人が学童の入所が決まっている。不公平に感じる。親から手伝ってもらえず、夫の仕事が忙しい中ギリギリで子供たちの面倒をみられるように働いているのに、学童に入れないと出勤日数や時間が減って損する。子供が大きくなればなるほど働けない。学童に必ず入れる環境を作ってほしい。インフルエンザの予防接種の助成金も今年度から子供の分が出なくなってガッカリしている。人数が多いほどお金が掛かるのに助成金が出ないときつい。高齢の方ばかりに助成金を出すのは間違っている。もっと子育て世代にも助成して欲しい。
- 以前住んでいた渋谷区では出産祝い金として10万円支給されており、経済的なことを気にせずに出産方法を選べたり育児用品を揃えることができました。また、保育園の数も多く、落ちたとしても待機児童向けのポピンズの保育室があったりと、全体として子育てを安心してできる制度が整っていました。狛江市はそれに比べるとだいぶ遅れていると感じ、引っ越し後2人目を作ることへのハードルもかなり高く感じています。ぽかぽか広場などでのイベントが多いのはとても嬉しく子供も喜んでいるので、制度面では高齢者のことだけでなくもっと子育てに力を入れて欲しいと思います。
- 一昨年はあったプレミアム商品券が、昨年はなかったことに正直驚きました。狛江市の財政に不安を感じています。
- 我が家は比較的、仕事や親族などの関係から子育てしやすい環境ですので、生活を送る上での困難はあまりありませんが、子どもが大きくなったらお金足りるのかな、という経済的不安がいつも漠然とあります。目先の1万円とかそういうことではなく(1万円も大切ですが)、なんとかなるだろうという気持ちになれると、安心して子育てできるのかなと思います。市の施策に関しては、子どものいない時から狛江に住んでいますが、子育てするとこんなにも自治体にお世話になるものなんだと感謝しています。児童館なども子どもが大好きです。がんばって下さい!!
- 居住地を決める際、狛江市は犯罪数が少ない街ということも決め手のひとつとなりました。子どもを持ち、ますます安心安全に暮らせることを望み、重きを置くようになりました。しかし、子どもとよく行く公園で不審者情報があったため(近い時期に私もそこで少し怖い思いをしたこともあり)その公園には行けなくなりました。また、公園で遊ばせるということ自体に不安を感じるようになってしまい、子どもを遊ばせる場所の選択肢が減ってしまい困っています。不審者が現れないよう、犯罪が起こらないよう、公園の安全に関する見直しと対策を早急に望みます。公園を含め、子どもをのびのびと遊ばせられるような街になることを願っています。よろしく願いいたします。
- 経済的支援(所得制限等ないもの)。市が直接ないし間接的に関与する訪問型の育児サービスの提供。子連れ専用の飲食ができる店舗の整備ないし運営。
- 狛江駅前ひろばで子どもをたまに遊ばせる機会があり常々おもっていますが、小さな子どもたちが遊んでいる広場のすぐ隣に喫煙所があるのはどうしてでしょうか!毎日

保育園児が遊びに来ているのに、タバコの臭いが不快に感じます。立地的にも駅前広場は便利なので、喫煙所を移動してほしいです。

- 粕江市のご支援、大変助かっています。物価が上がり、食費・自転車・子供に必要な物を買ったり、習い事等、子供を育てていく上で必要な費用がたくさんかかります。給付金や授業料支援等、やはりお金に関する支援が大変助かります。そして安心した教育を今後もどうぞよろしくお願い致します。緑野小学校、藤塚保育園へ通っていてとても満足し、感謝しています。ありがとうございます。また、別件ですが、ゴミ袋に困っています。となりの調布市のように、プラスチックゴミはビニール袋なんでも、というように無料にして頂きたいです。かさばるのでゴミ袋代がかかり、分別も大変です。プラスチックが無料になれば分別し、プラゴミを洗ってもっと出そう!となりそうです。また、以前の黄色の燃えるゴミ袋は、燃えるゴミしか使えませんが、プラスチックも使えるようにして頂きたいです。まだ残っています。何卒よろしくお願い致します。
- 粕江市はこどもが喜ぶイベントをよく開催してくれるのでいつも楽しませてもらっています。そちらの課に直接関係あるのかわかりませんが、歩道がなかったり狭かったり見通しが悪かったりする道路が多く、今後こどもが一人で通学などするようになったとき不安なので、改善してもらえればと思います。
- 粕江市はコンパクトで、子育ては初めてながら、過ごしやすい環境であると思っています。子育てねっと、たんぽぽについては、Webサイトをもう少し見やすくしてほしいです。こどもが遊びやすい公園や、子どもと入りやすいレストラン、施設が増えると嬉しいです。
- 幼稚園入園の補助金を上げて欲しい。どの幼稚園も年々値上げしているのと、お隣世田谷の10万円に対し粕江は2万円。ファミサポが使いにくすぎる。粕江市のファミサポは子どもを預かってもらう際、基本的には援助会員さんのお家なので、子ども仕様のお家ではないことも多い。児童館などで預かってもらう際には、援助会員さんが家を出た時～家に着くまで時給が発生するため、費用がかさむ。
- 粕江市内で新築戸建て住宅の建設が多くあり、子育て世代が増加しているにもかかわらず、保育所が新しく作られず、毎年待機児童が多い。年度途中の入所どころか、4月入園も出来ない状況で、大変困っている。毎年待機児童の問題が出ているのに、保育所が新たに開設することもなく、改善しようとする意思が全く見られない。令和5年度保育所入所待機児童の状況調査における粕江市の回答で、「子どもの数は減少する見込み」のため、保育所新設は難しいとある。それは、待機児童を解消するには少子化になるのを待つということであるのではないか。子育て支援と真逆の対応だと思うが。
- たくさん子どもと一緒に楽しめるようなイベントを企画していただいているが、SNSでの発信が少ないように感じる。たまたま駅前を歩いてイベントをやっていることを知ること多いので、もっと積極的にアピールしてもらいたい。赤ちゃん用品など出費が負担なので、定期的な支援がほしい。
- 今後も子育てしやすい町づくりに取り組んでほしい。
- 今年度、二次選考後のキャンセル分で小規模保育園の1才児クラスに入ることができたが、フルタイム復帰でさえこのような状態なので、パートや就職予定で1才児クラ

スに入ることは到底できないものと思うと、数年前に次々保育園ができたとはいえ、狛江市も保活が厳しい地区であることを目の当たりにした。一次選考落選後に市役所に相談に行ったが、保育施設が十分でないために働きたい人が働けず困っている姿を毎年のように見ているはずなのに、保育施設が増えるという話は一切なく、狛江市として働く意欲すら奪っているのに何も考えてくれないと感じ落胆した。今後は小1の壁が非常に不安である。専業主婦家庭の割合が大幅に減っている中、学校の仕組みを変えることが困難なのであれば、学校以外の時間や長期休暇中に、保育施設と同じくらいの時間、同じくらいの質で預かってくれる施設の充実を懇願する。

- 昨年引っ越しして待機児童になった際に、ベビーシッター利用支援事業には大変救われました。ありがとうございました。マイホーム購入の際にベビーシッター利用支援事業があることで狛江市の物件を選ぶきっかけにもなりました。2人目を検討しておりますが兄弟別園の方も多いと聞くので、保育園の受け入れリソースを増やしたり、内定の保育園を第一子と同じになるように調整するなど考慮頂けると大変助かります。
- 昨年狛江市に引っ越ししてきました。自然も多く毎日とても楽しく過ごせてます。ただ一時預かりや病児保育、保育園入園がもう少し利用しやすくなるとありがたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。
- 子どもが病気で保育園に行けない時に病児向けのベビーシッターを利用したいので、その補助があると助かります。土曜日に大学院に行きたいのですが、夫が土曜日は休みなので保育園へ預けられません。毎週休日に夫が1人で2人の子守りをするのは大変なので、有料でも良いので理由を問わず土曜日にも登園できると助かります。
- 子ども手当を増やして下さい。現金がほしいです。
- 子育てアンケートをとったりと、子育て応援アピールをしているくせになぜ図書館を大人・子どもで分けようとしているのか。「子供の声がうるさい。」という一部の声を採択して、市は一体どの層を大切にしようとしているのか。図書館を休館する間、一部の学童施設が使えなくなると聞いた。その辺り、市から説明がないので不安だ。教育施設を大切にしない自治体には魅力がないし、狛江市の「説明を尽くした。」という態度には不信感しかない。この私の意見も「過激な左翼のヤツらがこんなとこにまで文句言ってる。」と切り捨てられるのだろうか、子どもを持つ親としては気になっている。きちんと説明してください。
- 子育てを大々的にアピールする市にすることは、若い世代を取り入れる要素として大きいと思う。中途半端なことはせずもっとはっきりとした他の自治体になことをした方がよい。また、子育て世代を取り入れることで市も活性化されるし、人口増にもつながる。中途半端ではなくもっともっとアピールしてほしい。
- 子育て家庭の住宅に対する補助、支援があるといいなと思います。
- 子育て家庭への助成金を増額。
- 子供が安心して生活できる町にしてほしい。不審者情報をもっとみんなに共有すべき。小児性愛者（昨今、問題視されている。）への対策。子供たちへの性教育の場がなさすぎる（子供の危機管理がない）。親がやれる事をやっているが、どうしても子供が不審者を見極める事は難しい。町が意識する必要があると思う。
- 子供に関する手当や補助金などの所得制限の緩和か撤廃。
- 子供はたくさん欲しいけど、経済的な理由から不安もあり、3人目以降を躊躇してい

る状況。子供支援の手当を拡充して欲しい。たんぼぼをよく利用するが、西野川から狛江駅まで行くのが大変、たんぼぼをもう一つくらい野川方面に増やして欲しい。

- 子連れで入りやすい飲食店の誘致。経済的子育て支援の更なる充実。
- 子連れ親同士の交流の場があると良いと思います。調布に「aona」というカフェがありますが、子連れで利用しやすく、ママ友と利用し情報交換できる良い場所だと感じました。日曜・祝日も、たんぼぼが開放されると嬉しいです（午前だけの短時間でも…）。
- 市の取り組みや有益な情報を積極的に配信してほしい。市のLINEなどは手軽に確認できるので、そうした既存のコミュニケーションツールを活用してほしい。
- 出産した時に情報書類を頂いたのは役立っている。
- 出産の補助金を出してほしい。
- 助成金、支援金を多く頂けると助かります。
- 小さい市であるなか、色んな支援をしてくださっていると感じます。ありがとうございます。しかし、小学校に入った後の働き方に両親とも不安があります(保育園のように朝から晩、夏休み冬休みは預かってもらえないため)。学童ではなく、放課後NPO アフタースクールのような、住民と繋がる場所や学ぶ場が狛江にもあるといいなと思います。小さい市だからこそできる、他にはない取り組みをトライアンドエラーしながら続けていただけると嬉しいです。
- 小学校の給食費助成や医療費無料、学童での昼食提供など、23区と比較して劣後しているサービスを拡充してほしい。
- 色々、施策を考えていただいてありがとうございます。東京都の区市町村の中でも格差がある中ですが、子育てしやすい街に狛江になるといいと思っています。世田谷区、調布市と連携して頑張りたいです。
- 世帯年収が多いとその分税金を多く払いますが、保育園入園にあたって、入園申込優先順位は低くなり、入れても保育料は高く、認証保育所の場合は補助金も出ずで、とても残念に思う。夫の収入が多く、仕事が忙しく家にはほとんど居ないので、毎日ワンオペ育児で、そんな中税金は高額、保育料も高額なのは、もう少しなんとかならないものかと思います。よろしくお祈りします。
- 毎年1月に、家庭状況報告書の提出があるかと思っています。それ自体は必要なことですし、何ら抵抗はありませんが、手書きでの書類提出を求めている点は改善して頂けると助かります。祖父母の情報など、普段書き慣れない情報を沢山手書きで書くのは大変ですし、チェックされる市の職員の方も、読みにくい手書き文字では事務も非効率ではないでしょうか。電子申請はコストのことなどもあって難しいかと思いますが、せめてPCから入力できる様式データを公開して頂けると、保護者にとっては負担軽減になります。PC入力して印字したものであれば、OCRで文字を認識させて自動で読み込みなどもできるかと思っています。市のHP内を検索したのですが、入力用の様式データは探し出せませんでした。ちなみに、近隣の自治体では家庭状況報告書のエクセルデータを公開しているようです。クレームのような内容になってしまい申し訳ありません。いつも狛江市さんの子育て支援に対する取り組みには大変感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- 経済的支援が非課税世帯などに偏りすぎている。きちんと働いて納税している家庭に

も平等な支援としてほしい。

- 幼児からの子育て支援施設、交流施設。狛江市は、幼児教育や幼児向けの施設が駅周辺などの中心にほぼないと感じます。ベビーカーで入れるレストランさえないです。ぜひ、幼児から安心して使用でき、教育環境も民間を誘致するなどしてほしいです。ママ友、パパ友などとも出会う環境、イベント、交流施設も少なく感じます。調布や近隣の市ではありますので、ぜひ参考にしてほしいです。

多胎児、双子支援について→双子の会が昨年度の6回から、今年度は2回に削られました。狛江市は多胎児が少ないのかもしれませんが、誰しものが多胎児を授かる可能性があります。ぜひ、多胎児育児と一般家庭での育児の違いについて耳を傾け、心を傾けてほしいです。我が家では、多胎児と分かり、病院を転々とさせられ、2箇所も代わるところから始まりました。妊娠期から、一般家庭と違う不安をかかえながら、また、経済的な不安、育児環境の不安をかかえています。また、産後の準備にしても、一切、お下がりは使えず、一度に2つずつ以上のものを購入せざるをえなく、母乳での対応や離乳食を作ることも時間的制約、心理的制約があり、既製品を頼ることや、ベビーシッターの活用、双子ベビーカーなど、双子育児ならではのものも、成長過程で必要なものも全て2つ購入するのは非常に負担が大きいです。産後は、ヘルパー、訪問看護、ベビーシッター、訪問相談、オンライン相談など、子供たちに加えて、夫婦も心身ともに健康であるために、金銭負担については我慢しながら、やり過ぎしてきました。ぜひ、前向きに、産前から義務教育課程ぐらいまでの継続的な支援、狛江に住み続けたいと思える支援を、ご検討よろしくをお願いします。

気軽にいける公園が少ない→双子のため、1人で2人を連れて行くことに不安で、支援センターなどの屋内しかいけないのではないかと不安です。安心して子供をみれる公園がほしいです。また、猪方地域には、遊具がある公園がありません。ベンチだけある公園は、公園に座っている人はまず見かけません。また、子供が自由に遊べる公園になるように遊具をひとつでも置いて欲しいです。

保育園のポイントについて→少しでも早く保育園に頼りたいとの声をよく聞きます。その上で、外に出れなく、保活がなかなかできない。また、双子であるからと言って、入りやすいなどのポイント加算がない(兄弟ポイントのみあり)。2人を別々の園に入れるなど現実的ではなく、ぜひ、23区のように入りやすい加算を検討してほしいです。一時保育について→身体を休めたいとの目的であれば、週に1回まで使用を認められていますが、毎月申し込んでいますが、4ヶ月つづけて申し込みがいっぱいで予約が取れてませんでした。0歳児で、2人一度に預ける枠が取りづらいということがあるのは分かりますが、ぜひ拡大してもらえたら嬉しいです。子供支援センターの拡大は非常にありがたいと思います。

ファミリーサポートについて→行政からもお勧めされます。我が家で一度使用しましたが、家での見守りは断られ、家庭支援センターまでの往復のみ依頼できました。しかし、サポーターの方との面談の際に、一人で2人をみることに大変な不安を吐露されており、預けるのも不安になりました。また、2人分の値段も必要とのことで、通常より値段も倍となり、使用を諦めています。また、一般家庭からも意見が出るかと思いますが、妻の意見としては、そもそも支援が必要で家を出れない方も多いと思うので、ファミリーサポート登録会をオンラインにして欲しい。ファミリーサポート登録会のときに、双子での使用を相談した時に、1人のサポーターが双子を安心して預かれるかは分からない。サポーターの家ではなく、たんぽぽ支援センターに2人を連

れてきて、サポーターの方にみてもらうのはどうかとの提案があった。わざわざ連れて行かないといけなかったり、育児に不安がある方なのであればと、妻はあまりファミサポに預けて、自分が休むということを選択したがりません。また、値段も子供1人1時間あたり700円などなので、1時間で1400円となり、お金もかかるため使用したがりません。育児のプロじゃないと言うのが大きい気がします。

双子家庭へのタクシー助成について→双子の会でも使用しづらいため、あまり使用していないとの意見ありました。狛江市多胎児移動支援タクシーについて、タクシーを使用するにもチャイルドシートを設置できず、一人で0歳児を抱えて乗るしかないが、大人1人が1人を抱っこすると大人が2人以上必要なため、ヘルパーや親を呼んでタクシーを使用せざるを得ないため、1人だけヘルパーを呼んで1回使ったことあるが、ヘルパー代が高いため、それ以外は使っていない。4組の方全員がマイカーを用意して、通院等しており、先輩ママから使用していないとの話があった。あいとぴあの保健師や助産師の人も、双子のタクシー支援をする場合に、実際どう利用しているかイメージできないとの話もあった。また、申請数もあまり見ないとの話でした。また、仲良くなった方からは、狛江と調布、世田谷で多胎児支援が大きく格差を感じているとの話がありました。調布市のように、差別なくできるように商品券がいいとの声がありました。

隣接する調布市では、移動支援タクシー分の金額を、一律育児パッケージとして商品券で、1年に2万4000円分を支給しています。我が家では、私が毎回仕事を休んで、予防接種等をしており、雨の日と子供が2ヶ月の時だけ、タクシーを使用し、それ以外は、ベビーカーでマイカーがないため、遠くまで押して行っています。また、双子家庭は、早産児のため、持病で病院に通うことも多く、我が家でも月に1回以上、世田谷の成育医療センターに通院していますが、毎回、レンタカーを借りて通院しています。こちらにタクシー代が出たらなあと思うこともありました。

多胎児支援の拡充希望→調布市では多胎児支援で下記のような支援給付金もしていません。調布市に住む方とお会いした際に、多胎児支援が充実しているので調布に一軒家を買おうか検討しているとの話もありました。ただ、双子出産をしましたが、国立成育医療センターが近かったり、慈恵医大もあるので本当は狛江に住みたいとの気持ちもあるとの話もありました。調布市多胎児家庭育児用品等購入支援給付金支給事業のような妊娠中にできる支援があれば検討してほしい。個人差はあると思いますが、悪阻が重くなりやすい人が多く、また、双子は安定期がないと言われており、体調が良い日はほとんどない。妊娠中期からはお腹が張りやすく切迫早産になりやすいため、常に安静にしていないといけないと医者からも言われていました。我が家は初産でしたが、上にお子さんが出て双子を妊娠している方は休める状況ではなく、体調崩したりしてる方もいたそうです。妊娠中から補助券が使えるヘルパーや、病院までタクシーで無料でいける支援があると有難いです。

行政の託児つきイベントについて→双子ということで断られたことがあり、大変に悲しい思いをしました。

双子の会について→周辺市では、双子サークルが発足しています。狛江でも双子サークルをぜひ発足してほしいです。何か方法あればアドバイスお願いします。その他、沢山ありますが、こちらで失礼します。ぜひ、目を通していただけましたら幸いです。

- 幼稚園、学童での給食提供。医療費補助の年齢拡大。入学費、学費補助。出産前後の家事手伝い、母乳外来受診等のチケット配布。学童クラブの保育時間拡大（朝 8:00～

希望)。児童手当全額 up。保育園・小学校の先生の人数増員。公園拡大（インクルーシブ公園、大きい遊具、BBQ 施設、室内遊び場等）。

その他

- 駅前や駅近くに子供と利用しやすい飲食店を誘致してほしい。夕食作りの軽減に人気の惣菜店等増やしてほしい。小田急の改装期待しています。
- 子供の数が増えないのは小さい時の育てる大変さもあるけれど、大学の費用が心配なのが大きいので、3人から無償とか言わずに全ての大学で能力があれば無償というのが普通になればもっと産みやすいと思います。
- 関係ないですが、ミシンをどこかで開放して欲しいです。公立園や小学校の持物の作成が負担です。
- 子育てはやるが、家事をやらない夫。子育ても楽なものをやりがち。子供がいなかった時期は、おもわなかったが、今は子育てをしながら、家事を行い平等ではないと日々悶々としています。
- 土日に子どもが出掛けたがり、週末はゆっくり休みたいが休めない。雨の日に安価で出掛けられる場所がない。特に日曜日は児童館も休みなので行く場所がない。学童保育の情報がよく分からず、入れるかも不安。
- あと保坂産婦人科が産科をやめてしまったので、子供を産める産科がなくなってしまったのが残念。
- 子供がバスやスーパーで騒いでしまった際に、高齢の方にうるさいと注意を受ける事があり辛く感じます。こちらも静かにするよう注意はしていますので、もう少し温かく見守っていただきたいと思います。
- バスの系統を増やしてほしい（～二子玉川方面行と～羽田直通行）。
- 今、保育園に通えているうちは仕事との両立ができていますが、小学校になったら学童等に入れるのか全く状況がわかっていないので、漠然とした不安がある。
- 母の私が障害者で短時間パートしかできず、夫は激務で帰れない。子供を保育園と私一人でみている。精神的、肉体的疲労。経済的にも不安。低所得世帯にも入れず給付金なども受けとれない。低所得世帯の幅をもう少し広げて欲しい、または所得関係なく給付金を配って欲しい。経済的不安でいっぱい。
- 第一子のときは育休を取得できましたが、その後フリーランスになり、経済的に安定せず、産後から仕事復帰するまでの経済的保障がないため、第二子が欲しくてもなかなか踏み出せない状況でした。この度、フリーランスを副業で続けながらも、フルタイム扱い(週4などの時短勤務も可能)にしてもらえる会社に就職することを決めました。この会社で働きつつ、ゆくゆくは第二子も授かれたらと思っています。フリーランス労働者も、会社でのフルタイム労働者も分け隔てなく産後の経済的支援が受けられる制度が生まれたらとてもありがたいと思います。
- 近隣の市区と比較して保育施設の少なさ、ホームページに記載されている情報の薄さ、子供を連れて行きたいと思える文化施設の少なさ、大きな公園の少なさ、小児科の少なさ、産婦人科の無さ、何もかもどうかしてほしいと思います。特に、東野川の手

薄さには愕然としています。一軒家ばかり増えて公園もなく、図書館も本屋もない。世田谷や調布に出ればある程度子育てに必要な医療や情報や文化等が得られると言うのは、いくらなんでも怠慢では？

- 結婚や子どもを望まない人が自由にその選択を取ることができればいいと思うので、子どもを産む人を増やすのではなく、産める人（育てられる人）にたくさん産んでもらうことが、少子化対策では重要である。子どものことで一番大きいのは、やはり経済的な不安。不安を取り除いて、“本当はもう1人（2人 or 3人）ほしい”と思っている人が産めるようにするのがいい。育休は取りやすいし、時短もできる。仕事のやりがいもそこそこある。でも、経済的な打撃が大きくて産めないと思っている人が一定数いるのではないのでしょうか（育休や時短によるキャリアダウン、収入ダウンによる経済的打撃だけでなく、高騰する教育費を払うことも含めて）。→共働き家庭が多く、子どもには習い事をたくさんさせたり、良い教育を与えたいと思う父母が多いと感じるため。
- 公園が増えるといいなと思います。狛江市はとても子育てがしやすい環境だと思い、今後も住み続けます。今、第3子妊娠中ですが、第1子、2子ともに保坂産婦人科で出産しました。今回は分娩ができなくなったため市外で出産します。分娩できなくなった後、産後ケア施設として利用できるため、とてもありがたいです。ただ近くで出産できる施設が市内になくなってしまふのは、少し寂しいかなと思います。私のように自宅近くで安心して出産したいと思う人もいます。子育てがしやすく住みやすい狛江市なので、今後結婚して子育てを考える人のためにも、出産できる施設があった方が良くと思います（少子化や経済面等、難しいこともあるかと思いますが…）。国も少子化対策と言っているのに、施設が減るとするのは…。
- 狛江市だけの問題ではないが、子ども3人を連れて出かけなければいけない際、駅や商業施設やスーパーなどのエレベーター待ちがひどい。もう少しエレベーターを増やすことや、（簡単にはできないと思うので）健常者はエスカレーターや階段を利用するなどの意識がもっと浸透してほしい。特におじさん、おばさん世代は平気で列を無視して割込んで来たりする。何回もエレベーターを見送ったことがある。その度に切なく悲しくなる。世の中がもう少し子育てについての理解が深まり、あたたかくなるといいな、と感じます。
- 狛江市には子供向け?の商業施設が少ないと思います。西松屋、アカチャンホンポ、ユニクロはあってほしい…。育休中で主に自転車、徒歩、東京の人は電車が主な公共交通手段なので子供連れて、電車乗って移動…はかなりしんどいです。一体型の大型商業施設があるのが一度で買い物が済むし、かなり時間短縮されます。東京だとかなり難しい話なのかもですが…。あとやはり、保育園は任意というより義務教育にすべきかなと。頻りに子供虐待のニュースも目立ち、核家族の現代のご両親はきっと大変だと思いますし、その為にも保育士さんへの手当をもっと良くするべきです。実際、今人気の流山市は保育園の増園、保育士への手当に力を最優先にして成功した市です。狛江も流山市を手本に、より良く頑張ってください。
- 狛江市は子育てに優しく接して下さる方がたくさんおり、雰囲気はとても良いです。子育て世代が多いのも良いなと思っていました。しかし、認可の保育所は、1年目も2年目もすべて入ることができませんでした。生活の苦しい方や、シングルマザーの方が優先されることも分かりますが、税金をたくさん払っているはずの共働きの我家

が、ずっと入ることができないのも納得できません。認可の広く新しい保育園の前を通る度に「うちはどうせ入れてもらえないし。」と嫌な気持ちになります。また、学童に今後上るのに、入れないのではないかと非常に心配です。入れないからと言って仕事をやめてしまえば、同じ待遇に戻ることは難しくなります。そうなれば狛江市の税収も減り、お互いによくないはずで。貧困への支援策や高齢者への優先策ばかりでなく、働いて税金を納め、子を育てるという当たり前にできるはずのことができるように、市を整えて欲しいです。整わないうちは、転居も検討しなければならないかも、と思います。宜しくお願いします。

- 狛江市は児童館や公園が多く、子ども向けイベントなども多く、非常に住みやすい環境だと感じています。いつも色々利用させてもらっています。ありがとうございます。現状に強い不満はありませんが、子育て支援がより充実することは嬉しいです。普段生活していて、狛江市にもっとお金を使えたらいいのになと思うことがあります。土曜日は児童館へいくのですが、日曜にちょっと出かけたときに、狛江の駅前に子ども向けのゲームコーナーや、有料遊び場があると嬉しいです。
- 狛江市は十分に子育てに関して取り組んでくださっていることがよく伝わります。子連れで気軽に利用できるよう、狛江市の飲食店に子供用椅子やカトラリーなどを購入した際に助成金を出すサービスはどうでしょうか。
- 狛江市内に子供用品（ベビー・キッズ）を購入できる店舗が少ない。ベビーカー+子連れで肩身が狭いと感じることが多い。
- 子育て支援も重要ではあるが、企業、国の働き方政策の整備が一番重要だと思います。
- 子育て中の生活自体がきつい。普通の独身の人だって1日8時間働いたらきついと愚痴るのに、それに家事育児が加わると訳がわからなくなる。補助金も無いよりはいいがそれ以上に時間の余裕がない。保育園も仕事以外では一切預からないし、延長しないと言ってくるし、そもそも母親はいつ休めばいいのかというくらい社会に何でもかんでも押し付けられている感じがする。今後子供が育てば楽になるが、今のこの状況を結婚する予定の若い女性にすすめできない。
- 子供が4人います。成人するまでの教育や医療などにかかる費用を考えると不安になります。安心して生活できるだけの支援をしていただきたいです。
- 子供産んだら、500万ください。
- 子供用品を売っているお店を増やしてほしい。子供が小さいうちは連れて一緒に行くのが大変。今、狛江だと駅前の「しまむら」ぐらいしかないの。
- 子連れで気軽に入れるような、ファミレスやカフェなどが増えると大変ありがたいです。キッズスペース付の飲食店がほしいです。
- 年配の方に多いのですが、子供は騒ぐものだと理解がない。積極的に子育てに協力して下さる方が沢山いらっしゃるの分かってはいますが、公園・公共の場などで危険でもないし、ましてや児童公園で追い出される経験をしている方が多く見られます。子育てを地域で見守る温かい気持ちを持って頂きたいです。
- 物価と税金ばかりあがっていき、習い事もどんどん値上がり。給料は上がるどころか、子供の病欠などの早退遅刻もあり下がり気味（だからと言って急に病児保育を利用しやすい環境かと言ったら立地も手続きなども対応しきれない）。長男が小学校に上がったら、保育園よりも登校時間が遅くなるので、必然的に始業時間が後ろ倒しになり

就労時間を短縮せざるを得なく、それに伴い給与が下がるにもかかわらず、次男は保育園で延長保育が必要になるなど、いろいろ生きづらい。国全体として、非課税世帯ばかりへの支援が厚いが、中間層も実質かなりきつい。今を生きること必死で老後の心配などしている時間も経済的余裕もない。晩婚化で祖父祖母の年齢も全体的に上がってきているので、子供を預けることができない。ほんとになんとかしてほしい。相談窓口を設置してもらったところで、解決がまったく期待できない。

- 保育園、幼稚園や小中学校の給食で、ミートフリーマンデーを取り入れて欲しいです。環境保全のために。よろしくお願いします。
- 母親（私）の体調が良くなることが発端の悩みがほとんどで、サービス利用のため書類を揃えるなどで、あちこち動き回るのを当然にはできず、利用をためらうことが多くあります（子どもがパワフルな子なので、連れ歩くだけで非常に消耗するせいも。）。これから幼稚園入園ですが、正直乗り切れる自信がありません。
- 問 26 の 13.幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている、が特に強い要望です。次の 4 月から子を幼稚園に入園させるため、就労や入園のタイミングを考えると 2 人目の計画が難しいと感じます。
- 幼稚園や保育園などで性について教育をして欲しいです。上の子が男の子ですが、おちんちんについて母親として知識がなく、父親に頼んでもあまり解決している様子がないため、保護者向けに学びの会を開いて欲しいです。もしくは 3 才児健診などで教えて欲しいです。
- 来春から夫が単身赴任で東京を離れる予定です。私は 1 人で働きながら、今 2 才 1 ヶ月の息子を育てる方針で、両親と夫の母は都内にいないため、私に何かあった時、息子はどうなるのかと不安です。
- 両親との二世帯住宅の為、共働きだが子供を施設の充実した幼稚園に転園させ、お迎え等を祖父母にお願いしている。子供は母親だけでなく、皆で大切に育てる事がとても重要だと感じる。子供が病気の時など、どこかに預け先があるだけで、親の生きづらさは減る。親や社会の都合で子供まで生きづらくなるのはとても辛い。

▼小学生保護者アンケート

問 28 子育ての不安や困りごと、狛江市の子育て支援に関するご要望などをご自由にお書きください。

学校のことについて

- PTA いない。行事ごとや暇な人、毎回やりたい人を集めてやればいい。
- 一律給食費の無償化。PTA の廃止もしくは縮小。
- 学校によって行事、勉強の取り組み方にばらつきがあるので不安に感じることがあります。
- 学校施設（特に小学校）が古く、更新が必要に感じる。体育館などはエアコンがあるものの、床は古く、バスケットゴールもない。地域開放をしているのもあるが、施設の充実を図ってほしい。
- 現在小学 1 年生ですが、クラスで動き回ったり色々な子が沢山いる中で、フォローしてくれる先生が少なすぎると思いました。担任の先生は、一生懸命頑張っておっしゃいますが、低学年のうち、担任と副担任の 2 名体制で取り組むなどしないと厳しいと思いました。人員不足だと思いますので、退職された教員の方を採用するとか、保護者も希望があれば、普段からクラスに見守りに入れる制度を作るなどしないとダメだと思います。息子が 1 学期後半から学校を好きになり、私もリモートで授業の様子などを見たり、実際に学校に行く機会が増えて、学校の現状を少し見る事が出来て気付きました。もっと教育現場はこんなに大変なんだと。だから、地域の人や、保護者の力を貸して欲しいと訴えれば協力する人はいると思います。学校をもう少しオープンにさせる必要があると思いました。教育の事なので、狛江市だけで取り組める事は少ないと思うので難しいと思いますが。
- 公立の小学校がいじめの情報を開示してくれない。加害者へのヒアリングが不十分。例えば、何度話し合いに行っても校長が全く出てこないなど、真摯に対応しているとは思えない。
- 子供も楽しめるイベントも多く、給食費も無料に向けて進めていただき、多子世帯の我が家としても子育てしやすい地域だと感じています。ありがとうございます。要望は、PTA 活動に負担を感じます。登校時の見守りや PTA 会費の集金・会計業務など、外部(シルバーさんや業者など)に委託出来る選択肢を市から各学校と PTA にも提案して欲しいです。
- 私は子供といる時間を大切にしたいので、仕事より子供を選んでいるので、自分で決めていることだけれど、夫も私も収入は少なく、これから増える見込みもないので、金銭的には少し困っている。給食費の補助があるとありがたい。
- 私立の小中学校に通わせていますが、公立のように給食費等は無償ではありません。まったく援助はありません。学費も年間で百万円程度です。私学に行っている子供達は全く支援がありません。お金があって、私学に通わせているわけではありません。よりよい教育を受けさせるために、頑張ってお通わせているのです。同じ税金を払って

いるのに、支援を受けられないのは不公平だと思います。私学に通わせている家庭に対しての配慮もよろしくお願い致します。

- 小1 長女の小学校の担任が、いわゆる昭和の融通の利かない人物で困っています。2023年12月から登校を嫌がるようになり、母親が教室に付き添って授業の様子を見ると、クラス全体の運営を重視するあまり、児童個人との向き合いがおろそかになっていました。1月、2月に校長、カウンセラーを交えて面談を実施しました。特にクラス運営の反省はなく、こちらが指摘した個別の事象については、多少の改善は見られましたが、「今後、長女のような児童が出たときに、教室以外で通えるスペースがあるといいが、どう思うか。」という質問には「ない。」「できない。」「市民の声として上げてほしい。」という具合で、改善のためのプロセスを構築しようといった具体的なアクションには程遠い反応でした。なので、彼らがアクションを起こす、もしくはサポートするシステムを、親や行政が一体となって作り上げられることができれば幸いです。
- 小学校における教室あたりの児童人数について、新6年生も40人学級から人数を少しでも減らし、教員の負担軽減ときめ細かい教育サービスの確保を図ってほしい。
- 小学生の給食費免除。幼稚園の月謝への援助を増やして欲しい。
- 小中学校の学区の見直しを図るべき（学科により児童の人数がばらついているから）。
- 上記でも書いたが、小学校の学校公開日を増やしてほしい。1人1時間という限定ではなく。コロナ前は土曜日授業日も見ることができたのに、あまりにも変わってしまった。子供の様子が知りたい。
- 中学校（市立）の制服や体操服などの指定品の値段が高く、負担に感じている家庭も多いと思います。価格を抑えた制服にしたり、学校指定品を減らして市販品を選べるようになるといいと思います。3人目の給食費無償化、1~3月の給食費無償化を大変ありがたく感じております。
- PTAの活動は外注にできるはず。今の時代にそぐわない。多少、年費が上がっても外注にすることで、親の負担も先生方の負担も減るのでは？ 経済的負担が大きい。小学生の医療費も軽減してもらいたい。
- 小学校で使用する、クーピー等の教材費が引き落とされているが、親がアマゾン等で揃えた方が圧倒的に安いものがある。業者との関係より、適切な費用負担になるよう、最安値で発注する等の工夫はないのだろうか。それが不可能ならば、親に購入するよう連絡してくれれば、今の世の中の的に、ネット等で皆揃えると思う。
- 公立小学校の教師の質が低く、記名なども求められるため意見を学校に言いにくくされている。子供の立場などを考えると意見もしにくく、子育て中の親を追い込むような発言や子供の自尊心を傷つけるような言動をする教師に疲れている。
- 給食費無償化。

学童について

- 問11でも記入しましたが、次年度（2年生）学童継続ができませんでした。パート勤務ではあるが週5日、17時以降まで働いているため途方に暮れています。低学年

でも預かって頂ける場所や環境を増やしてください。隣の調布市のように、学童申し込みをした方は週に3回以上利用するなど、条件をつけて、本当に必要な人が利用できるなど、申し込み内容の再検討をお願いします（現に、現在同じ学童にいるお友達は週の半分をココアや民間学童を利用して、あまり学童に来ていません）。安心して仕事、子育てが行える環境づくりをしていただきたいと思います。

- 夏季休暇だけでも全学年が学童に入れるようにしてほしい。
- 夏休み期間は、子どもだけで自宅で過ごすには長く、学童保育施設に預けられると本当に助かり、安心します。仮に「狛江夏休み寺子屋キャンプ」のような、夏休み限定の小学生受け入れ(サマーキャンプ)施設が市内にあれば、親の就労の有無にかかわらず、利用したいという潜在的な需要はあるかもしれません。
- 学童クラブに誰でも（どの学年でも）入所できるようにしてほしい。
- 学童クラブの改善をお願いしたいです。第一小学校放課後クラブに約2年間お世話になりましたが、乱暴な子供が何人もいました。周りの子供たちに度々暴力を振るう子供は別室で過ごしてもらい、一定期間登所禁止にする、次年度の選考では減点する等、何らかの対策を講じていただきたいと思います。現状では暴力を振るう子供とご家庭に甘過ぎます。被害を受けた側が学童に行くのを怖がったり、ためらったりして泣き寝入りする状況は今年度までにしていただきたいと思います。
- 学童での長期休暇時のお弁当作成負担軽減策。進んでいる市町村に子育て世代が流れないうちに対策を。市役所に聞きに行っても、検討していない、市長への手紙に投稿せよと他人事。
- 学童について、高学年になっても利用できるとういことです。特に夏休みなどの長期休みは、1人で家にいさせるのは、心配かつ充実した夏休みを過ごさせてあげたいです。
- 学童に子供と仲良しの友達と一緒に通っていましたが、4月から離れてしまいます。学童内で上級生に手を出されたりして、その友達の保護者の心のケアの為に就労時間や形態を変えた為、点数が低くなってしまいました。我が家は継続、友達は別の学童になりましたが、トラブルのあった上級生と同じ学童になる為、内定していた学童を辞退しました。我が家は父母共に外勤で保育園の送迎もある為、その友達と一緒に下校し、友達宅で待機して貰うようにしていたので、2年生からそのリズムが崩れるので私も仕事をフルタイムから時短勤務にするか悩んでおります。時短勤務になると経済的にも負担が増えるのでまだ検討中です。点数もありますが、学童等と連携をとって頂き学童の内定を選定して欲しいと思いました。
- 学童に通える学年を広げる、または KoKoA の開所時間を延ばして欲しいです。子供が大きくなると時短勤務が使えないため、子供だけで家にいさせざるを得ない状態となり、子供が不安に感じています。
- 学童の施設と保育内容の充実をお願いしたいです。外遊びの時間もほとんどなく、放課後は室内で暇な時間を持て余しているそうです。もう少し学童スタッフの働きかけや、内容を充実させることはできないのでしょうか?他の市や区に比べて、狛江市のこういった小学生の放課後の子どもたちの過ごし方は、とても遅れていると感じます。子どもたちのために、もう少し考えて頂けると助かります。高齢者が多いのは理解していますが…。
- 学童の入所が厳しくなる3年生以降、どのように子供に放課後を過ごさせるか漠然と

心配しています。ココアの子供達をたまに見かけますが、地べたで宿題をやっていたりするので、よほど過密なのかと心配なのですが、学校の保護者に仲の良い人などがいないためイマイチ実態がわからず不安です。

- 学童入所人数を増やせるようにしてもらえるととても助かります。
- 学童保育が少ない。
- 学童保育所に土曜日も延長してほしい。
- 現在、1年生のため、学童へ入所でき通っていますが、来年度の第1希望の学童は落ちました。第2希望の放課後クラブへの入所は可能でしたが、他の保育園から同じお子さんは全て学童に入れたのに、我が家だけ落ちました。同じ状況、もしくはそれ以上で働いているはずなのにです。そもそも、現在の学童申込みのポイント制度に問題があるからです。なぜならば、残業ポイントを加点ポイントとしてみなくなったからです。我が家は共にフルタイムですが、二人共朝が早い会社のため、終わりの時間は必然的に早くなり、また、就労規則上はフレックスでもないため、フレックス用の就労時間を記載した用紙を提出しましたが、加味されなかったようです。実際には、現在も学童は延長の時間ギリギリでの母がお迎え、夫は全くお迎えにも間に合わない就労状況にもかかわらず、第1希望への学童が落ちました。実体が伴っていないと思います。このままですと、再来年度以降はどこへも入所できないと思っております。どう対応すればよいのでしょうか？就業規則上の就労時間だけをみてポイントを算出するのはおかしいと思います。実際に学童の利用状況をみていただければわかると思いますし、制度改善を切に願います。また、学童は、学校併設でない学童を増やしても利用状況は変わらないと思います。それによって、そもそも学校併設でない学童にわざわざ申込みをする方も多くなく、3年生以降申込みが減っているがために、学童の数が足りていると錯覚されているフシもあるのではないのでしょうか。23区は高学年まで当たり前利用できる学校併設の学童が多いです。学校併設または本当に近距離の学童を増やしてもらいたいです。また最後に、3年生、4年生でもまだまだ一人でお留守番できない子もいますし、長期休みに預け先がない場合、一人で長期休みに対応しなければいけません。狛江市でも高学年まででも利用できるよう学童の数をもっと増やすべきだと思います。1点目は残業ポイント制度再開、2点目は学校併設または近距離の学童増加、3点目は高学年まで利用できるよう学童増加をよろしく願います。
- 今後就労した際には学童を利用したいと考えていますが、就労時間が短いと入れない、高学年は利用できない等、就労する上で不安が大きいです。また、普段は学童の必要性がなくとも、夏休みに就労の為に利用出来るなど、子どもだけで留守番させて就労しなくてはならない状況にならないよう、学童がもっと利用しやすくなることを希望します。普段パートで働いており、長期休みは子どもが留守番になるという話は周りの家庭で起きている話です。学童の充実をお願いしたいです。
- 小学校3年生までは学童保育や放課後クラブに行けるのに4年生以降は行くことができません。これでは親が働く体制を変える、または子供に留守番をさせるなどなかなか安心して親も子供も生活することができません。学年に関係なく受け入れてくれる体制を狛江市で構築していただきたいです。私たち家族は実際に4月からどうしようかと悩んでいます。
- 小学生になり、学童保育の預かり時間の短さ(小1の壁)に直面しております。開所、

閉所ともに早すぎると思います。夏休み中は開所時間が8時半ですが、8時半では出社に間に合わず、やむを得ず子供を10分程度校門を入ったところで待機させていましたが、猛暑で大変暑く、毎日心配でした。せめて、朝8時開所、夜19時閉所だとありがたいです。強いて言えば、夜19時半まで預かって頂けると大変助かります。コロナで在宅勤務制度が導入されたとは言え、最近はまだ出社する傾向にあります。都心や郊外に出社するとなると、通勤に30~1時間程度掛かります。皆、狛江市内で働いている訳ではありません。また、これは一小区域独自の問題かもしれませんが、毎年預け先の学童が変わるのは、子供はもちろんですが、保護者にとっても持ち物や提出する書類が変わるので大変負担です。希望した場所で、せめて3年生までは過ごせるように改善していただきたいです。

- 上の子と下の子で学童クラブが別々なこと。保育園のように、せめて兄妹で同じ学童にしてほしい。不安しかない。しかも2年連続。小六まで学童に通える環境を整えてほしい。学校の建物を4階建て等にして、1階部分を全て学童クラブにして、同じ学校・同じ学童で通わせてほしい。学童に1日預ける際に弁当が必要になるが、これを取り止めにしてほしい。学校の給食が利用できるようにならないか。せめて弁当を外注にしてほしい。負担が大きすぎる。
- 申し込み者全員が希望する学童クラブに入れるように規模を拡大してほしい。高学年でも学童クラブに入れるように規模を拡大してほしい。学童クラブや放課後子ども教室で、学校の宿題や勉強をみてもらいたい。放課後は学校の校庭で自由に遊んでもよいことにしてほしい。子供達だけで留守番をしても安全なまちにしてほしい。
- 特に学童保育について、さらなる充実を希望します。駄倉地区に学童保育所がなくなり、かなり歩かないと学童がありません。東和泉地区に学童が欲しいです。
- 放課後クラブ、学童の時間の延長。とくに長期休みで8:30からでは、フルタイムの仕事ができません。
- 夜までやっている学童を増やしてほしい。保育園は夜8時まで預かってもらえるが学童はそこまで預かれる場所に限りがあった為。
- 春から上の子が小学校4年生、真ん中が3年になりますが、4年生でも学童（小学生クラブ）に入ることができてよかったなと思っています（ただ、4年になると、まわりの友達に入れなかった子も多くなって来ています。希望する子がみんな入れると有難いです。）。ココアはとても利用しやすく、2人とも現在学童に所属していますが、たまに利用しています。学童に所属していると、同じ学童の子としか遊べないですが、ココアに行くといろいろな子と遊べるのが良いようです。ココアは、6年までみんな利用しているし、長期休業中はお弁当も持っていけるので、とても有難いです（特別支援の子はお弁当お断りされると聞きました。特別支援の子もお弁当対応可になるといいです。）。今後ともよろしくお願いします。
- 学童保育（放課後クラブ）に預けているが、子は暇を持て余している様子である。定員拡充も大切だが、中身の充実は検討されているのだろうか。また、学童難民が多く発生しているため、私営学童にいかざるをえない家庭に、学童補助金が必要と考える。未就学児ばかり充実を図ったところで、子どもは成長するので、より先を見据えた検討が足りてない。大型マンションが建ち始めたあたりで先は読めていたはずで、なぜ学童がここまで不足しているのか理解に苦しむ。そして、私営学童の利用補助金を検討したことはあるのか聞きたい。アンケートでワークライフバランスを問うくらいな

ら、市として如何にそのような状況になるよう補助や支援が出来るかを真剣に考えて欲しい。多摩地方だからと諦めているようにさえ感じている。港区のようにしてくれとは言わないが、本アンケートのように現場の意見を聞き、それを聞いただけで終わらせず、具体的な施策を挙げ、実行に移して欲しい。

- 子どもが KoKoA に行きたがらない。コロナ以降 (?) 注意事項が多くて、楽しくないと言う。手洗いなどに加え、態度などにもキツめに注意されることや、注意されなくても他の子が言われているのを見るのが嫌だと言っています。皆で使う場所なのでルールが必要なことはよく分かっていますが、もう少し自由に楽しく遊べる場であつたらいいなと思います。

保育園・保育支援について

- 下の兄弟に関する困りごとになりますが、保育園の待機児童問題を解決してほしいです。何とか認可外施設へ預けることが決まりましたが、心理的にも経済的にも身体的（送迎距離の問題）にも負担です。少子化かつ年齢や地域によって定員割れも出ているそうなので難しい問題だとは承知していますが、困っている家庭はまだ多いのでは。
- 狛江市は、大規模な幼稚園はありますが、大規模な保育園があまりないように思います。共働きすることを考えると、保育園の拡充が必要だと思います。私は、神戸市から約7年前に狛江市に引っ越してきましたが、神戸市は、大規模な保育園が多くありました。
- 今は育休中ですが、保育園に入れるか不安です。誰でも、現実的に通える範囲の保育園に入れられるようになると安心です。学童も上記と同じ希望です。
- 今は状況が変わったのかもしれませんが、今小5の子が0~6才の時、一時保育がなかなかとれず、仕事の時に困りました。ファミサポもピンポイントだと断られました。学童も（就労日数が少なく）入れませんでした。フルタイムの人だけでなく、幅広く（一時）保育園や学童が利用できたらよかったです。
- 時代や社会は、母親も就労することを推進しているにもかかわらず、狛江市は保育園に子どもを預けられない。現在、就労していて育休を取得している方が優先で、私はまず、求職→就職という流れになるが、そもそもその状況では全然保育園に入れず、働くどころか求職活動もできない。2年連続で保育園が「保留」になっており、子どもは4人なのに母は働けません（涙）。このままでは経済的に不安です。子どもが多い家庭ほどお金が必要なことから、母親も働けるよう保育園に優先的に入れてほしい!!!!このままでは子どもを産んでも安心して生活できず、子どもを狛江で育児したいと望む人が減ると思います。保育園に入りやすくして下さい。お願い致します
- 待機児童、待機学童の解消。

発達支援・障がい児支援・不登校支援

- (P.4~) 放課後の過ごし方に関して。現在、放課後等デイサービスしか通い先があ

りません。今は利用できていますが、今後もし放デイが閉所したり、定員オーバーしたりして通えなくなったらどうすればいいのだろうと思います。障がいや発達のある子どもと、ない子どもの過ごす場が大きく分かれてしまっていると思います。もっと一緒に過ごせる場所が在ってほしいです。(P.8～)子どもの「不定期な」一時預かりに関して。子どもが障がい児で、子ども一人で登校することができません。子ども一人に留守番させることができません。以前私が病気になった時、私が送迎できないため子どもに学校を休ませ、子ども一人に留守番させることもできず、急に子どもをみてもらえるサービスもないので、私は病院へ行くことができず、大変辛かったです。親の病気・けがなど、予定の立たない突発的な場合でも、予約なしで利用できるレスパイトサービスを市内で展開してほしいです(ショートステイ、移動支援、日中一時支援、居宅介護など)。問16で日数を問われていますが、日数もですがタイミングが重要だと思います。

- インクルーシブ教育を実践してほしい。発達障害の児童を特別支援学級に隔離しているのは、健常児は理解のないまま大人になってしまいます。狛江でなら実現可能だと信じています。
- ゆうゆう教室に通っています。先生方が常に子供達の過ごしやすい環境を考えて下さりとても過ごしやすい場所となっていて感謝しています。勉強に関しては自学自習のため学校の勉強には追いつかないので、不登校でも平等に学べるような対策を考えてもらいたいです。
- 言語の発達に遅れがあったものの、施設がいっぱいで入れない。施設の数が足りない。
- 狛江市はフリースクールが全然ないので、学校に行けない子の日中過ごせる(子どもが自分で出かけることのできる)居場所を増やして欲しい。一箇所通っているが、そこに行けなくなった時、自宅にいるしかなくなってしまふ。
- 狛江市は療育に関して隣の世田谷や調布と比べても支援に不安が残ります。療育施設も少ないため、放課後は狛江市外の施設へ通うお子さんが多く、送り迎えも親の負担が大きくなっています。
- 小中学校の通級や支援級の状況、卒業後の進路先など、詳しい情報が欲しい。
- 障害児は狛江市だと放課後デイしかなく、長期休暇だと放デイは10～16時が多く、定時で働くことは不可能です。調布市のように送迎付(別料金)の学童や障害児枠などがあると、仕事してる人も続けられると思う。シェアハウスなど、少しずつ進んできていてありがたい。今後増えていくので、施設のようなデイホームのような場所が増えてくれると、将来悲観せず子育てができると思う。
- 情緒学級を増やして欲しいです。今は入るのにハードルが高すぎます。我が子は自閉症スペクトラムや、学習障害があり知的級に在籍しています。知的級では理科や社会の授業がないので、学びに物足りなさがあります。交流級も参加していますが、通常級と知的級のカリキュラムが違うのでスケジュールの調整など大変です。
- 長女が学校が苦手な子ですが、不登校児や発達の問題などで学校や集団が苦手な子に対しては、オンラインで出席し、授業を受けられるような選択があれば、そのような子や親はとても楽になると思います。

支援事業・サービスについて

- 以前、子ども家庭支援センターたんぼぼを利用したことがありますが、スタッフの方の対応があまり感じの良いものではなく、もう行きたくないと感じました。どこに相談して良いのかも分からず…といった感じなので、意見を言えるところがあるのかもしれないですが、分かりやすく作って頂きたいです。あの雰囲気ですと、常連さんは行きやすいと思いますが、普段行かない者にとってはとても入りづらいです。
- 現在学童が好きではなく、こまっこ児童館をよく利用しています。こまっこ児童館以外にもあのような充実した施設が他にもあるとありがたい。また、こまっこは日曜、祝日が休みなので、開けてほしい。もしくは別の施設を開けてほしい。
- 高学年になっても預かってくれる施設を充実させてほしいです。
- 今は1人で対応する事に慣れましたが、子供が小さい頃に親族以外にも子どもを預ける事ができたり、悩みを気軽に相談できる事ができたらよかったなと感じます。具体的な提案ができないのですが、子どもが小さい時に主人からの協力が得られなかった時すごく辛い思いをしたので、今後同じような気持ちになるお母さんが減るといいなと思います。
- 仕事で土曜日に子供1人になることが多いが、ファミリーサポートセンターでも、なかなか助けてもらえる人が見つからず苦労しました。今は、子供が1人で過ごせていますが、困っている人はいると思います（学童も年齢が上がって落ちたため）。朝、小学校が開門する時間が8:15以降で、仕事で7:20に出なければならないので、子供が1人になる時間が長く、それがきっかけで不登校気味になってしまいました。もっと早く開けてほしいです。難しいと思いますが。不登校になると、子供が1人になってしまい、困っています。
- 子どもを育てるにあたり、かかる費用は色々だと思います。しかしながら、確かに貧困層を支援していくことも重要だと思いますが、この層がそうである理由も色々だと理解しています。そこで現在のような収入により、受けられないサービスがある事に納得がいかない。我々は一生懸命働いている結果として、高い収入を得ています。ですので収入による格差を設ける事なく、平等に子育て支援等の助成を受けられるようにしてほしい。ほとんど全てのサービスを受けられずにいます。
- 子育ては年齢によっても必要となる事柄が変化してくると思うので、その年齢、子どもに合った支援やサービスがマッチングできるといいと思います。
- 自宅で子供の放課後の面倒をみて欲しい。KoKoAの環境が劣悪であるため（子供が多すぎて目が届いていない、感染症にかかるリスクがある。）、非常に心配だった。タクシー券があると赤ちゃんの頃はありがたいと思う、バスに乗るのも大変なため。こまバスはバギーを畳んでもとても乗りにくい、座れない。例えば、健診票を見せれば無料で利用できるようにするなど。保健師さんの訪問は就学前までは定期的に行った方がいいと思う。子供と出かけるのも辛い、という人も多くいると思う。様々な施策があることを知らずに、苦しい思いをしている人を減らせるのでは。
- 保育園や学童、病児保育や一時保育などが確保されていないと、安心してこどもは産めません。現在小学2年生ですが、産まれてから8年間、その不安から解放されたことはなかったように思います。希望する人が必ず入れる保育園と学童保育の確保をお

願いたいのです。

- 母は就労していないため1年生の子どもは学童には入っていません。兄弟が発達支援が必要なため、週に1度市内の療育に通所しており、そちらへの送り迎えが必要な状況です。お迎えに行き帰ると17時近くになってしまい、1年生は1人でお留守番させるのも心配なため普段は祖父母宅で預かってもらい、たまに祖父母が不在の場合はKoKoAにてお世話になっています。我が家は幸い祖父母が近くに住んでいるためそのような形で対応ができていますが、それでも冬に祖父母が不在でKoKoAを利用した場合、冬場のKoKoAの時間帯が16:15までとなると、それ以降に母が療育から帰って来るまでにしばらく1人の時間が出来てしまい心配な状況が生じてしまいます。療育に送るために母が家を出る時間よりも学校の下校時間が遅く、一緒に連れて行くこともできません。そのような事情がある時にだけでも一時的に学校に併設されている学童（放課後クラブ）を利用させていただき、17～18時くらいまでお預かりいただけるというシステムがあれば助かるなと思いました。発達などの支援が必要な子ども本人への支援体制はありますがその兄弟たち（きょうだい児）についてのサポート体制がもっと充実すれば…と思います。難しいのは承知ですが。
- 母子家庭の援助を増やしてほしい。
- 岩戸児童センターに近く赤ちゃんの頃から連れて行き、その先生に励まされていたのを覚えています。またそこで出会ったママ友と今でも繋がっていて、地域でのつながりは大切だと感じています。もっともっと子供が安心して過ごせたり、保護者が笑顔になる粕江市でいたらいいなと思います。こうやって変わっていきこうと動いてくださっていてありがたいです。

医療支援について

- インフルエンザの予防接種代、せめて2回接種の時期まで補助金が欲しいです。
- インフルエンザワクチンの助成金はなぜなくなったのか。義務教育程度年齢まで実施してほしい。
- 任意の予防接種についても、助成があると大変助かると思います。
- 今は子供が大きくなってきていますが、子供が小さい頃は病児保育のように体調が悪い時に預かってもらえるところが野澤医院しかなく、しかも当日に連絡しなくてはならずとても不安でした。もう少し多くのところで安心して預けられると良いです。また、フルタイムで仕事をしていると早退遅刻が多くなってしまい、理解してもらえない職場でないと両立は難しいと思いました。
- 他の市区町村に比べ、医療機関が少ない。特に小児。
- 転勤が多く全国色々な場所で子育てしてきました。粕江で子育てしていて特に不安や不満に思ったことは、病院などの医療施設が少なく不安。頼れる病院や先生もいるし、コンパクトシティなので病院が少ないのは仕方ないのかもしれないが、医師が高齢化していたりで診察が危うく、機能している頼れる病院が少ない。結局、調布や世田谷に行くことが多く、特に婦人科などが少なくお母さんや女性には優しくない町だと感じます。

- 病児保育の充実。日、祝日の学童保育。学級閉鎖時の子供の預かり。
- 病児保育の充実。子供が2人いますが、インフルエンザやコロナ、風邪などで冬は2~3wに1度休みをとらなければならない、仕事に支障がある。そのためベビーシッターの補助等をいただくが、1回分がせいぜいでかなり苦しい。病児保育室は診断書等が必要だが、私は営業、妻は販売の仕事をしているため、当日休むことができない。両親は全員他界しており、結果民間のベビーシッターに頼むが、1日3万円近くかかる。状況により、1wで15万円(3×5日)払うことになり、安心した子育てとはかなりかけ離れている。

医療費助成について

- 医療費助成の拡大、18歳まで。
- こども医療費が無料でない事が残念です。周りの地域でできている事ができてないので財政が苦しいのか、子育て支援に回さないのか気になります。小さい市だからこそ、安全で住みたいと思える場所にして欲しいです。
- 医療費の無償化に課題を感じる。子供が減っている今、子育てにかかる費用を無償化し、今よりプラス1人子供を産める体制の整備が必要と考える。また、インフルエンザの助成はなぜ毎年されないのか。コロナ禍だけでなく、集団生活を安心して送るためにも、毎年全子供を対象として助成必須と考える。
- 医療費など23区並みの子育て支援をお願いいたします。
- 医療費については中学生まで所得制限なしで、医療費200円にしてほしい。3人子供がいて、所得オーバーで、医療費も200円にならない。高校生が200円で義務教育の中学生が3割負担しなければいけないのはおかしいと思う。そのため、怪我等も病院へ行かず、なんとか、だましだまし生活している。なんとかしてほしい。
- 医療費の援助が他の自治体に比べて脆弱だと感じる。高校生まで無料になると良いと思う。
- 医療費の所得制限を撤廃して欲しい。高校生まで助成を拡大する前に、義務教育までは一律にして欲しかった。医療費の所得制限をなくす自治体が増えているのに狛江市では進んでいない。所得制限がかかった時、世田谷に住めば良かったとすら思った。定期的に通院しなければならない、医療費の助成が受けられず経済的にも負担が重い。
- 医療費の負担を小学生からではなく、中学生からにして欲しいです。
- 医療費の無償化! (高校生まで) →10m行けば世田谷区。この違いは何!?こんなアンケートするなら絶対に実現して。
- 医療費助成を収入制限なく皆平等に、小学生まででなく高校生までにしてもらいたい。各家庭、収入にあわせた額を納税しており、中学からは助成を受けられる家庭と受けられない家庭が発生するのはあまりにも不平等。薬代だけで毎回数万円支払っている家庭があることを知ってもらいたい。早急をお願いします。
- 医療費助成制度の所得制限は、現在小学6年生まで撤廃されていますが、中学生、高校生においても継続してほしい。子育てには経済的負担が大きいので、手厚い支援を永続的にして頂きたい。

- 家庭の経済状況が悪くなり、これから子育てにもっとお金がかかってくるため、医療費を高校生まで無料（せめて 200 円）にしてほしい。
- 現在、子どもが小 4 になり、以前より子どもにかかる時間がかなり減った（手がかからなくなった）ので、時間的・体力的には楽になった。なので、今は負担や不安はあまりなく過ごせている。けれど、以前は保育園に入園できなかつたり、病児保育の予約がとれなかつたり、仕事と育児を両立することにかなり負担感があった。今、保育園への入園状況がどうなっているか分からないが、保育園の数も増え、働く家庭にはありがたいことだと思う。今、市の政策への要望は、子ども医療費助成の拡充をぜひお願いしたい。我が家は所得制限に引っかかることが多く、このままだと医療費助成も小 6 までとなる。多く納税しているのに、子どもにかかる医療費に不公平があるのは常々おかしいと思っている。早く所得制限をなくしてもらいたい（以前は小学生も医療費助成がなかったので、我が家は現在は利用させて頂き感謝している。）。
- 現在、小 6 の子どもですが、中学から医療費の負担が 3 割になり、助成の対象から外れます。中学生といえば、頻繁に病気になることもないですが、何か不調があった時にすぐに病院へ行ける環境は確保したいです。中学、高校生の医療費助成をお願いしたいです。
- 子供の医療費やワクチンの助成など、年収制限などをせずに平等にもっと支援をしてほしい。周りの市区町村と比べてもがっかりすることが多すぎる。
- 子供の医療費を 18 才まで無料にしてほしいです。
- 子供医療費助成拡大。18 歳までの引き上げ。
- 歯科検診や矯正歯科の助成。
- 中学生以上の医療費補助の収入制限を撤廃してほしいです。毎日長期的に服用している薬があり、中学進学後に負担が増えることが見えているため不安。

遊び場・居場所などの施設整備について

- とにかく、学童を増やしてほしい。子育ての不安、困り事は、共働き家庭において子供の預け先がない事。保育園もそうですが、内定通知がくるまで、今後の人生を考え直さないとならない位の問題と思っています。預かり先があるのが前提の話で、まず不安というならばここです。困り事もこれです。その場合（落ちた場合）働き方を変える→会社に負担がかかる、という自分だけが困るわけではないということです。毎年入れるかどうか不安になりながら過ごしているのは、本当にストレスです。落ちたらどうしよう、2 年生でやっていけるのか…と。実際まわりで 1 年生で落ちた、2 年生で落ちたという人を聞き、お迎え時間が少し早いからという微妙な時間の違いというのも聞き、そんなにもシビアな状況なのかと驚いています。夏休み、冬休み、春休みと長期のお休みはどうしたら良いと思われますか？低学年で学童に入れなかった子供は。モデルケースを教えてください。朝 8:00～帰ってくる 18:00 まで、1 人で家にいれると思いますか？ファミサポやベビーシッター等ではなく、安定した居場所を早急に作って下さい。
- それから遊ぶ場所も世田谷や調布や川崎に頼っています。南口は特に寂れた印象で、

若い世代やファミリーがもう少し過ごしやすく、楽しめる町になって欲しい。子供達（友達同士）もよく、遊ぶところがないと言う。巨大な施設は無理でも、もう少し中高生が休みの日に友達と遊べる施設や、小さな子供から年配の方まで楽しめる総合スポーツ施設などがあればいいのかなと思います。

- KoKoA を利用させてもらっていますが、夏休み等の暑い期間に校庭で遊べない事が多く、体育館が空いていれば体育館で遊べると身体を動かす機会が増えて良いのにと思いましたが可能でしょうか？
- 公園遊具の充実。→回転遊具設置。
- 公園でボール遊びができる場所を増やしてほしいです。
- ボール遊びが出来る場所や、勉強を教えてくれる場所や、子育て支援金の強化をして頂きたいです。
- ボール遊び出きるくらいの広い公園が少ない。近隣の区や市にはあるが、通うには少し遠い。夏休みなど長期休暇のときに、子供を家に置いて働きに行くのは不安なので、気軽に預けられるような施設が多く欲しい。
- 引っ越してきて3年経ちましたが、日々気持ち良く生活しています。自治体として狛江市に希望することは「公園」です。夏は草でボーボー、蚊がすごい!遊具が古い、工夫が無い(すべり台と砂場…のみ、みたいな)。→管理と設計にもっと人手とお金をかけてほしい。広い公園が少ない(岩戸エリアは特に)。災害時に活用できる公園があると良い。→防災公園のような、広い公開空地が岩戸エリアにほしい(多摩川側は雨の時ちょっとこわい)。小さい子がいればなおのこと…。
- 我が家の子供たちは活発な方で公園の遊具や屋内では体力を持て余してしまう。思いっきりボール遊びのできるような場所があると良いが、現状ミランダしかない。全体的に未就学児には良い環境だと思うが、小学生になると行くところがないと感じる。
- 岩戸エリアに広い公園をつくってほしい。
- 公園にベンチが欲しい。ボール遊びができたり、スケボーができるような、外で遊べる場所が少ない。中規模、大規模の小学生が遊べる公園が少ない為、いつも公園が混んでいる。
- 高学年になるにつれ、子供が思い切り遊べる場所が少ない。公園はあるが、小さい子のお母さんが危ないから別のところで遊んでとにらんでくるそうだ。ボールで遊べる場所もなく、思い切り走れる場所もない。結局誰かの家でゲームするしかなくなってしまふ。赤ちゃんだけでなく、力のついた小学生以上でも遊べる場所を確保してほしい。また、市のプールは温水プールにしてほしい。
- 自然豊かな狛江市であるが、ピクニック出来るような大規模な公園があると子育てには良いと思う。
- 狛江市の図書館を2ヶ所に分けるのは反対です!!大人と子どもが、老若男女問わず、同じ空間にいる事が子ども達にとっても大きな学びと、いい関係性(大人と)を築く場所になっています。市の狙いが理解できません。中止して下さい。
- 困ることはないが、市内の小学・中学校に通っていないのに、市内の方々の給食費を無償化されても、恩恵がないので、公立学校以外の部分にも目を向けるなり、還元してほしい。ボール遊び、自転車の練習ができる公園がほとんどなく、苦労した記憶が

あるので、今後の方々の為に場所を作ると良いと思う。

- 子どもがボール遊びをできる場所が限られ、狭いグラウンドでサッカーと野球をする子が密集していて、危険を感じます。大型マンションも増え、もう少し開放してくれる場所があるといいのではと思います。
- 子どもの遊び場を増やしてほしい（禁止事項が少ない場所。ボール使用、キックボード、スケボー、ローラースケートなどする場所がない。）。子どもの運動不足が気になる。いつでも誰でも気軽に運動できる場所がほしい（小学生向け）。アスレチックみたいな場所があるとステキ!!
- 校庭を放課後開放してもらえたら…と思います。ケガなど自由に使えると発生する様々な問題はありますが、自己責任でも思いきり遊べる場所として、是非使わせていただきたいです。
- 子育て＝お金がかかるを解消できると良い。そもそも子供の遊び場がない。何に忖度してるかは知らないが、公園でボール遊びができないことがおかしい。公園以外にボール遊びができる場所があるわけでもない。市民体育館を利用すれば良いのかもしれないが、利用方法が煩雑すぎる。
- 子供が公園で遊んでいると、ボール遊びやブレボをする場所が少なく、大人に注意を受けたり、窮屈でかわいそうに思う事が多いです。子供が気兼ねなく遊べる場所が欲しいです。
- 中高生が勉強できる場所を増やして欲しいです。家からだ、西河原公民館が快適ですが遠いです。
- 子供たちがのびのび遊べる場所があると、遊びに送り出しやすくなる。
- 子供たちがボールで遊べる場所を増やしてほしい。
- 子供の遊び場、設備などの情報が DM であると助かる。冊子など、色々な情報がまとまりすぎていると見る気が無くなる
- 子供達が放課後自由に過ごせる場所が少ないです。公園は子供で溢れ、公民館もいっぱいに入れない。共働きの家が多いので、家で遊ぶことも少なくなっています。多摩川は大人がついていけないといけない。ボール遊びができるところが少ない。子育て世代を目の敵にしている高齢の方が多いです。こちらマナーを守るので子供達を地域で大切に作る街にして欲しい。
- 私の住んでいるマンションに住居していない高学年の小学生や中学生がゲームをしたりするためにエントランス等に集まって騒いでいる。駅の近くや市役所の近くに室内で自由に遊べる場所が少ないためだと思います。登録など必要なく室内で遊べるラウンジのような場所があるといいと思います。オープンな場所で大人の目もある場所だと安心できます。
- 将来の子供の事を考えているのなら、子供の為に図書館を充実させて欲しい。図書館を小さくする計画があると聞きましたが、それが本当であれば今後粕江市は衰退していくと思う。企業とコラボした図書館など、他県の充実した図書館などを見習って欲しい。
- 小さな子供が安心してボール遊びができる場所が、何ヶ所かあると良いと思います。車の通りが多いので、子供達が安心して通園、通学ができるよう、何か対策をしてい

ただきたいです。

- 小学生の遊び場が少ない。公園はボール遊び禁止、大きな声を出すな、公園は小学生の遊ぶところではないなどと近隣の方から言われる事が多い（多摩川住宅あたり）。子供には外遊びを推奨しているはずなのに、遊び場がないのが現状。高齢者、子供たちが住みやすい街づくりを考えて頂きたい。また、障がいがある子どもたちも安心して遊べる様な公園を作って頂きたい。
- 真夏に、直射日光を避けられる屋根付きの場所でめいっぱい遊ばせたい。ボール遊びできる場所がもっと欲しい。お年寄りより未来のある子供をもっと大切にしてほしい。
- 図書館が大人用と子供用に分かれるって本当ですか？子供がいる親は図書館に行けないのでしょうか（うるさいからと）。保育園にやっと入れても、学童、放課後に入れないのは辛かったです。
- 図書館の開館時間をながくしてほしい。12～5時は短すぎる。部活帰りに寄ることは不可能。
- 地域全体、お年寄りと子どもが関わったりできる環境や、場所をもっと作ってほしいです。空き家を利用したり、空地で自由に遊べたり。小さな市の中に自然豊かな場所がある狛江市だからこそ、出来そうな気がします。
- 本当に子供の事を考えているのならば、あのような図書館の改修計画はあり得ません。
- 利用できる施設やイベントが中心部ばかりで、利用出来ません。図書室や勉強できる所が狭かったり遠かったり、利用時間が短かったりするため、利用出来ません。自分のスキルアップの為（勉強する施設として）、図書館を利用したかったのですが、スペースがない。子供がいる自宅で勉強するのも大変です。皆無です。子育て世代が勉強出来る場所とサービスをセットで作ってほしいです（例：図書館と一時預かり保育サービス、資格試験の受験時の一時預かりサービス、シェアオフィスと一時預かりサービス）。今の図書館（分館含む）は小さすぎて利用したいと思わないです。もっと広くして下さい。
- 両親とも共働きで、小学3年までは学童に通っていましたが、学童に入れなくなっただけからは、放課後、長期休みは家でずっとユーチューブとゲームをして過ごしています。今は習い事を週5日で通わせていますが、長期休みは朝からずっとTV、ユーチューブ、ゲームで、昼も冷蔵庫に入れたお弁当を独りで食べています。小学5年女児ですが、1人でポツンと過ごすことが可哀想に思えます。本来なら友達とワイワイ過ごす方がいいと思っています。是非、子どもの居場所をもっとつくってあげて下さい。
- 和泉多摩川駅付近に児童館があると助かります。ふらっと南部は直ぐに定員オーバーしてしまい、入れない事もしばしばです。特に雨の日は子供達が入れない事が多いです。

市への要望など

- 近隣のスイミングスクールが高いので、市営の屋内プールを作って欲しい。
- 学童は低学年しか行けないので困る。特に長い休み中は、毎日子供だけで家にいたり外にいたりするので心配。外で宿題などみてくれる場所があるのはありがたいが、そ

これは今まで知らない所で切り離されており（学校や学童と）、子供達は当然進んで、安心して行こうとは思わない仕組みだと考えます。学校外で学べる場所は（塾以外で）、本当にステキなアイデアで、コミュニティも広がりもっと活用されるべきなので、仕組みの強化に力を入れていただけたらと思います。

- いつも住民税非課税世帯へは手厚く補助を出しているが、その原資を出している側にバックがない。我が家もそうだが、このままだと、ふるさと納税を限度額まで実施し、返礼品を貰う方がメリットが大きいと考える家庭も多いのではないかと。それだと狛江市の子育て支援に悪影響だと考えるため、具体的に、どの程度ふるさと納税で減税しており、「各検討に対して、いくら足りないのか」を明確に情報を出して欲しい。
- 子に関する情報は充実しているが、親の健康維持に関する情報は皆無に等しい。最近が高齢化で、小学校でも高齢の保護者を複数見かける。子育てには親の健康が必須のため、ジム等に行く助成金を出して欲しい。親が倒れる→親の給料が減ることで市が子の補助金を出さず、というマイナス方向になって初めて助成するのではなく、最近世の中の的に言われている、病気を未然に防ぐ方へ目を向ける必要があると考える。
- 千葉県で、保育園の送迎を自治体が請け負うことで住民を増やしたというニュースを目にした。狛江市は小ささが特徴なため、遠方学童への各小学校からの送迎等を検討して欲しい。その他、小さいから出来ることを検討してみたいか。狛江市ならではの子育て支援が広がることで、狛江市への子育て世代の移住が広がれば、自治体として活性化していくのではないかと。
- 3人の子を育てる中で、物価の上昇は生活面でとても不安であり、買い物や光熱費において、小さなストレスの連続です。医療費助成の高校生分や、医療費無償の期間をのばしてほしいです（最近では昔よりウイルス感染の頻度が高いと思うので）。狛江市に引っ越してきて1年になりますが、自然豊かでイベントも多く、自転車で様々なところに移動もできるコンパクトさが、共働き子育て世代の私たちにとってすごく住みやすいです。空が開けていて心が落ち着くところが気に入っています。もっと若い世代が来てくれるよう、経済面でのサポートを是非進めて頂きたいです。
- 私立小学校へ通う子への助成!←なぜ、狛江市の給食費は無料（3学期）にするのに。
- 狛江駅周辺は自転車が停めづらい。自転車置き場はいつも満車なことが多く、数も少なく、子供乗せ自転車が停めづらい形状で使いづらい。また、駅周辺のお店の前は駐輪禁止で、少し買い物したくても少しも停められないので、遠くに自転車を停めて戻ってくるほどでもない場合は、家の近くに戻って買い物することになる。施設などの充実で子育て支援より、日々子供乗せ自転車を利用して子育てしてる人は、駐輪場の少なさはすごくストレスに感じていると思う。二子玉川のようにまとまって大規模な駐輪場が各所があれば、店前にも停めないと。駐輪場が少ないのに、店前にも停められないのは、買い物できない、時間もかかるので、子供を連れて荷物を持つ距離が長くなり、子連れには大変すぎる。駐輪場作ってください。
- 給食費やワクチン接種の費用を、負担して欲しいです。
- 2024年1月～3月の給食費を無償にして下さり、ありがとうございました!!ぜひ、これからもよろしく願い致します。子どもに直接利益が届く、良い方法だと思います。
- いずみ学級に通っているが、普通学級より移った為、KoKoAについての違いがあることを教えて貰えなかった。公務員とは基本サービス業、スタッフに笑顔がなく、市

の都合ばかりを押し付けている気がする。それを考えると利用する気が失せる。矢野市政時代と比べ、後退している印象がある。

- いつもありがとうございます。フリーランスでも正社員でも専業主婦でも保育園に預けられたり、多様な生き方・働き方の選択肢が増えてほしいです。子どもも、フリースクールへの助成が出たり、川崎の「ゆめパーク」のような社会教育の場ができたり、多様な学び方の選択肢が増えると良いと思います。
- フルタイム正社員になり、保育園に落ちた。補欠合格したのですが、みんな私より働いていない人達ばかり。特に自営業やパートの方の申請書の虚偽記載が多い事に気付きました。公正な判断をして欲しい。もちろん、シングルや病気の方が優先なのは承知しています。あと、子育て支援の為に増税するのは本末転倒だと思う。子育て相談や、児童館に行ったら、当たり前的事しか言われず、さらにイライラが募りました。NPO 法人が子育て支援する為に税金を使うなら、市役所職員を増やして欲しい。あと、マイナンバーを取りに行くとかタコトの外国人がパスワードを紙に書けと言うので、書いたら設定に関係なかった。後日パスワードを再設定する事になった。外国人が市役所職員として働くのはやめてほしい。
- 補助金を3人以上子育てしている家庭に。
- 育児短時間制度が小学校入学前で終わることがおかしい。現代は核家族が大半で、祖父母と住む家族も少ない。では、小学1年生から家で何時間も留守番をさせることができるかと言えば、できない。夏休み1ヶ月以上も1日中留守番させるのか？フルタイムで短時間制度も使えないと、子供と関わる時間など共働きの家族にはない。働いて税金を納めて、子供との時間も過ごせず、優遇されるのは貧困家庭から…。働く意味が何のためなのか分からなくなっている。狛江市からだけでも考え方を改めてほしい。せめて税を納めてよかった、働いてよかったと思える改善をお願いします。
- 学費、給食費、制服代、修学旅行積み立てなどなど、費用がかかりすぎる。せめて給食費、学用品購入費は無償化、制服購入費補助をお願いしたい。非課税、1人親世帯だけでなく、補助金は全ての子供に対して平等に支給して欲しい。
- 監視カメラの増設など、不審者などから子供を守る仕組みを増やして欲しい。
- 給食費ゼロを今度も継続してほしいです。
- 給食費無償化（1~3月）ありがとうございます。
- 給食費無償化など子育てにかかる経済的負担を軽減する施策を期待しています。また、学童クラブへの入りにくさを改善してほしいです。
- 教育相談については小学校で案内があったが、ゆうゆう教室、学校に家庭訪問を行うスクールソーシャルワーカーが在籍しているという話は直近で知った。子どもが約2ヶ月不登校だった時には知り得なかったので、色々なサポートの仕組みがあるということを広く周知して欲しい。また、子どもに普段関わっている学校の先生方にも、市の取り組みを知ってもらい、情報提供が役立つかもしれないと思われる児童の保護者に、積極的に伝える意識を持って頂けたらと思う。
- 教育費の援助や給食費無償化など経済的負担軽減策を希望します。また、公立中高、保育園職員の教育クオリティ改善要望します(狛江市だけではないと思いますが、10年前からあまり進歩していないのではと感じることが多々あります。)
- 経済的に大変なので、支援をしてもらいたい。

- 現状でも狛江市は子育てしやすい市だと思います。今行っている支援を今後も続けて下さい。
- 狛江市は23区に比べて医療費や給食費の無料化が遅れています。同じ都民なのになぜ収入制限のある制度しかないのでしょうか。狛江市に魅力を感じません。
- 狛江市独自のサービスや手当金（例えば出産したら、小学入学、中学入学、高校入学で祝い金や、産後にサービスが受けられるチケット（マッサージ券やクオカードなど）、こまえゴミ袋1ロールプレゼントなど）がほしい。
- 今の子育て世代の悩みがしっかり把握でき、それを施策に繋げられる実際に子育て経験がある母親の議員さんにこうした支援策などを決めて行って欲しいです。自分は外で働いていて育児には気が向いたら関わるレベルの50~60代や、それ以上の男性議員さんにはほとんど口出しして欲しくありません。一見偏見のようにとられるかもしれませんが、実際の子育て世代で出る話はいつも上記のような内容です。
- 今は子供が10才になり、1人でお留守番をさせる事ができるのであまり困る事はないが、小さい時は本当に困っていた。今でも鍵を持たせて留守の家に1人で帰宅させる事に不安はある。学童に空きがあっても遠いと通所させる事はできないので、帰宅時間帯にこまバスを学童の近くに走らせたり、スクールバスなどの検討をしてもいいと思う。乳幼児の保護者に寄り添った制度を充実させてほしい。何かと所得制限がかかる事、年少扶養控除の復活を狛江市から国へ働きかけてほしいと思います。
- 子どもが3人以上いる家庭は色々とお優遇してほしい。医療費は高校生まで自己負担なしにしてほしい。インフルエンザワクチン代を助成してほしい。
- 子どもたちが成長していく中で、特徴が強く出た時、例えば学習障害やジェンダーの問題、不登校等、“大丈夫ですよ、こんな方法があります。”とすぐに対応してもらえる状態であってほしい。子どもが予期せぬ病気になった時、例えば小児ガンなど、すぐに介護用品を借りることができたり、適切な医療を受けられるのか、家族の時間を確保できるのか…。知人がとても苦労していたので、そういったことにも対応してもらいたい。
- 子ども無料や、低料金で参加できるコンサートやイベントを引き続き増やしてほしい。園庭のある保育園が増えるとよい。ボールが使える公園、バスケットゴールのある場所、木登りができる場所を増やしてほしい。禁止が多く、子どもの体力低下は必然です。遊びの経験の少なさも小学校現場では叫ばれています!自治体で改善できる点です。神奈川県は、もっと市民の声がルールを作っている例もあります。ご検討を!!
- 子は日本の宝という割には、子育て世代には優しくないと感じます。狛江は土地家賃が高すぎる。家族向きの物件が少なく、肩身狭い生活をしている現状。赤ちゃんの夜泣きで苦情がくる。泣くのが仕事の赤ちゃんに泣かないでと近隣を気にして生活するのが精神的に苦痛。ストレスの原因にもなる。そういうふうに周りが母親を追い込んでいくと思う。衣食住の「住」をなんとかしてほしい。そして、狛江市も多子世帯に給付金を出して欲しい（例…出産のお祝い金、家賃補助など）。実家が遠く、頼れる人もいないので交通費補助もあればいいと思います。子育てしやすい環境を作りたいのであればまず市民の声を聞いて、早急に実行するべきだと思います。安心して遊べる環境も必要だと思います。公園の遊具の劣化や道路に行かないように柵を設置した方がいい。子どもがのびのび遊べるように遊び場も増やして欲しい。

- 子育てには時間とお金がかかる。所得制限なしで利用できるファミリータイプの都営住宅などを整備してほしい。
- 子育てに関して、年収で区別してほしいありません。
- 子育ての政策は後回しのように感じています。
- 子育て支援は平等にしてほしいです。
- 子育て支援策の所得制限をなくしてほしい。子どもは小さい時だけではなく、大きくなったとはいえ支援は必要です。高校生の医療費助成事業が始まったのに、また所得制限がかけられています。高校生は通学でも移動距離が増え、病気やケガ、事件にも巻き込まれるリスクが上がります。すべての子どもに平等に与えられるべきだと思います。
- 子育て世帯への経済的支援を増やしてほしい。給食費の無償化を進めてほしい。
- 子供が3人いますが、所得制限がぎりぎりひっかけり子供手当、医療費が外れていません。子供達が大きくなるにつれて食費も教育費もかかり、年々物価も高騰して生活が苦しいです。所得制限撤廃してもらいたいです。
- 市役所の3Fの教育課などに相談の際、椅子や相談ブースがなく、個人情報の観点からしても、とても話しづらい環境であると思った。
- 死産したことを市の保健師から連絡があった際に伝えてあった。その後死亡届を出したにもかかわらず、出産予定日を過ぎた頃、再度連絡があり、「赤ちゃんの様子どうですか?」と聞かれたことが大変つらかった。落ち込んだ。連携をしっかり取ってほしいと感じた。また、後で思えば死産時のサポートも欲しかった。誰に何を相談すればよいのか分からなかった。心も身体もつらかった。小学生クラブに4月～入れなかった為、働き方を変えることもできず、放課後の子の安全、災害時の安全、親が帰宅できるまでのフォローが心配でならない。
- 私立学校に通っている家庭、児童へのサポートも考慮に入れて欲しいです。給食費の補助、同学年児童との交流の場の設定、地域イベントの紹介、公立学校施設の気軽な利用などが候補です。また、明治大などの学生寮が市内にあるようですので、その学生との交流の場があると良いと思います。狛江市の特色、地域的なメリットを活かした子育て政策、持続的な街づくりを期待します。
- 私立小学校に通わせているため、なかなか情報を得る機会や、母子含めて知り合いも市内におらず、引っ越して5年になるが、知らないことばかり…。仕事をしているのでもっと活用できればよかった。
- 周りの市や区に比べて財政が小規模なので、その中では色々やってくれていると思う。ただ、世田谷の情報が色々入ると、やはり羨ましいと思う。サポート状況もあるので、都内で平均化されたら良いと思う。
- 小6、中3になっているので人手よりも経済的な点が問題です。狛江市は都内に通勤できて戸建てが建つ余裕のある数少ない市です。市独自の子育て支援があれば、若年層を呼ぶ事もできると思います。支援級などでお世話になっていますが、教育支援は満足しています。
- 小さい市だからこそ、いろんなサービスを始めるのが早くて、とても子育てしやすいと思います。

- 小学生が日常的に?定期的に、中学生、高校生、大学生に会って、将来像を描くきっかけをたくさん与えられるような仕組みを作って欲しい。未就学児向けのイベントはあるが、小学生向けのイベントが少ないので、増やして欲しい。ただ、学校のグラウンドを開けるだけでなく、「今日はドッジボールやるよ」「今日はサッカーのドリブル練習やるよ」など、やることを具体的にした呼びかけをして欲しい。そして、運動音痴な子でも大歓迎だと言って欲しい。
- 全体的に過ごしやすい街だと思います。強いて言えば、もう少し登下校道路の歩車分離されるとより安心して登校できると思います。
- 他の自治体に比べて経済的な支援が少ない。狛江市の補助は所得制限ばかりで嫌になる。
- 転居してきましたが、狛江市は子育ての施策について発信が多く、小学校からも、よく児童館のイベントなどおしらせが届きます。まだ参加したことがない人が、気軽に行けるような登録不要の取り組みなどがあると嬉しいです。
- 道幅のわりに、交通量がありすぎる市だと思います。団地の公園などとてもいい場所があるのに、制限がありすぎたり整備が行き届いていない。
- 特にありませんが、近隣区で給食費無償化などが行われると少し羨ましく思ったりすることはあります。
- 不審者対策や交通安全対策で安心してその場所まで行き来させられないと、それ以外の設備や施策を工夫しても安心して利用させられなかったり、親がつきそうなどの対策を行う必要があり、その手間暇がだいぶかかっていると思う。
- 保護者の狛江市の居住年数が長いと、保育園や学童クラブの入園・入所時に加点があると、よいのではないのでしょうか。祖父母に子の急病時、預けられる。→病児保育を利用せずに済む。祖父母も孫を預かる時に備えて、日頃から体調管理、健康増進に気を配るようになる。新規転入者にとっては、この加点制度はあってもなくても狛江市に住むか否かの意思決定にはあまり影響を与えず、一方で居住歴のある方にとっては、魅力的な制度であると考えます。
- 母子家庭です。自分自身や子供に対する気持ちの保証がほしいです。→学校等に提出する緊急連絡先に自分の分しか書けない。時間が掛かっても迎えは行くので、連絡先に「狛江市」や「ひとり親」等記入できる対応が可になるなど。母子優先貸金を推進してほしいです。金額面や子ども受入れ OK など、学区毎に少しずつでもあればありがたいです。→市の母子（ひとり親）相談窓口はありますが、該当者同士が対面でなくても声を交わせるような何かがあれば…。

その他

- 学童は以前より利用しやすくなりましたが、4年生以降は入所が難しくなるプラス、成長に合わせた学童保育（もしくは教育）ではないことを感じて、他の習い事などに変えている現状です。金銭的にもっと余裕があれば、運動プラス塾など利用したいのですが、民間の習い事は高く、実際は家の中でゲームばかりして子供は過ごしています。複合的な子供の施設（運動もできて勉強もできる。）を民間よりも手頃な値段で、

家の近くで受けられるといいのと思う所です。おとなしめの子は、なかなか児童館の施設に足が向きません。

- 1歳半健診の時に少し嫌な思いをしたので、それを引きずって市に対して信頼がもてないというか。1歳半健診はもう少し温かく対応してほしかったです（子のできていないところに対して赤くバツをつけられたのを見ました。ショックでした。）。
- 子どもの古着や学校で使わなくなった用具などを融通し合えるイベント、フリマなどがあるといいです。
- 子供が小さい世代の友達から聞くと、子供服や子供に特化したお店が狛江に少なく、車を持っていないと買い物するのが大変なようです。たしかに、西松屋や赤ちゃん本舗みたいなお店があるだけで違う気がします。
- 2才と3年、1年の小学生の子供がいます。今年度は1年の子供だけ学童に入れました。来年度は2人とも学童の抽選に漏れました。狛江市内で、子供の数が多いいわれている学年にあたります。2人が通っている第一小学校は、長女が入学する前に教室の数を増やしましたよ。学童の新設、または、それに変わるものはなぜ増やさないのですか？私の知る限り、寺前学童が増えたのが最後だったように思います。これでは、学校の長期休み、放課後、安心して働くことが難しくなります。入れなかったから、家の子育て費を使って、民間の学童に行かせればいいんですかね？民間の学童は費用がかかり、家計の負担になります。じゃあ、もっと働けばいいんですかね？子供との時間は無くなります。週5、フルタイムで働いても、学童にすぐに入れる保証はないです。もし、仕事量を増やして家計を増やして、学童に入れるまでの順番待ちの間、誰が子供をみるんですか。子供みれないなら、面倒みれないなら産むなよって話ですかね？ココアに行かせても、子供は遊ぶだけで、勉強をみてる大人はいません。ココアでは、宿題しようの声掛けもないですよ。学童では、先生方が声掛けして、わからない問題は教えてくれます。昼ご飯から夜ご飯までの間におやつも学童は出してくれます。ココアで、学童と同じようなサービスをしてくれるなら、お金が発生しても、全く問題ないです。お菓子の実費をいただきますでもいいです。児童館では、学童の先生とは別に、勉強をおしえてくれる人達がくと聞きます。そんな人達に、ぜひココアにもきていただきたい。狛江市は、特段大きい会社があるわけでもないのに、住民税をしっかりと取って、住民サービスを拡充、手厚くしてもらわないと、いくら自然環境が良くても、別のところに中堅どころの世代は引っ越して行きますよ。共働きの世帯は今は当たり前になってます。今子育てしている我々世代の立場に立って、こどもを育てやすい環境、設備を整えてください。図書館についても驚きです。2年間休館？子供と親の本を別の建物にする？それこそ、子育て世代からしたら、たまったもんじゃありません。別々にしたら、我々は子供をもちろん優先させます。その後、大人の本が置いてある建物に行けと？子供の時から、大人が読むような専門書が大好きな博士ちゃんのような子供たちはどうなるんですか？子供の声がうるさいと言っていたとも聞きますが、子供の声がうるさいのは当たり前です。では、大人が注意すればいいじゃないですか。人数が集まれば、声が大きくなるのは大人も子供も同じだと思いますし、それよりもっと小さい子供達の声のことを言っているなら、子供に接してない日々なんだなど、こちらは思います。それこそ、狛江市が少子化、老人社会になっているからなんでしょうね。
- 中学生になったら塾に行かなくても気軽に勉強を教えてくれるような場所があったら

嬉しいです。先輩ママさんのお子さんが通ってる調布の塾によると狛江市は中学生の成績のつけ方が他の地域と比べて厳しいと聞きました。内申が他の地域と同じくらい取ればもう1つ上のランクの高校も受けられるので、基準を精査して対応していただけたいと思います。小学3、4年生以降は学童を出た子や共働きになる家庭も多くなるので、夏休みなど雨や暑さをしのげて、お友達とポケモンカードやボール遊びが出来るような広めの自由に遊べる施設があると助かります。ぷらっと南部は定員オーバーで朝早く行かないと夏休みは入れません。これは教育の話になるかもしれませんが、学校の水泳の授業は泳ぎ方を教えてもらえないようで、プールに通ってない子は非常に困っています。暑すぎるため授業ができないことも多く、高学年になると運動不足になる子も多いと思うので、どうにかできるようになると良いのですが。

- 狛江市にショッピングモールが無いので買い物に不便。アカチャンホンポ、トイザラス、ユニクロなど子供用品を買えるショッピングモールを誘致してほしい。
- お世話になっております。この度はアンケートをいただきありがとうございました。子どもが市内の野球チームに入部していますが、なかなか部員が集まらず苦戦しております。先日、部員募集のチラシを子どもが入所している学童に配布をお願いしたところ、市役所の児童福祉課で確認して欲しいとのことで尋ねたところ、配布はNGとのことで掲示のみになってしまいました。もう少し配布に柔軟な対応をしていただけたら助かります。よろしく願いいたします。話しは変わりますが、先日、野球チームで体験会を開催する時に、大谷翔平選手に寄贈していただいたグローブの貸し出しを学校側に申し出たところ、貸し出しNGを通達されてしまいました。体験会当日、何人かの保護者の方に、大谷翔平選手のグローブがあると思って、参加した旨を言っている方がいました。チームとしてはとても残念な気持ちになり、また体験会に来ていただいたお子さんや保護者の方々を悲しい気持ちにさせてしまい、せっかくの部員募集の絶好の機会に残念な空気が流れてしまいました。先程もお伝えしましたが、もう少し柔軟な対応をよろしく願いいたします。展示ではなく、実際に使って体験したいです。引き続き申し訳ございませんが、西和泉グランドを使用することがありますが駐輪場が狭いので、入れ替え時間には、たくさんの自転車で通行人の方にもご迷惑をおかけしているので、整備していただけたら嬉しいです。よろしく願いいたします。
- 狛江市に引っ越してきたのが3年半前なので、あまりよく知りません。すみません。
- のびのびと子育てしたい。うちは3人子供がいてうるさい自覚がある。たまたま窓を開けていた。イヤイヤ期の子の泣き声を聞いた人が通報し、警察がきた。頑張って3人の子を育ててるのに、まわりは敵だらけに感じた。ある程度は黙って見守ってほしい。今も窓は開けない。あとボール遊び、子供がしたがってるのに公園にはNGが沢山書いてある。そんなに迷惑かけてますか。つらい。苦しい。草もボーボーだし。道路で遊ぶのもダメですよね。庭もそこまで広くないです。どうしろと？
- 現状に満足してます。
- 公園や雨の日でも出掛けられる施設やレストランが増えて行くと嬉しいです！狛江高校近くの空き地を早く整備してほしいです！
- 高学年になった際に学童等利用ができなくなるため、1人帰りの自宅留守番が心配。
- 今まで地域や学校などの支援を受けながら、なんとなく子どもを育ててきました。振

り返って、不安や感謝、感激など色々な気持ちを含めて、まだまだたくさん足りないところがあって、これからもっと頑張りたいと思います。例えば、家族の協力や理解を得て、もっと育児と仕事を両立したいと思います。

- 最近、子供に暴力を振るう（大人）という事が多くなってきたなあと感じる（学校のお知らせメールでくる）。街が安心・安全である事が、子育てをしていく上で、一番大事だと思っている。街の見守り強化を、みんなですていければいいなあとと思います。字が汚くてすみません。
- 子どもが小さな時に引っ越してきて、のどかでいい場所だなと思いました。新しく良くなっていく変化もありつつ、居心地のいい狛江であってほしいと思います。暮らしはそれぞれなので合わないものもあるとは思いますが、支援は充実してるほうなのかなと思います。小学校時代の放課後に子どもの居場所(習い事の様なふれあいなど)がたくさん選択肢があって、子ども自身で気軽に使えたらなと思いました。KoKoA や学校の体育館等もっと使えなかったのかなと思っていました。結局はお家が1番できてしまったので。
- 子の自転車の練習（車輪系の乗り物）は、どこが適切な場所なのかと戸惑うことがある。ボール遊び場があるのに。大型遊具で未就学児が遊ぶ中、遊具で鬼ゴッコする小学生。バスに乗った時に「早くしろ。」と年配の人が言ってくる。その後、バスを使うのに気が重くなり、動く範囲が狭くなった。昔は皆子供だったはずで、今は子供が少ないのに、なぜこんなに暮らしにくいのかと思うことが多々ある。
- 子育てしやすければ良いと思う。狛江は良い方だと思う。狛江の野菜はすごくおいしい。買える場所増やしたり、農家さんに支援をして潰れないようにしてほしい。
- 子供が小さい頃、下の子が双子で、頼れる親も居ず、とても孤独な子育てをしていました。当時は一時保育も双子それぞれで申し込む必要があり、結局は1人しか預かってもらえない状況で、預ける意味がありませんでした。双子出産の時の上の子（当時5才）の預け先の相談に市役所に行きましたが、そういう相談は受け付けていないと断られました。今、若いお母さん達に聞くと、当時不便に思っていた事のほとんどが改善されていました。素晴らしいと思いました。対応も早いと思います。狛江は子育てしやすい地域で大好きです。
- 小学校高学年になると、子育ての不安や困りごとは減ってきました。保育園～小学2年くらいまでは、大変だったように思います。給食費無料など、助かりました。
- 問27がとても気になる。情報がもっとほしい。やり方を変えていくことはとても大変だと思うが、利用者も提供者も、よりネットの活用とリテラシーを充実させる必要があるように思う。
- 来年度から4年生になり学童にもいなくなるので、長期休みの過ごし方に悩んでいる。学区内に児童館や、子供が安心してお昼ご飯を入手できる場所がほしい。

登録番号（刊行物番号）

R6-8

狛江市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 集計報告書

令和6年6月発行

発行 狛江市

編集 狛江市子ども家庭部子ども若者政策課

狛江市和泉本町一丁目1番5号

電話 03(3430)1111

印刷 庁内印刷

頒布価格 170円